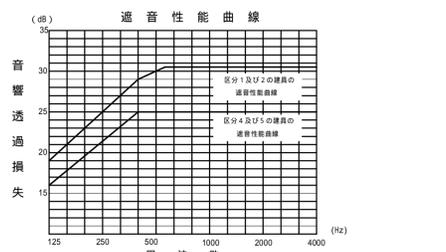


# 泉小学校空調整備工事 (建築主体工事)

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	工事標準仕方書(1)	A-32	東棟校舎 改修後 1階天井伏図	A-63	仮設校舎 渡り廊下 平面図・立面図・断面図(参考図)
A-02	工事標準仕方書(2)	A-33	東棟校舎 改修後 2階天井伏図	A-64	仮設校舎 電気設備図1(参考図)
A-03	改修工事特記仕様書(1)	A-34	東棟校舎 改修後 3階天井伏図	A-65	仮設校舎 電気設備図2(参考図)
A-04	改修工事共通仕様書(2)	A-35	東棟校舎 改修前後 断面図	A-66	仮設校舎 空調設備図(参考図)
A-05	改修工事共通仕様書(3)	A-36	東棟校舎 標準詳細図-1	A-67	仮設校舎 給配水設備図(参考図)
A-06	改修工事共通仕様書(4)	A-37	東棟校舎 改修後 矩計図		
A-07	配置・案内図	A-38	新館棟校舎 1階平面図		
A-08	管理棟校舎 1、2階平面図	A-39	新館棟校舎 2階平面図		
A-09	管理棟校舎 3階平面図	A-40	新館棟校舎 3階平面図		
A-10	管理棟校舎 改修前 1階天井伏図	A-41	新館棟校舎 改修前 1階天井伏図		
A-11	管理棟校舎 改修前 2階天井伏図	A-42	新館棟校舎 改修前 2、3階天井伏図		
A-12	管理棟校舎 改修前 3階天井伏図	A-43	新館棟校舎 改修後 1階天井伏図		
A-13	管理棟校舎 改修後 1階天井伏図	A-44	新館棟校舎 改修後 2、3階天井伏図		
A-14	管理棟校舎 改修後 2階天井伏図	A-45	新館棟校舎 改修前後 断面図		
A-15	管理棟校舎 改修後 3階天井伏図	A-46	新館棟校舎 標準詳細図-1		
A-16	管理棟校舎 改修前 断面図	A-47	新館棟校舎 標準詳細図-2		
A-17	管理棟校舎 改修後 断面図	A-48	新館棟校舎 改修後 矩計図		
A-18	管理棟校舎 標準詳細図-1	A-49	管理棟校舎 1、2階建具配置図		
A-19	管理棟校舎 標準詳細図-2	A-50	管理棟校舎 3階建具配置図		
A-20	管理棟校舎 改修後 矩計図	A-51	北棟校舎 1、2階建具配置図		
A-21	北棟校舎 1、2階平面図	A-52	東棟校舎 1、2階建具配置図		
A-22	北棟校舎 改修前 1、2階天井伏図	A-53	東棟校舎 3階建具配置図		
A-23	北棟校舎 改修後 1、2階天井伏図	A-54	新館棟校舎 1階建具配置図		
A-24	北棟校舎 改修前後 断面図	A-55	新館棟校舎 2階建具配置図		
A-25	北棟校舎 標準詳細図-1	A-56	新館棟校舎 3階建具配置図		
A-26	北棟校舎 改修後 矩計図	A-57	建具表 (1)		
A-27	東棟校舎 1、2階平面図	A-58	建具表 (2)		
A-28	東棟校舎 3階平面図	A-59	ロ・リング計画図		
A-29	東棟校舎 改修前 1階天井伏図	A-60	仮設校舎 平面図(参考図)		
A-30	東棟校舎 改修前 2階天井伏図	A-61	仮設校舎 A棟 立面図・断面図(参考図)		
A-31	東棟校舎 改修前 3階天井伏図	A-62	仮設校舎 B棟 立面図・断面図(参考図)		

防衛施設周辺防音事業 工事標準仕方書(1)		3.換気計画		3.7.1 外壁の開口部等の防音処理		防音工事標準仕様書																																																																																																					
1 防音工事標準仕方書		3.1 必要換気量及び必要外気量		3.7.2 屋内側給・排気口の消音		1. 総則																																																																																																					
<p>1.1 根拠</p> <p>1.2 定義</p> <p>1.3 適用</p> <p>1.4 定めのない音響材料又は防音仕様</p> <p>1.5 図書の作成</p> <p>2.1 所要防音量</p> <p>2.2 適音構成計画</p> <p>2.3 建具の適音量</p> <p>2.4 金属製気密建具</p> <p>2.5 ガラスブロック</p> <p>2.6 室内吸音構成計画</p>	<p>1. 共通事項</p> <p>本仕方書は、「防衛施設周辺防音事業補助金交付要綱」（平成19年防衛省訓令第121号）第5条の規定に基づいて定めたものである。</p> <p>本仕方書は、防音工事の各種別の防音量の達成に必要な事項のみを示したものである。各工事種別の名称は、次表のとおりとする。</p> <table border="1"> <tr><th>工事種別</th><th>名称</th></tr> <tr><td>1級工事</td><td>防衛省 1級 防音工事</td></tr> <tr><td>2級工事</td><td>防衛省 2級 防音工事</td></tr> <tr><td>3級工事</td><td>防衛省 3級 防音工事</td></tr> <tr><td>4級工事</td><td>防衛省 4級 防音工事</td></tr> </table> <p>実施設計に当たっては、本仕方書から該当する事項を選出して行うものとし、該当事項を列挙した特記仕様書を作成するものとする。</p> <p>また、防音工事の標準仕方（以下「防音仕様」という。）以外の仕様については、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」、「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」、「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）」、「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」等を準用するものとする。ただし、特別な事情により、これらの仕様書により難い事項については、補助事業者が地方防衛局長（東海防衛支局長を含む。以下同じ。）と協議の上、これを処理するものとする。</p> <p>本仕方書に定めのない音響材料又は防音仕様を採用する場合は、理由、名称、構造、仕様、詳細図、見本、製造者名、日本工業規格（JIS規格）、材料検査成績、音響特性（公的試験所、研究所等の試験成績書添付）等の必要事項を記載した文書により、地方防衛局長等の承認を受けるものとする。</p> <p>本仕方書に基づく工事の設計図書は、全て横書きとし、A4版左として製本するものとする。</p> <p>2. 防音計画</p> <p>各工事種別の防音量は次表のとおりとし、125Hzから4,000Hzまでのオクターブバンドの中心周波数における内外音圧レベル差の平均値とする。</p> <table border="1"> <tr><th>工事種別</th><th>防音量</th></tr> <tr><td>1級工事</td><td>35dB以上</td></tr> <tr><td>2級工事</td><td>30 "</td></tr> <tr><td>3級工事</td><td>25 "</td></tr> <tr><td>4級工事</td><td>20 "</td></tr> </table> <p>騒音防止を必要とする室（以下「施工室」という。）の所在する棟を適音音構成上の1区画となるよう計画する。</p> <p>開口部の設計及び建具の選定に当たっては、開口部の占める面積、建具の構造等を十分検討する。</p> <p>各種建具の適音量は、次表のとおりとする。</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>建具別</th><th>適音量(平均値)</th></tr> <tr><td>1</td><td>金属製一部二重気密建具(可動部(10)、固定部(10+5))</td><td>35dB以上</td></tr> <tr><td>2</td><td>金属製一部二重気密建具(可動部(8)、固定部(5+5))</td><td>33 "</td></tr> <tr><td>3</td><td>区分4の金属製気密建具(5)木製気密建具(3)、又は金属製普通建具(3)の二重建、建具間吸音層付</td><td>33 "</td></tr> <tr><td>4</td><td>金属製気密建具(5)</td><td>28 "</td></tr> <tr><td>5</td><td>金属製気密建具(5)</td><td>25 "</td></tr> <tr><td>6</td><td>金属製普通建具(3)</td><td>18 "</td></tr> <tr><td>7</td><td>木製気密建具(3)</td><td>15 "</td></tr> </table> <p>備考：1 ( )内の数値はガラス厚で単位はmm。 2 適音量は、125Hzから4,000Hzまでの1/3オクターブバンドの中心周波数における音響透過損失の平均とする。</p> <p>また、金属製一部二重気密建具及び金属製気密建具(5)については、JIS A 1416「実験室における建築部材の空気音遮断性能の測定方法」に基づく試験結果の音響透過損失値が次表の適音性能曲線を下回らないものとする。ただし、区分1及び2の建具にあっては、1,250Hz以上の各周波数帯における音響透過損失値が適音性能曲線の数値を下回る場合、その差の合計が6dB以下のときは、差し支えないものとする。</p>  <p>a 窓建具は、原則として開放部を片引きとし、その開放面積開口面積の50%以内とする。 b 排煙口を必要とする場合には、建築基準法（昭和25年法律第201号）に規定する面積を有し、その適音量は対応する建具のそれを下回らないものとする。</p> <p>開口部に使用するガラスブロックは、JIS A5212「ガラスブロック（中空）」に合格したものであって、その適音量は対応する建具のそれを下回らないものとする。</p> <p>施工室の内部仕上げは、別表「設計計画表」によるものとする。</p>	工事種別	名称	1級工事	防衛省 1級 防音工事	2級工事	防衛省 2級 防音工事	3級工事	防衛省 3級 防音工事	4級工事	防衛省 4級 防音工事	工事種別	防音量	1級工事	35dB以上	2級工事	30 "	3級工事	25 "	4級工事	20 "	区分	建具別	適音量(平均値)	1	金属製一部二重気密建具(可動部(10)、固定部(10+5))	35dB以上	2	金属製一部二重気密建具(可動部(8)、固定部(5+5))	33 "	3	区分4の金属製気密建具(5)木製気密建具(3)、又は金属製普通建具(3)の二重建、建具間吸音層付	33 "	4	金属製気密建具(5)	28 "	5	金属製気密建具(5)	25 "	6	金属製普通建具(3)	18 "	7	木製気密建具(3)	15 "	<p>a 学校、専修学校、保育所、福祉型障害児入所施設、福祉型児童発達支援センター児童自立支援施設、身体障害者福祉センター、職業能力開発校、障害者支援施設及び障害者福祉サービス事業、（生活介護、自立訓練、就労移行支援又は就労継続支援を行う事業に限る。）を行う施設（以下「教育関係施設」という。）の施工室における必要換気量及び必要外気量は、原則として、2.0m<sup>3</sup>/h人以上とする。ただし、建築物における衛生的環境の確保に関する法律（昭和45年法律20号）に定める特定建築物に該当する施設については、同法に規定される基準によるものとする。</p> <p>b 病院、診療所、助産所、保健所、医療型障害児入所施設、福祉型児童発達支援センター、教護施設、老人デイサービスセンター、特別養護老人ホーム、老人介護支援センター及び母子健康センター（以下「医療関係施設」という。）の施工室における必要換気量及び必要外気量は、一般社団法人日本医療福祉設備協会規格「病院設備設計ガイドライン（空調設備編）」の「部門別各室条件一覧表」における最小風量のめやすとよるものとする。</p> <p>3.2 排気量</p> <p>排気量（単独強制排気装置がある場合には、これによる排気量相当分を含む。）は、必要外気量に見合う量となるよう計画するものとする。</p> <p>3.3 空気清浄方式</p> <p>a 空気清浄方式は、原則としてエアフィルターによるものとする。 b エアフィルターの形式は自動巻取り又はパネル形とし、集塵効率は重量法（AFI）の測定において70%以上とする。 ただし、ファンコイルユニット、パッケージ型空調機及び3.7.1cに規定する防音型空調換気装置に装備するエアフィルターについては、製造メーカーの仕様によることができる。 c パネル形は、JIS H 4000「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条」に規定するアルミニウム板又は鋼板製（防錆処理を施したJIS G 3141「冷間圧延鋼板及び鋼帯」に規定する鋼板製をいう。以下同じ。）の枠の内部に材を納めたもので、風圧によつて材が容易に変形しない材支持材を備えたものとし、寸法は原則として500mm×500mmとする。取付枠は防錆処理を施した鋼板製又はJIS G 3192「熱間圧延形鋼の形状、寸法、質量及びその許容差」に規定する形鋼製で堅固に製作し、着脱容易な構造とする。また、必要に応じて洗浄装置を設置することができる。</p> <p>3.4 吹出音</p> <p>吹出口における騒音値は、水平に1m離れた点から1.2m下（吹出口が床から3m以上の位置にあるときは、床から1.8m）の位置において、原則として次の値を超えないものとする。</p> <table border="1"> <tr><th>教育関係施設</th><th>図書室、医務室、保健室及びこれに類する室</th><th>40dB(A)</th></tr> <tr><td></td><td>その他の施工室</td><td>45dB(A)</td></tr> <tr><th>医療関係施設</th><th>医師勤務室、学習指導室、集會室、会議室、事務室及びこれに類する室</th><th>45dB(A)</th></tr> <tr><td></td><td>その他の施工室</td><td>40dB(A)</td></tr> </table> <p>3.5 換気方式</p> <p>a 換気方式は、単-ダクト換気方式又は個別分散換気方式とする。 b 換気方式の適用にあたっては、建物の用途、地域、規模、同一時間帯に使用する施工室の配置状況、増築等既存換気方式との接続方法、ダクトの設置による天井高さへの影響及び機器の維持管理等を総合的に考慮検討の上決定するものとする。</p> <p>3.6 単-ダクト換気方式</p> <p>a 給気は、機械室内に設けた送風機により外気を取り入れダクトを経て施工室に送風する。 b 排気は、施工室の排気ガラリから廊下にて自然排気の上、廊下ガラリからダクトを経て送風機により屋外に排気する。 c 換気系統は、用途、使用時間帯等により区分するものとし、空調調（以下「空調」という。）設備を有する施設にあっては、空調系統との整合を図る。</p> <p>3.6.1 給気ダクト</p> <p>給気ダクトは、原則として亜鉛鉄板製（JIS G 3302「溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」に規定する亜鉛鉄板製をいう。以下同じ。）の低速ダクトとし、必要箇所に防火ダンパー、防煙ダンパー又は風量調節ダンパーを設けるものとする。また、屋外にあっては、原則として鉄筋コンクリート造又は補強コンクリートブロック造の整体で囲むものとする。</p> <p>3.6.2 排気ダクト</p> <p>a 排気ダクトは、原則として屋内は亜鉛鉄板製とし、屋外は鉄筋コンクリート造又は補強コンクリートブロック造とする。 b 排気ダクトには、必要に応じてロックウール吸音材又はグラスウール吸音材を内張りした通気路90度以上の屈曲を有する消音部を取り付けるものとする。</p> <p>3.6.3 消音</p> <p>消音装置は、セル形等の消音器及び吸音材の内張り等とする。使用吸音材は、ロックウール吸音材又はグラスウール吸音材とし、強風により飛散しないものとする。</p> <p>3.6.4 給排気口</p> <p>a 給気口は、原則としてユニバーサル形とし、気流方向の調整が自在であるものとする。 b ガラリ排気口は、原則として出入口建具又は施工室の廊下側の壁体に設置するものとする。 c 消音自然排気口は、ロックウール吸音材又はグラスウール吸音材を内張りした180度以上の屈曲する通気路を有する箱形とし、施工室の廊下側の壁体に設置するものとする。 d 給排気口は、騒音、振動を少なくするとともに、室内気流分布を考慮して位置及び個数を定めるものとする。</p> <p>3.7 個別分散換気方式</p> <p>a 給排気は、コンクリート面を貫通するダクト引き換気装置により行い、同装置は、壁・天井等を利用して有効な換気ができる場所に設置する。 b 換気装置は、熱交換エレメントを組み込んだ静止型全熱交換器を使用するものとし、温度交換効率率は強運転時において70%以上とする。</p>	教育関係施設	図書室、医務室、保健室及びこれに類する室	40dB(A)		その他の施工室	45dB(A)	医療関係施設	医師勤務室、学習指導室、集會室、会議室、事務室及びこれに類する室	45dB(A)		その他の施工室	40dB(A)	<p>a 外壁の遮音性能の低下を防ぐため静止型全熱交換器の屋外側（熱交換エレメント収納部を基準として外に面している方をいう。以下同じ。）給気ダクト及び排気ダクトにロックウール吸音材又はグラスウール吸音材を内張りした180度以上の屈曲する通気路を有する亜鉛めっき鋼板の消音ボックスを取り付けるものとする。</p> <p>b 静止型全熱交換器の屋外側給気ダクト及び排気ダクト部分に125Hzにおいて8dB以上、500Hzにおいて15dB以上、2,000Hzにおいて24dB以上の透過損失を有する軟質遮音シートを間隙なく巻くものとする。</p> <p>c 防音処理をした静止型全熱交換器（以下「防音型空調換気装置」という。）等の防音性能を確認するため、必要に応じて防音効果測定を実施するものとする。</p> <p>屋内側（熱交換エレメント収納部を基準として室内に面している方をいう。以下同じ。）給・排気ダクト及び屋内側給・排気口には、給・排気音等を押さえるための有効な消音ダクト、消音ボックス等を取り付けるものとする。</p> <p>4. 空調計画</p> <p>a 教育関係施設の室内温湿度条件は、原則として次表によるものとする。なお、温度保持における室内温度条件と吹出口温度の差は、1.5以下を標準とする。</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2"></th><th>冬季</th><th>夏季</th></tr> <tr><th>乾球温度 ( )</th><td></td><td>18~20</td><td>25~28</td></tr> <tr><th>相対湿度 (%)</th><td></td><td colspan="2">40~70</td></tr> </table> <p>b 医療関係施設の室内温湿度条件は、原則として一般社団法人日本医療福祉設備協会規格「病院設備設計ガイドライン（空調設備編）」の「部門別各室条件一覧表」の温湿度条件によるものとする。 なお、温度保持における室内温度条件と吹出口温度の差は、1.5以下を標準とする。 温・冷熱源は、施設の規模、施工室の規模、施工室の使用時間帯、用途等を考慮して設定するものとする。</p> <p>a 単-ダクト空調方式は、同一時間帯に使用する施工室を集約するなど系統を分けて、ゾーニングを行うものとする。 なお、個別制御が必要な施設及び施工室にあっては、換気計画における単-ダクト換気方式（外気負荷処理を含む。）とファンコイルユニット等を組み合わせることができる。</p> <p>送風方式は、定風量（CAV）方式を原則とする。ただし、施工室の使用形態等により必要ある場合は、変風量（VAV）方式によることができる。</p> <p>空調用ダクトは、換気用ダクトを兼ねる。送気ダクトは、換気時と空調時の運転を考慮して排気ダクト系への切替えができるものとする。</p> <p>換気計画における個別分散換気方式（外気負荷処理を含む。）とファンコイルユニット、パッケージ空調機又は小型空調機等を組み合わせることができる。 この場合の防音型空調換気装置は、単独運転ができるものとし、必要に応じて、加温装置を組み合わせたもの又は加温装置が内蔵されたものとする。</p> <p>5. 機械室の防音防震計画</p> <p>騒音規制法（昭和43年法律第98号）第4条第1項の規定にもとづき都道府県知事が定める規制基準（同条第2項の規定に基づき市町村が条例で規制基準を定める場合には当該基準）に適合するよう、空調機、送風機等の防音・防振の措置を施すとともに、必要に応じて、機械室の防音を行うものとする。</p>			冬季	夏季	乾球温度 ( )		18~20	25~28	相対湿度 (%)		40~70		<p>1.1 適用範囲</p> <p>1.2 設計図書の優先順位</p> <p>1.3 防音量の測定に 対する協力</p> <p>2.1 吸音材料等</p> <p>2.2 せっこうボード</p> <p>2.3 合板</p> <p>2.4 せん孔合板</p> <p>2.5 掲示版用壁紙</p>	<p>現場説明書（回答書を含む。）、特記仕様書、防音工事標準仕様書、設計図及び標準仕様書の間において、その内容に相違がある場合の優先順位は、原則として次のとおりとする。 第1位 現場説明書及び現場説明に対する質問回答書 第2位 特記仕様書 第3位 防音工事標準仕様書 第4位 設計図 第5位 標準仕様書</p> <p>工事中又は完成後に、建築主又は工事監督者が、防音量及び消音装置その他の設備の効果の測定を行う場合には、請負者はこれに協力するものとする。</p> <p>2. 材料規格</p> <p>ロックウール吸音材、ロックウール化粧吸音板、グラスウール吸音材、吸音用あなきせっこうボードはJIS A 6301「吸音材料」の規格品とし、次表に適合するものとする。</p> <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>密度 kg/m<sup>3</sup></th><th>厚さ mm</th><th>吸音率</th><th>適用</th></tr> <tr><td>ロックウール吸音材</td><td>40</td><td>25</td><td>0.7M</td><td></td></tr> <tr><td>ロックウール化粧吸音板</td><td>-</td><td>9</td><td>0.5M</td><td></td></tr> <tr><td>グラスウール吸音材</td><td>16</td><td>40</td><td>0.7M</td><td></td></tr> <tr><td>グラスウール吸音材</td><td>48</td><td>40</td><td>0.9M</td><td></td></tr> <tr><td>吸音用あなきせっこうボード</td><td>-</td><td>9.5</td><td>0.3U</td><td>地味紙を貼付したもの</td></tr> </table> <p>注：吸音率は、JIS A 6301 4.2の「吸音率による区分」による。</p> <p>せっこうボードは、JIS A 6901「せっこうボード製品」の規格品とし、次表に適合するものとする。</p> <table border="1"> <tr><th>材料</th><th>厚さ (mm)</th></tr> <tr><td>せっこうボード</td><td>9.5</td></tr> </table> <p>合板は、合板の日本農林規格（平成15年農林水産省告示第233号）に規定する普通合板で、接着の程度は2類、樹種はラワン又はしなとし、厚さ5.5mm以上のものとする。</p> <p>a せん孔合板は、2.3に定める合板にせん孔したものと b せん孔合板は、孔内面に鋭断屑を残さずあなけ状態が良好なものとする。 c 開孔率は、5%以上とする。</p> <p>掲示版用壁紙は、JIS A 6921「壁紙」の規格品とし、掲示版用のものとする。</p>	種別	密度 kg/m <sup>3</sup>	厚さ mm	吸音率	適用	ロックウール吸音材	40	25	0.7M		ロックウール化粧吸音板	-	9	0.5M		グラスウール吸音材	16	40	0.7M		グラスウール吸音材	48	40	0.9M		吸音用あなきせっこうボード	-	9.5	0.3U	地味紙を貼付したもの	材料	厚さ (mm)	せっこうボード	9.5
	工事種別	名称																																																																																																									
	1級工事	防衛省 1級 防音工事																																																																																																									
	2級工事	防衛省 2級 防音工事																																																																																																									
	3級工事	防衛省 3級 防音工事																																																																																																									
	4級工事	防衛省 4級 防音工事																																																																																																									
	工事種別	防音量																																																																																																									
	1級工事	35dB以上																																																																																																									
	2級工事	30 "																																																																																																									
	3級工事	25 "																																																																																																									
4級工事	20 "																																																																																																										
区分	建具別	適音量(平均値)																																																																																																									
1	金属製一部二重気密建具(可動部(10)、固定部(10+5))	35dB以上																																																																																																									
2	金属製一部二重気密建具(可動部(8)、固定部(5+5))	33 "																																																																																																									
3	区分4の金属製気密建具(5)木製気密建具(3)、又は金属製普通建具(3)の二重建、建具間吸音層付	33 "																																																																																																									
4	金属製気密建具(5)	28 "																																																																																																									
5	金属製気密建具(5)	25 "																																																																																																									
6	金属製普通建具(3)	18 "																																																																																																									
7	木製気密建具(3)	15 "																																																																																																									
教育関係施設	図書室、医務室、保健室及びこれに類する室	40dB(A)																																																																																																									
	その他の施工室	45dB(A)																																																																																																									
医療関係施設	医師勤務室、学習指導室、集會室、会議室、事務室及びこれに類する室	45dB(A)																																																																																																									
	その他の施工室	40dB(A)																																																																																																									
		冬季	夏季																																																																																																								
乾球温度 ( )		18~20	25~28																																																																																																								
相対湿度 (%)		40~70																																																																																																									
種別	密度 kg/m <sup>3</sup>	厚さ mm	吸音率	適用																																																																																																							
ロックウール吸音材	40	25	0.7M																																																																																																								
ロックウール化粧吸音板	-	9	0.5M																																																																																																								
グラスウール吸音材	16	40	0.7M																																																																																																								
グラスウール吸音材	48	40	0.9M																																																																																																								
吸音用あなきせっこうボード	-	9.5	0.3U	地味紙を貼付したもの																																																																																																							
材料	厚さ (mm)																																																																																																										
せっこうボード	9.5																																																																																																										
		備考	承認覧	<p>工事名称</p> <p>泉小学校空調整備工事</p> <p>OKANO ARCHITECTS OFFICE 一般建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北条五丁目12番6号</p>		<p>図面名称</p> <p>防衛施設周辺防音事業工事標準仕方書(1)</p> <p>尺度</p> <p>図面番号</p> <p>A-01</p>																																																																																																					



改修工事特記仕様書		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿	
1. 工事名称	泉小学校空調整備工事	2. 工事場所	福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号	3. 工事概要	は別紙(下記)による。	空調整備工事に伴う建築工事	4. 別途工事	・ 設備工事(電気・機械)	5. その他	建築材料等	特別な材料の工法	11. 施工数量調査	12. 技能士	13. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定	14. 学校施設におけるVOC等の測定	15. 完成図	16. 安全に関する資料	17. 設計GL	18. 原形復旧	19. 設備工事との取合い	20. 総合図での調整	21. 工事写真等	22. 竣工後の調査	23. その他	24. 足場その他	25. 養生	26. 仮設間仕切	27. 監督員事務所	28. 工事用水	29. 工事用電力	30. 総合仮設計画書	31. 危険防止	32. 構台	33. 工事車両の出入口	34. 改修方法の種類及び行程	35. アスファルト防水	36. シーリング	37. 防水	38. アルミニウム製窓木	39. 施工	40. 保証年限	41. その他防水	3. 改質アスファルトシート防水	改質アスファルトシートの種類及び厚さ	4. 合成高分子ルーフィングシート防水	5. 塗膜防水	6. シーリング	7. とい	8. アルミニウム製窓木	9. 施工	10. 保証年限	11. その他防水
1. 概要	1. 工事名称 泉小学校空調整備工事	2. 工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号	3. 工事概要は別紙(下記)による。	空調整備工事に伴う建築工事	4. 別途工事 ・ 設備工事(電気・機械)	5. その他	建築材料等	特別な材料の工法	11. 施工数量調査	12. 技能士	13. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定	14. 学校施設におけるVOC等の測定	15. 完成図	16. 安全に関する資料	17. 設計GL	18. 原形復旧	19. 設備工事との取合い	20. 総合図での調整	21. 工事写真等	22. 竣工後の調査	23. その他	24. 足場その他	25. 養生	26. 仮設間仕切	27. 監督員事務所	28. 工事用水	29. 工事用電力	30. 総合仮設計画書	31. 危険防止	32. 構台	33. 工事車両の出入口	34. 改修方法の種類及び行程	35. アスファルト防水	36. シーリング	37. 防水	38. アルミニウム製窓木	39. 施工	40. 保証年限	41. その他防水	3. 改質アスファルトシート防水	改質アスファルトシートの種類及び厚さ	4. 合成高分子ルーフィングシート防水	5. 塗膜防水	6. シーリング	7. とい	8. アルミニウム製窓木	9. 施工	10. 保証年限	11. その他防水			
1. 概要	1. 概要	2. 概要	3. 概要	4. 概要	5. 概要	6. 概要	7. 概要	8. 概要	9. 概要	10. 概要	11. 概要	12. 概要	13. 概要	14. 概要	15. 概要	16. 概要	17. 概要	18. 概要	19. 概要	20. 概要	21. 概要	22. 概要	23. 概要	24. 概要	25. 概要	26. 概要	27. 概要	28. 概要	29. 概要	30. 概要	31. 概要	32. 概要	33. 概要	34. 概要	35. 概要	36. 概要	37. 概要	38. 概要	39. 概要	40. 概要	41. 概要	42. 概要	43. 概要	44. 概要	45. 概要	46. 概要	47. 概要	48. 概要	49. 概要	50. 概要		

外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ	4. 1. 施工調査数量	調査範囲 図示 ( ) (1.5.2) 調査項目 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 調査方法 図示 目視及び打診 ( ) 調査報告書 ( )部を監督員に提出する。 補修方法 図示 ( ) (1.5.3)	4. 欠損部改修方法	・充填工法 (4.2.2)(4.4.8) 欠損部の面積が1箇所当たり0.25㎡程度以下の場合 材 料 製造所 ・エポキシ樹脂モルタル ( ) ・ポリマーセメントモルタル ( )	4. 欠損部改修方法	・リカットシール材充填工法 (4.2.2)(4.5.6) 材 料 種 別 備 考 ・シーリング用材料 1成分又は2成分形 ・ポリマーセメントモルタルの充填 JIS A5785 ポリウレタン系シーリング材 行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂 ( ) 製造所 ( )	6. 目地改修工法	検査 テストハンマーによる打診により確認を行い、その結果を監督員に提出し、承諾を受ける。 目地ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.5.16) 既製適合モルタル(目地材料) 製造所 ( )			
	2. 調査のための破壊部分の補修	補修方法 図示 ( ) (1.5.3)	2. 浮き部改修方法	・モルタル塗替え工法 (4.2.2)(4.4.9) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示 ( )	4. 欠損部改修方法	・タイル部分張替え工法 (4.5.7) 材 料 製造所 ・ポリマーセメントモルタル ( ) ・変形シリコン樹脂 ・エポキシ樹脂 ( ) ・ポリウレタン樹脂 ・シリコン樹脂 ( )	外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ 4. 仕上げ材仕上げ	既製劣化部の除去、下地処理の工法 (4.6.3)(表4.6.2/4.6.5) 工法 処理範囲 下地面の補修 サンダー工法(10MPa程度以上) 既存仕上げ面全体・図面指示 ・ひび割れ部改修工法 ・高圧水洗工法(30MPa程度以上) 既存仕上げ面全体・図面指示 ・浮き部改修工法 ・塗膜剝離工法 既存仕上げ面全体・図面指示 ・欠損部改修工法 ・水洗い工法 上記処理範囲以外の既存面全体 ( ) 塗膜剝離剤 製造所 ( )			
	3. ひび割れ部改修方法	・樹脂注入工法 (4.2.2)(4.3.4) 材 料 製造所 エポキシ樹脂 JIS A6024の規格品 (・低粘度形 ・中粘度形) ・軟質形エポキシ樹脂 ( )	5. 浮き部改修方法	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (4.4.10)(図4.4.1) 挿入孔1箇所当たりの充填量 25ml ( ) ・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (4.4.11)(図4.4.2) 注入孔1箇所当たりの注入量 25ml ( ) ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (4.4.12) 注入孔1箇所当たりの注入量 50ml ( )	3. ひび割れ部改修方法	・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (4.4.12) 注入孔1箇所当たりの注入量 50ml ( )			4. 調査のための破壊部分の補修 3. 既存塗膜等の除去及び下地処理	下地調整材 ・防水形仕上げ塗材主材を使用 ・ポリマーセメントモルタル 製造所 ( ) 下地調整塗材 註記:セメント系下地調整塗材2種(C2) (キグスイ カチオンフィラー同等品) (4.1.4)(4.2.2)(表4.2.3)(表2.4.2)	
	4. 欠損部改修方法	・充填工法 (4.2.2)(4.3.7) 材 料 製造所 ・エポキシ樹脂モルタル ( ) ・ポリマーセメントモルタル ( )	4. 欠損部改修方法	・アンカーピン 5US304 呼び径4mm 全ネジ切り加工(4.2.2) ・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法(4.4.13)(図4.4.3) ・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法(4.4.14)(図4.4.4) ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法(4.4.15)	4. 欠損部改修方法	・アンカーピン 5US304 呼び径6mm (4.2.2) 材 料 注入量(ml/箇所) 製造所 ・固定用エポキシ樹脂 ・25 JIS A6024の規格品 高粘度形 ( ) ・注入用エポキシ樹脂 ・25 JIS A6024の規格品 ( ) ・ポリマーセメント ・50 ( ) スラリー ( )					4. 仕上げ材仕上げ
4. 欠損部改修方法	・充填工法 (4.2.2)(4.3.7) 材 料 製造所 ・エポキシ樹脂モルタル ( ) ・ポリマーセメントモルタル ( )	4. 欠損部改修方法	・浮き部分撤去モルタル塗替え工法 厚さ 10 ( ) 検査 テストハンマーによる打診により確認を行い、その結果を監督員に提出し、承諾を受ける。	4. 欠損部改修方法	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (4.4.10)(図4.4.1) 挿入孔1箇所当たりの充填量 25ml ( ) ・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (4.4.11)(図4.4.2) 注入孔1箇所当たりの注入量 25ml ( ) ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (4.4.12) 注入孔1箇所当たりの注入量 50ml ( )	4. 仕上げ材仕上げ					
4. 欠損部改修方法	・充填工法 (4.2.2)(4.3.7) 材 料 製造所 ・エポキシ樹脂モルタル ( ) ・ポリマーセメントモルタル ( )	4. 欠損部改修方法	・浮き部分撤去モルタル塗替え工法 厚さ 10 ( ) 検査 テストハンマーによる打診により確認を行い、その結果を監督員に提出し、承諾を受ける。	4. 欠損部改修方法	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (4.4.10)(図4.4.1) 挿入孔1箇所当たりの充填量 25ml ( ) ・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (4.4.11)(図4.4.2) 注入孔1箇所当たりの注入量 25ml ( ) ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (4.4.12) 注入孔1箇所当たりの注入量 50ml ( )		4. 仕上げ材仕上げ	4. 仕上げ材仕上げ			

外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ	4. 1. 施工調査数量	調査範囲 図示 ( ) (1.5.2) 調査項目 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタルのはがれ及び剥離部を壁面に表示する。 浮き部分を壁面に表示する。 調査方法 図示 目視及び打診 ( ) 調査報告書 (2部)部を監督員に提出する。 補修方法 図示 ( ) (1.5.3)	4. 1. 施工調査数量	調査範囲 図示 ( ) (1.5.2) 調査項目 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタルのはがれ及び剥離部を壁面に表示する。 浮き部分を壁面に表示する。 調査方法 図示 目視及び打診 ( ) 調査報告書 ( )部を監督員に提出する。 補修方法 図示 ( ) (1.5.3)	4. 1. 施工調査数量	調査範囲 図示 ( ) (1.5.2) 調査項目 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタルのはがれ及び剥離部を壁面に表示する。 浮き部分を壁面に表示する。 調査方法 図示 目視及び打診 ( ) 調査報告書 ( )部を監督員に提出する。 補修方法 図示 ( ) (1.5.3)	4. 1. 施工調査数量	調査範囲 図示 ( ) (1.5.2) 調査項目 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタルのはがれ及び剥離部を壁面に表示する。 浮き部分を壁面に表示する。 調査方法 図示 目視及び打診 ( ) 調査報告書 ( )部を監督員に提出する。 補修方法 図示 ( ) (1.5.3)
	2. 調査のための破壊部分の補修	補修方法 図示 ( ) (1.5.3)	2. 調査のための破壊部分の補修	補修方法 図示 ( ) (1.5.3)	2. 調査のための破壊部分の補修	補修方法 図示 ( ) (1.5.3)	2. 調査のための破壊部分の補修	補修方法 図示 ( ) (1.5.3)
	3. ひび割れ部改修方法	・樹脂注入工法 (4.2.2)(4.4.5) 材 料 製造所 エポキシ樹脂 JIS A6024の規格品 (・低粘度形 ・中粘度形) ・軟質形エポキシ樹脂 ( )	3. ひび割れ部改修方法	・樹脂注入工法 (4.2.2)(4.5.5) 材 料 製造所 エポキシ樹脂 JIS A6024の規格品 (・低粘度形 ・中粘度形) ・軟質形エポキシ樹脂 ( )	3. ひび割れ部改修方法	・樹脂注入工法 (4.2.2)(4.5.5) 材 料 製造所 エポキシ樹脂 JIS A6024の規格品 (・低粘度形 ・中粘度形) ・軟質形エポキシ樹脂 ( )	3. ひび割れ部改修方法	・樹脂注入工法 (4.2.2)(4.5.5) 材 料 製造所 エポキシ樹脂 JIS A6024の規格品 (・低粘度形 ・中粘度形) ・軟質形エポキシ樹脂 ( )
	4. 欠損部改修方法	・充填工法 (4.2.2)(4.3.7) 材 料 製造所 ・エポキシ樹脂モルタル ( ) ・ポリマーセメントモルタル ( )	4. 欠損部改修方法	・充填工法 (4.2.2)(4.3.7) 材 料 製造所 ・エポキシ樹脂モルタル ( ) ・ポリマーセメントモルタル ( )	4. 欠損部改修方法	・充填工法 (4.2.2)(4.3.7) 材 料 製造所 ・エポキシ樹脂モルタル ( ) ・ポリマーセメントモルタル ( )	4. 欠損部改修方法	・充填工法 (4.2.2)(4.3.7) 材 料 製造所 ・エポキシ樹脂モルタル ( ) ・ポリマーセメントモルタル ( )

OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所	岡野設計事務所 一級建築士 第114155号 倉経 真治	工事名称	泉小学校空調整備工事	図面番号	A-04
有限 岡野設計事務所 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号 TEL 0930-23-0412		図面名称	改修工事特記仕様書(2)	縮尺	

この項より建築工事標準仕様書

5. 改修工法
既存建物を新規金属製建物を改修する場合の工法
(5.1.3)
2. アルミニウム製建具
(5.2.2-4) [表5.2.1] [表5.2.2]
3. 網戸
外面納まりの可動式
(5.2.3-4)
4. 網製建具
簡易気密型ドアセットの性能値
(5.4.2)
5. 網製軽量建具
簡易気密型ドアセットの性能値
(5.5.2)
6. ステンレス製建具
材質 SUS304
(5.6.2-5)
7. 建具用金物
見本品を監督員に提出して承諾を受ける。
(5.7.1) (5.7.2-4)
8. 自動ドア開閉装置
開閉装置の性能値
(5.8.2-3)
9. 重量シャッター
機能による種類
(5.10.2-4)
10. 軽量シャッター
開閉機能による種類
(5.11.2-4) [表5.11.1]
11. オーバーヘッドドア
セクション材料
(5.12.2)
12. ガラス
建具に取り付けるガラス及びガラスブロックは図面図示(建具表)による。
(5.13.2)
13. 方立等の補強
耐風圧性 5.5 以上を確保とする。

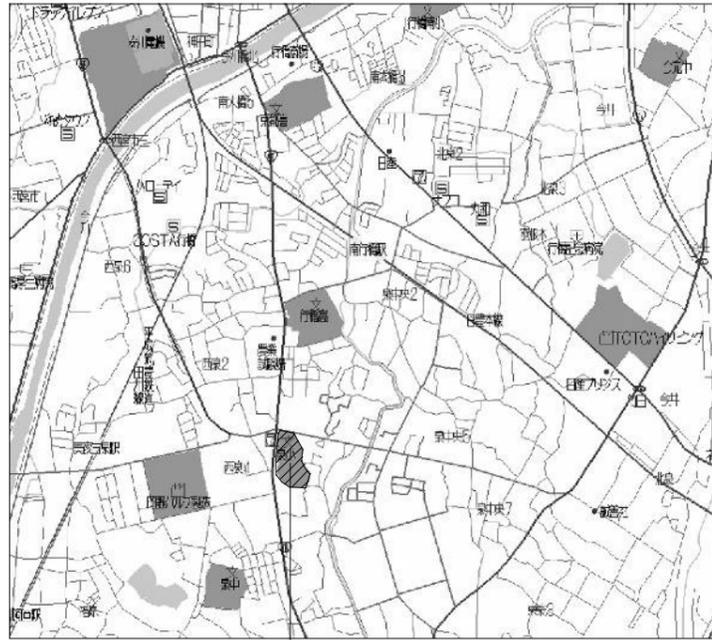
6. カーベツト敷き
(6.9.2) (6.9.3) (6.9.4) (表6.9.1) (表6.9.2)
7. 合成樹脂塗床
(6.10.2) (6.10.3) (表6.10.3-7)
8. 防塵用塗料塗り
(6.11.2-7) (表6.11.1-4)
9. フローリング張り
(6.13.2) (6.13.3)
10. 体育館用フローリング張り
(6.13.2) (6.13.3)
11. 畳敷き
(6.13.2) (6.13.3)
12. 壁紙張り
(6.14.2)
13. 壁紙張り
(6.14.2)
14. タイル張り
(6.16.3)

15. 断熱材
(1.9.9.2)
16. 吸音材
(1.4.2.1) (1.4.2.2) (表1.4.2.1)
17. ポリスチレンフォーム床下地材
(1.4.2.1)
18. ステンレスの表面仕上げ
(1.4.2.1)
19. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理
(1.4.2.2) (表1.4.2.1)
20. 鉄の亜鉛メッキ
(1.4.2.1)
21. 軽量鉄骨天井下地
(6.6.2) (6.6.3)
22. 軽量鉄骨壁下地
(6.7.3) (表6.7.1)
23. 金属成形板張り
(1.4.6.2)
24. 手すり及びタラップ
(1.4.8.2) (1.4.8.3)
25. フリーアクセスフロア
(2.0.2.2)
26. 移動間仕切(スライディングドア)
(2.0.2.4)
27. トイレブース
(2.0.2.5)
28. 階段滑止め
(2.0.2.6)

6. 階段手すり
(2.0.2.7)
7. 床目地樫
(2.0.2.7)
8. 黒板及びホワイトボード
(2.0.2.8)
9. 鏡
(2.0.2.9)
10. 表示
(2.0.2.10)
11. 煙突ライニング
(2.0.2.11)
12. ブラインド
(2.0.2.12)
13. ロールスクリーン
(2.0.2.13)
14. カーテン及びカーテンレール
(2.0.2.14) (表2.0.2.1)
15. ブラインドボックス及びカーテンボックス
(2.0.2.15)
16. コーナービード
(2.0.2.16)
17. 天井見切縁
(2.0.2.17)
18. 点検口
(2.0.2.18)
19. かつぶきマット
(2.0.2.19)
20. 網製書架及び物品櫃
(2.0.2.20)
21. 旗ざお
(2.0.2.21)
22. 旗ざお受金物
(2.0.2.22)
23. 流し台ユニット
(2.0.2.23)
24. 視覚障害者用誘導床材
(2.0.2.24)
25. 既製フェンス
(2.0.2.25)
26. かざ箱
(2.0.2.26)
27. 敷地境界線
(2.0.2.27)
28. 屋外掲示板
(2.0.2.28)
29. 車止め支柱
(2.0.2.29)

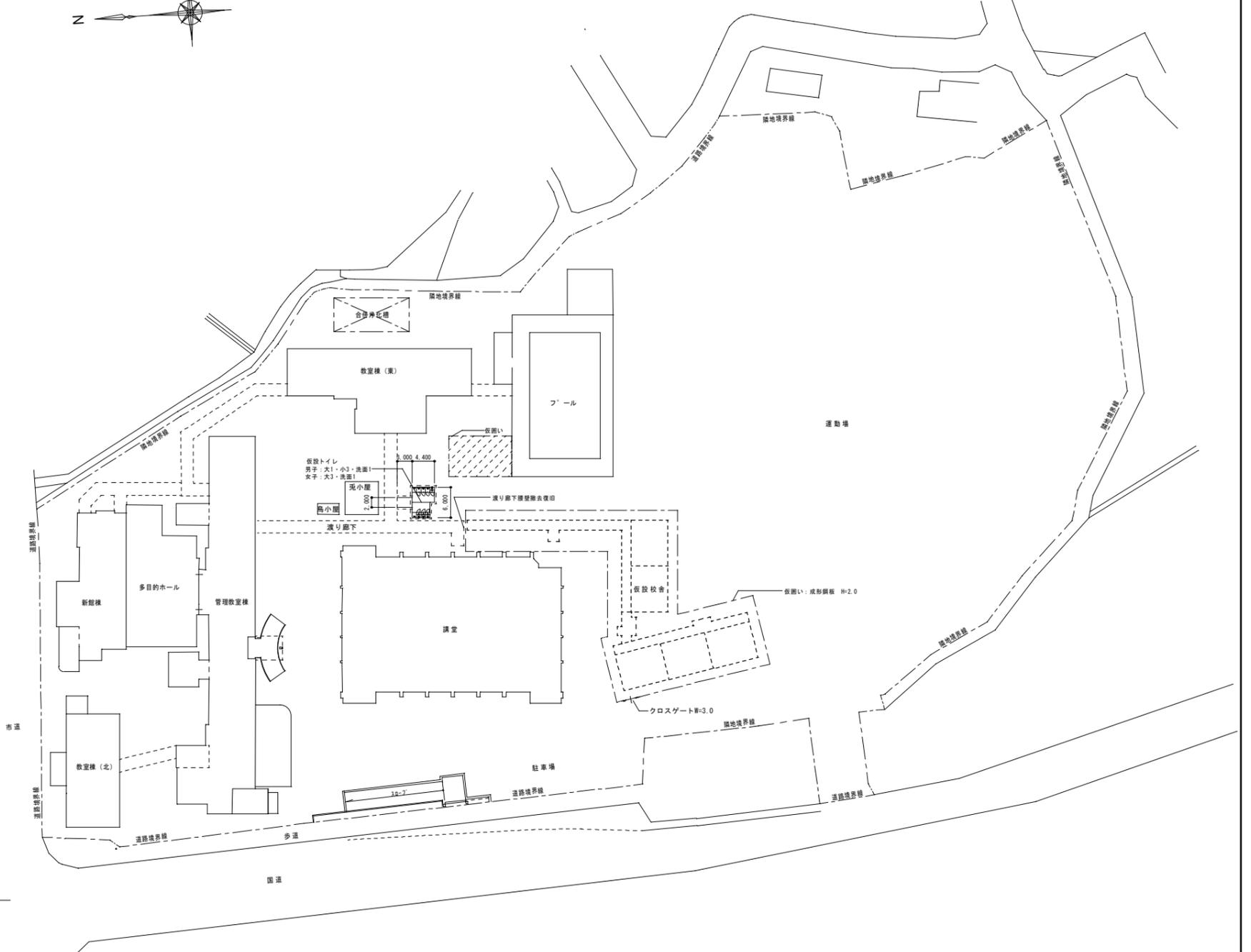
OKANO ARCHITECTS OFFICE
一級建築士事務所
岡野設計事務所
TEL 0930-23-0412
工事名称
泉小学校空調整備工事
図面番号
A-05
図面名称
改修工事特記仕様書(3)
縮尺





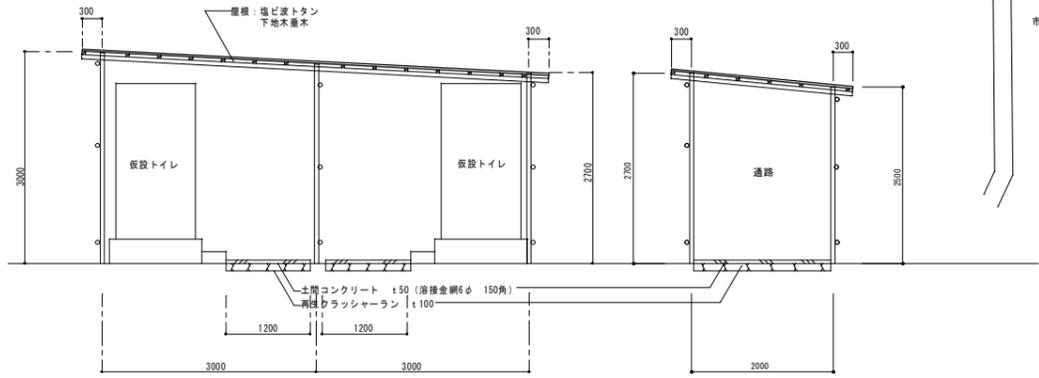
付近見取り図

工事場所：行橋市泉中央4丁目1-1



配置図 S=1/500

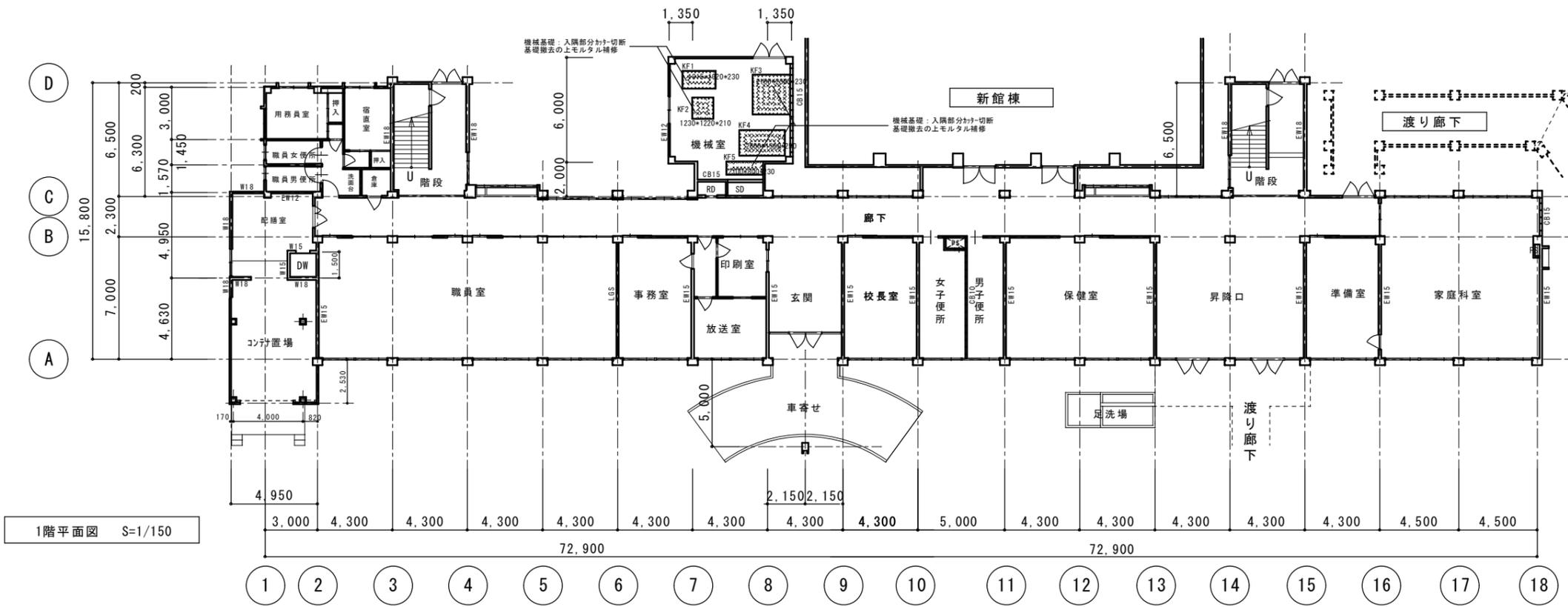
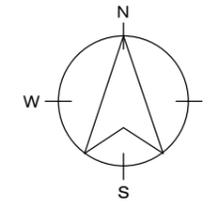
仮設トイレ断面図 S=1/50



仮設トイレ概要	
設置個数	・本仮設トイレは小学校校舎トイレ改修工事に伴うトイレの使用不可を回避するために設置するものである。
手洗い 2ブース *手洗いの排水金具をトラップ付とする	
小便器 3ブース	・仮設トイレ設置期間中は給水の充填及び汚物の状況を確認し、必要に応じて取り回しの手配等、
大便器 4ブース	維持保全を含むものとする。なお、維持保全に関する設計変更はしない。
設置方法：小便器 水洗	・工事完成までに仮設物を取り除き、撤去跡及び付近の清掃、整地等を行うこと。
大便器 水洗	・仮設計画図を、工事の着手に先立ち施工図を作成の上、監督員の承認を受けること。
仮設屋根	・既設汚水樹保護カバー設置 900×900×H=600 設置位置は監督員と協議すること。 (耐水合板7-9)

特記事項

- ※工事期間中、生徒、職員の安全に努めること。
- ※仮設物、仮囲い、現場事務所、等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定すること。
- ※敷地内の車両の通行に際しては、最徐行とし歩行者の安全に努めること。
- ※足場の進入口は鍵付とし、工事関係者以外の立ち入り禁止措置を行うこと。
- ※工事完了後は、仮囲い内の整地を行うこと。

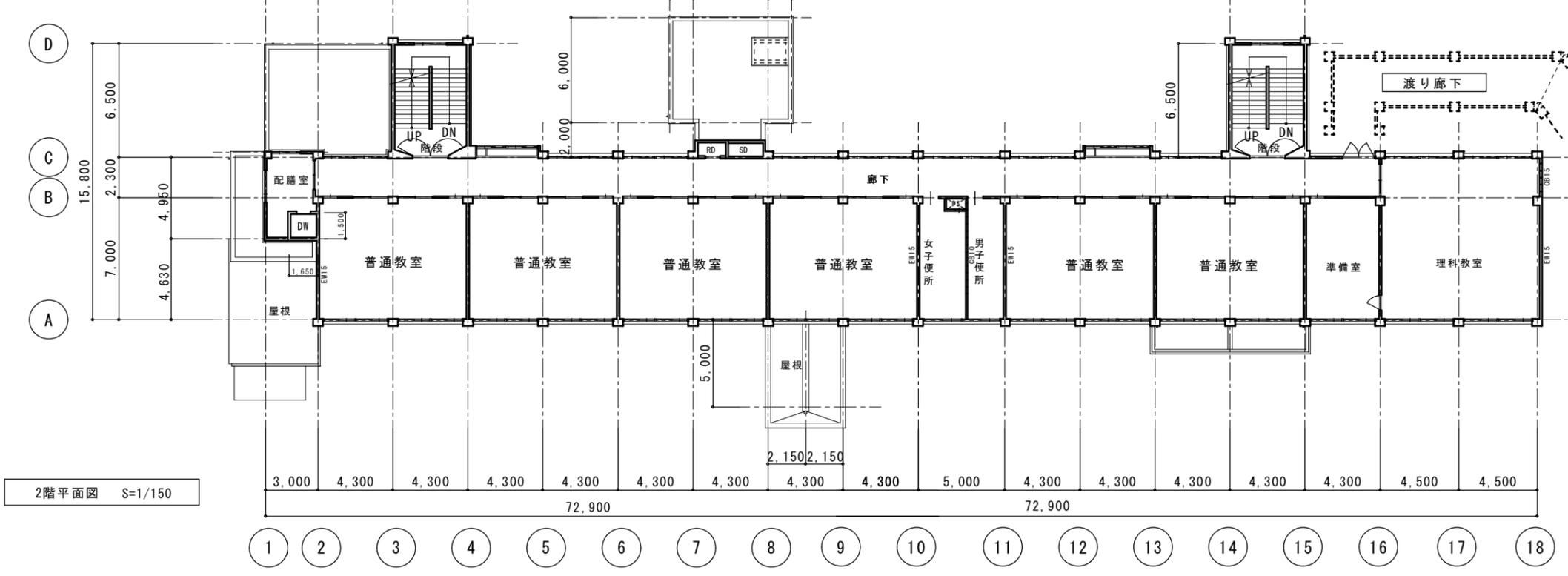


1階平面図 S=1/150

特記事項

- ※ 工事期間中、生徒・職員に安全のため、廊下等の避難経路を確保する事。
- ※ 近所等、音漏れ等の設置場所については、施設関係者及び監督と協議して決定する事。
- ※ 廊下等通路になる部分の工事等は、学校の授業の無い日に工事する事。
- ※ 廊下等通路になる部分の天井及び壁等を撤去後は、危険防止措置をし安全を充分確保する事。
- ※ 工事対象室の床・壁等は、養生・整理清掃を行う事。(天井撤去時の埃等は、散らばらない様に注意して作業する事。)
- ※ 工事対象室までの工事用搬入通路になる、工事対象外の階段等は、幅1m程度、養生・整理清掃を行う事。
- ※ 1階職員室は、天井を部分改修とし、工事中も稼働使用できる様配慮する事。
- ※ 改修工事のため、各部を施工・制作前に調査・実測のうえ、施工・制作を行う事。

管理棟検査		空調対象面積	
室名			
[1階]			
職員室	17.2 × 7.0 = 120.40		120.40
事務室	4.3 × 7.0 = 30.10		30.10
校長室	4.3 × 7.0 = 30.10		30.10
保健室	8.6 × 7.0 = 60.20		60.20
家庭科室	9.0 × 9.3 = 83.70		83.70
[2階]			
普通教室(6室)	8.6 × 7.0 × 6 = 361.20		361.20
理科室	9.0 × 9.3 = 83.70		83.70
[3階]			
普通教室(6室)	8.6 × 7.0 × 6 = 361.20		361.20
普通教室	9.0 × 9.3 = 83.70		83.70
[1階]			
コック置場	4.95 × 7.16 = 35.44		35.44
配膳室	4.95 × 2.37 + 4.735 × 2.3 + 4.95 × 0.28 = 24.01		24.01
便所	3.215 × 3.02 + 5.0 × 7.0 = 44.71		44.71
用務員室	4.5 × 3.0 = 13.50		13.50
宿直室	2.80 × 4.65 = 13.02		13.02
倉庫	1.8 × 1.65 = 2.97		2.97
湯沸室	1.285 × 3.3 + 1.0 × 1.65 = 5.89		5.89
前室	1.4 × 3.5 = 4.90		4.90
放送室	4.3 × 3.5 = 15.05		15.05
印刷室	2.9 × 3.5 = 10.15		10.15
家庭科準備室	4.3 × 7.0 = 30.10		30.10
機械室	7.0 × 6.0 + 3.82 × 1.1 = 46.20		46.20
D/S	3.82 × 0.9 = 3.44		3.44
階段・廊下・玄関・昇降口	61.115 × 2.3 + 4.06 × 0.6 + 3.82 × 0.6 + 4.3 × 6.5 × 2 + 4.3 × 7.0 + 8.6 × 7.0 = 291.49		291.49
[2階]			
配膳室	3.0 × 2.37 + 2.785 × 2.3 + 3.0 × 0.28 = 14.36		14.36
便所	5.0 × 7.0 = 35.00		35.00
理科準備室	4.3 × 7.0 = 30.10		30.10
D/S	3.82 × 0.9 = 3.44		3.44
階段・廊下	61.115 × 2.3 + 4.06 × 0.6 + 3.82 × 0.6 + 4.3 × 6.5 × 2 = 201.19		201.19
[3階]			
配膳室	3.0 × 2.37 + 2.785 × 2.3 + 3.0 × 0.28 = 14.36		14.36
便所	5.0 × 7.0 = 35.00		35.00
音楽準備室	4.3 × 7.0 = 30.10		30.10
D/S	3.82 × 0.9 = 3.44		3.44
階段・廊下	61.115 × 2.3 + 4.06 × 0.6 + 3.82 × 0.6 + 4.3 × 6.5 × 2 = 201.19		201.19
施設面積計			2,323.35
空調面積計			1,214.30

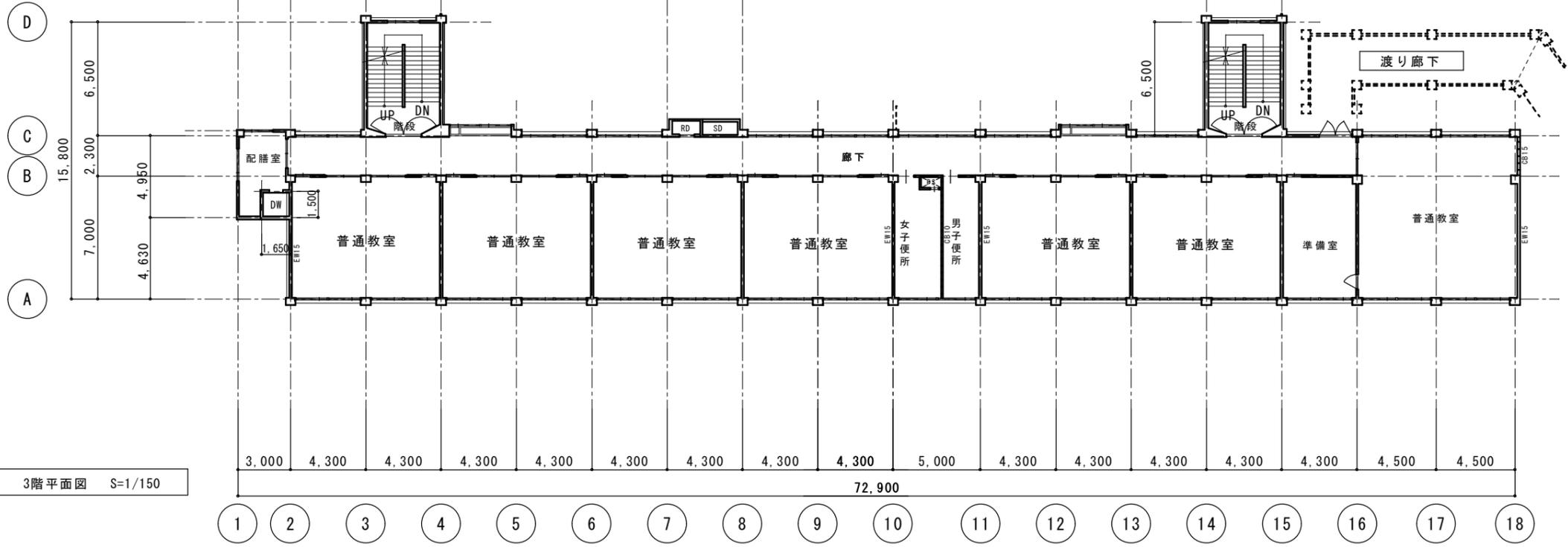
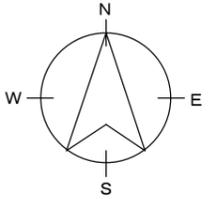


2階平面図 S=1/150

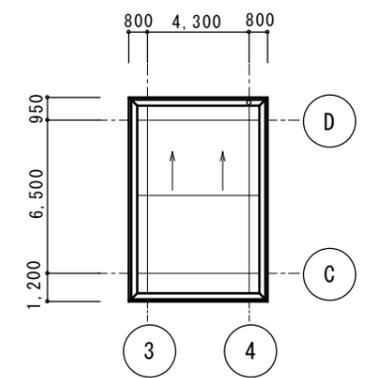
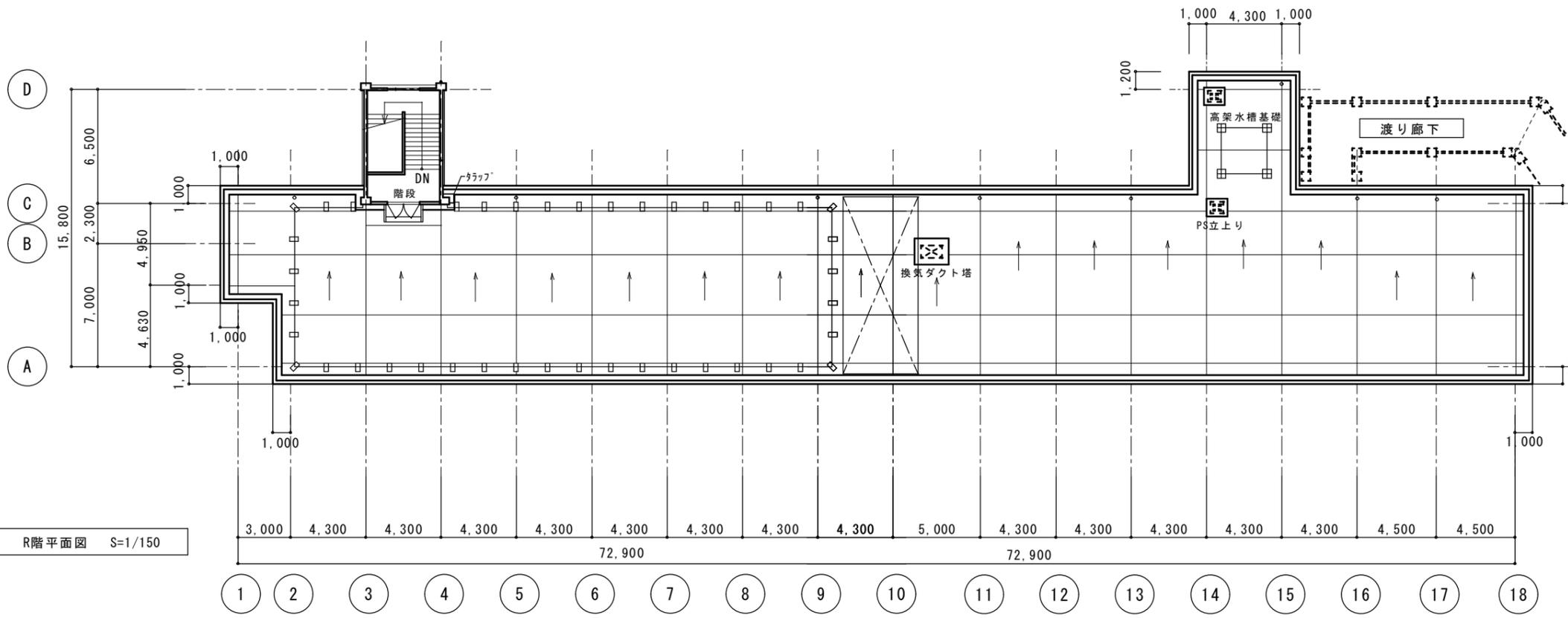
機械室基礎撤去リスト

符号	W×D×H
KF1	1,915 × 1,020 × 230
KF2	1,230 × 1,220 × 210
KF3	2,160 × 2,300 × 230
KF4	2,600 × 1,300 × 250
KF5	2,100 × 800 × 230

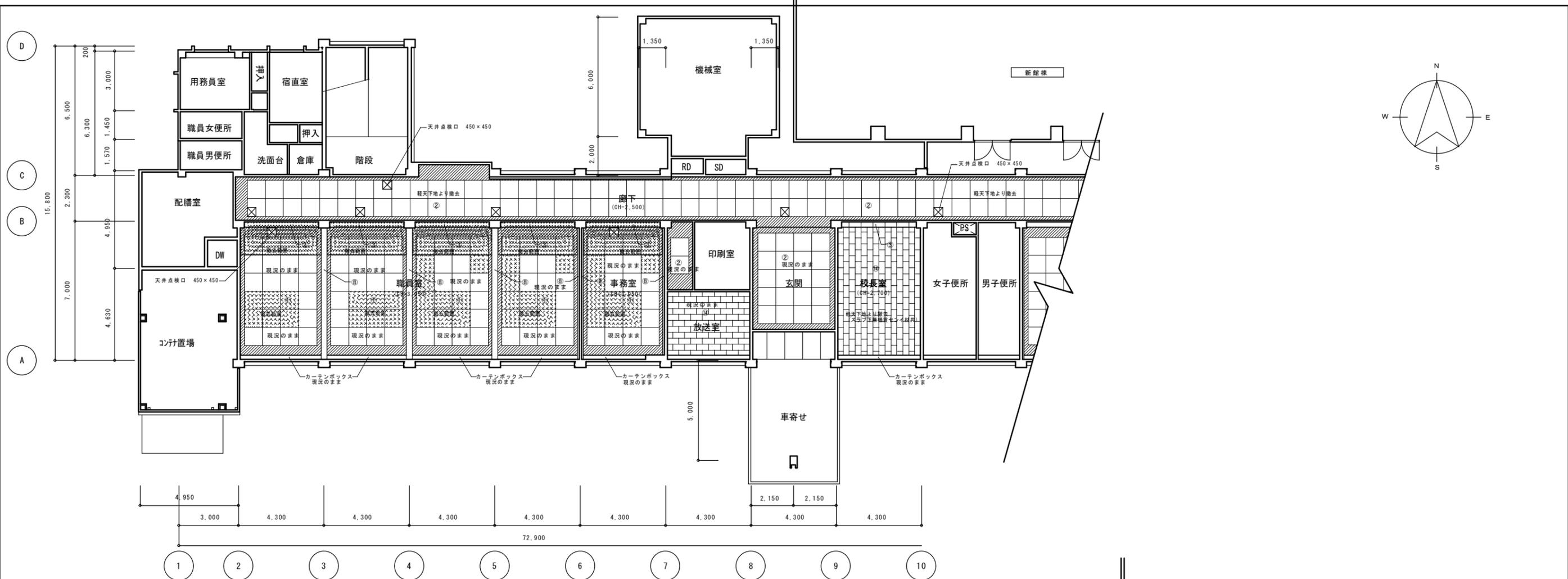
施工内容  
 コンクリート機械基礎撤去(周囲カッター入れ)  
 撤去部分モルタル金ごて押入れ新設



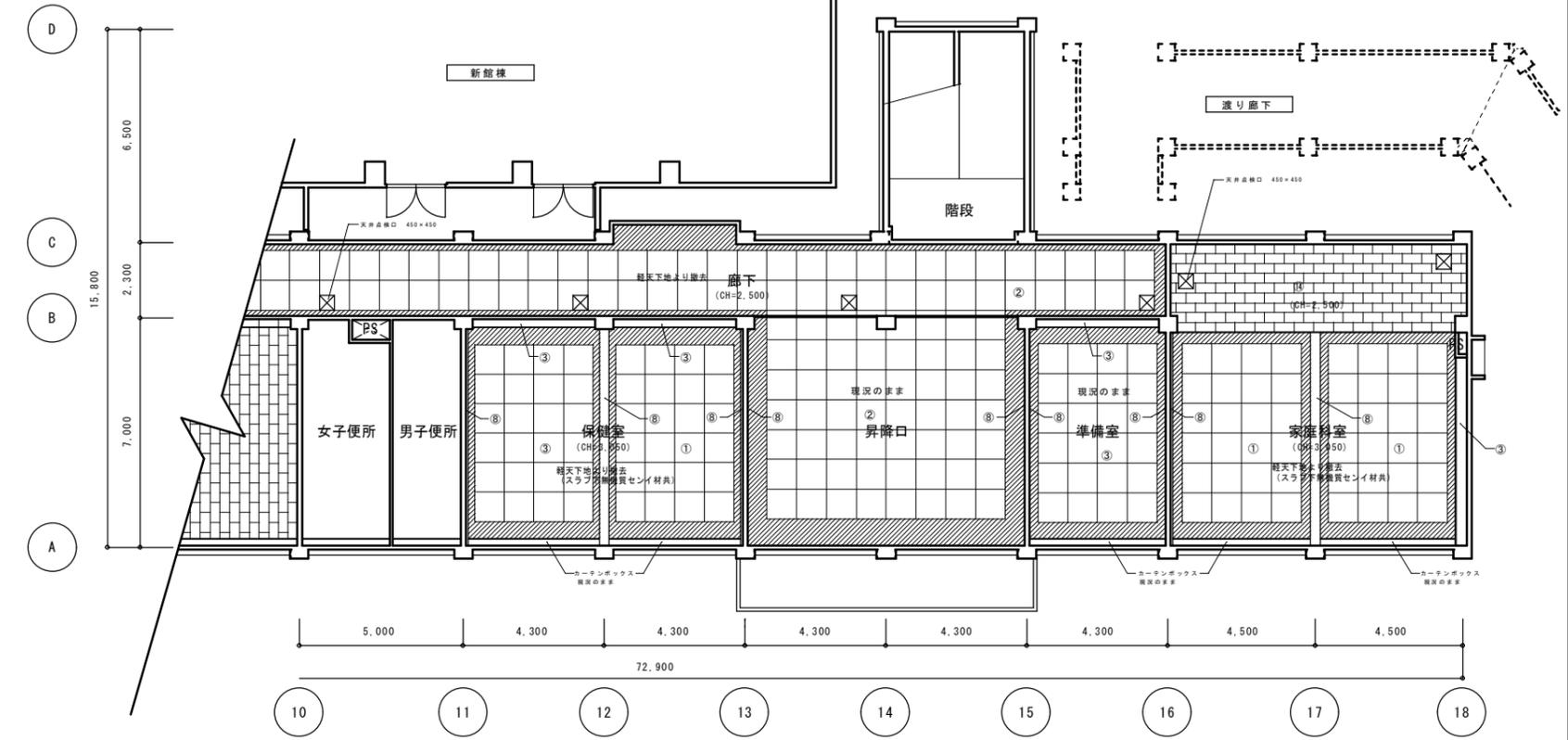
- 特記事項**
- ※ 工事期間中、生徒・職員の安全に務め、廊下等の避難経路を確保する事。
  - ※ 仮設物・仮囲い等の設置場所については、施設関係者及び監督員と協議して決定する事。
  - ※ 廊下等通路になる部分の工事は、学校の授業の無い日に工事する事。
  - ※ 廊下等通路になる部分の天井及び壁等を撤去後は、危険防止措置をし安全を充分確保する事。
  - ※ 工事対象室の床・壁等は、養生・整理清掃を行う事。(天井撤去時の埃等は、散らばらない様に注意して作業する事。)
  - ※ 工事対象室までの工事用搬入通路になる、工事対象外の階段等は、幅1m程度、養生・整理清掃を行う事。
  - ※ 1期職員室は、天井を部分改修とし、工事中も極力使用できる様配慮する事。
  - ※ 改修工事のため、各部を施工・制作前に調査・実測のうえ、施工・制作を行う事。



OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北東五丁目12番6号	一級建築士 岡野 真治 TEL 0930-23-0412	DRAWN BY:	工事名称: 小学校空調整備工事	DATE:	DRAWING NO.:
		CHECKED BY:	工事場所: 福岡県行橋市東中央4丁目1番1号	SCALE:	-A-09-
		図面名称:	管理教室棟 3階平面図	S=1/150	

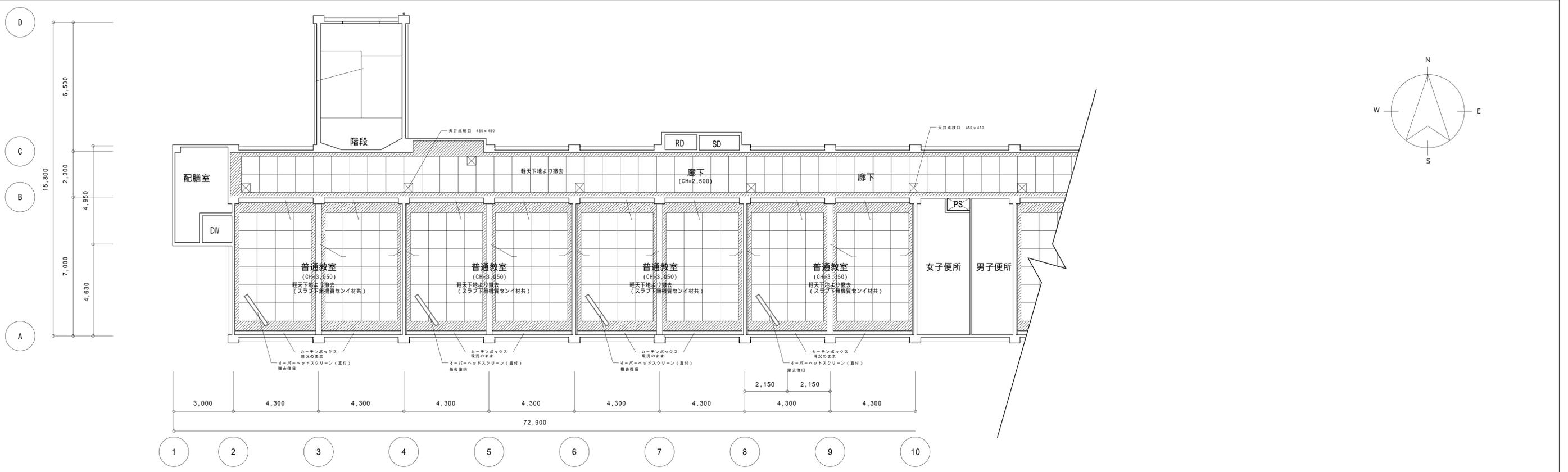


1階天井伏図 S=1/100

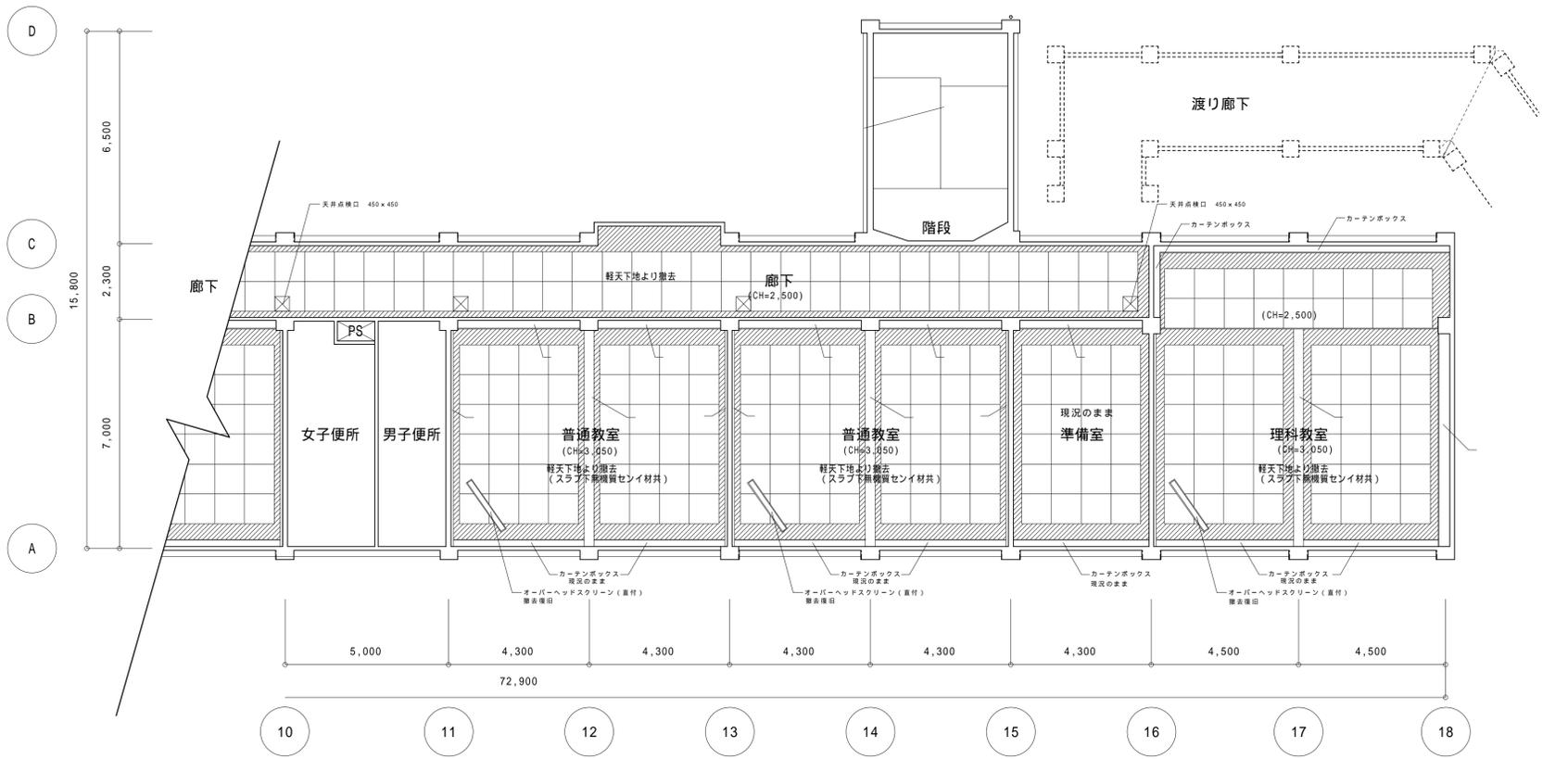


①	天井点検口	450×450
②	カーテンボックス	現況のまま
③	カーテンボックス	現況のまま
④	カーテンボックス	現況のまま
⑤	カーテンボックス	現況のまま
⑥	カーテンボックス	現況のまま
⑦	カーテンボックス	現況のまま
⑧	カーテンボックス	現況のまま
⑨	カーテンボックス	現況のまま
⑩	カーテンボックス	現況のまま

OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北東五丁目12番6号	一級建築士 第114155号 磯 真 治 TEL 0930-23-0412	DRAWN BY : : :	工事名称 : 良小学校空調整備工事 工事場所 : 福岡県行橋市中央4丁目1番1号 図面名称 : 管理棟校舎 改修前 1階天井伏図	DATE : : :	DRAWING NO. : A-10 SCALE : S=1/100
		CHECKED BY : : :			

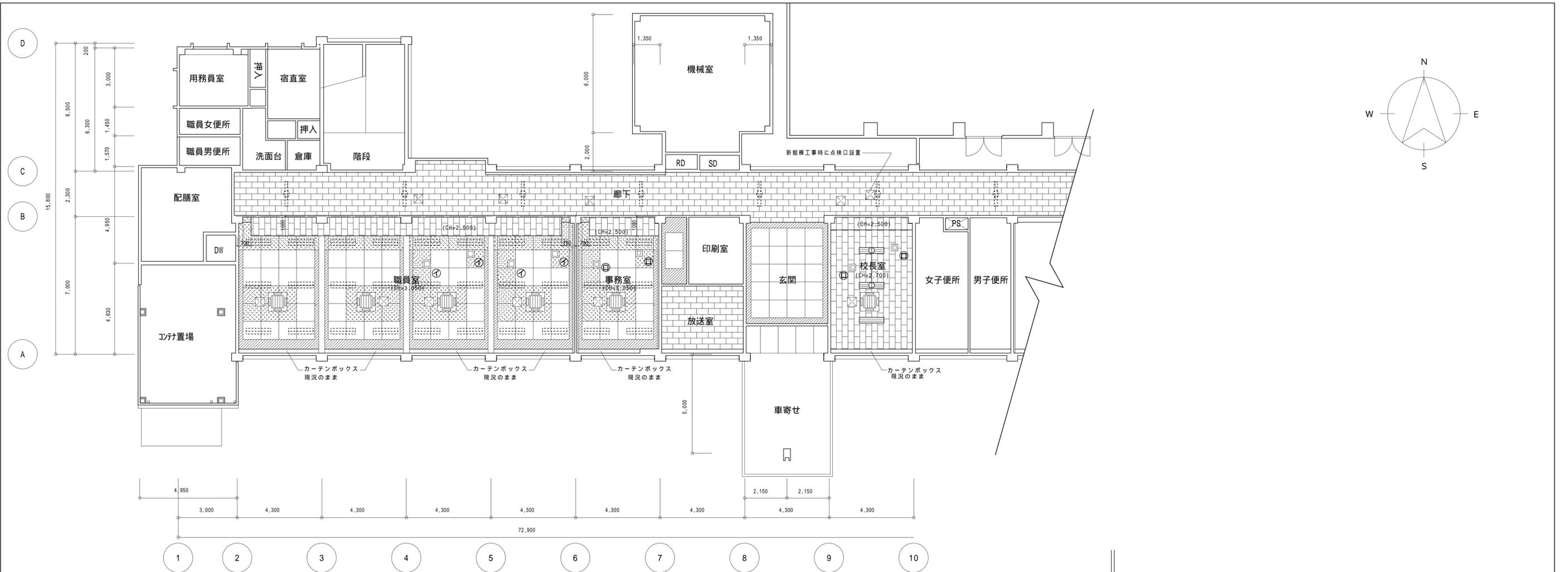


2階天井伏図 S=1/100



穿孔石膏ボード14	ボーダー石膏ボード14(目隠し貼)	プラスター塗
吸音石膏ボード14	ボーダー石膏ボード14(目隠し貼)	タワンベニア14
穿孔石膏ボード14	ボーダー石膏ボード14(目隠し貼)	軒天 コンクリート打設し(ベニヤ巻)
吸音石膏ボード14	ボーダー石膏ボード14(目隠し貼)	アクリルリシン吹付
化粧石膏ボード14	300×300×9 E.P.塗	モルタル耐毛引
化粧石膏ボード14	450×900	梁型 プラスター塗 機織網セシイ材吹付(機織網のみ)
杉板化粧石膏ボード14	目隠し貼	アクリルリシン吹付
石膏ボード14	目隠し貼	V.P.塗
石膏ボード14	目隠し貼	V.P.塗
石膏ボード14	目隠し貼	V.P.塗





1階天井伏図 S=1/100

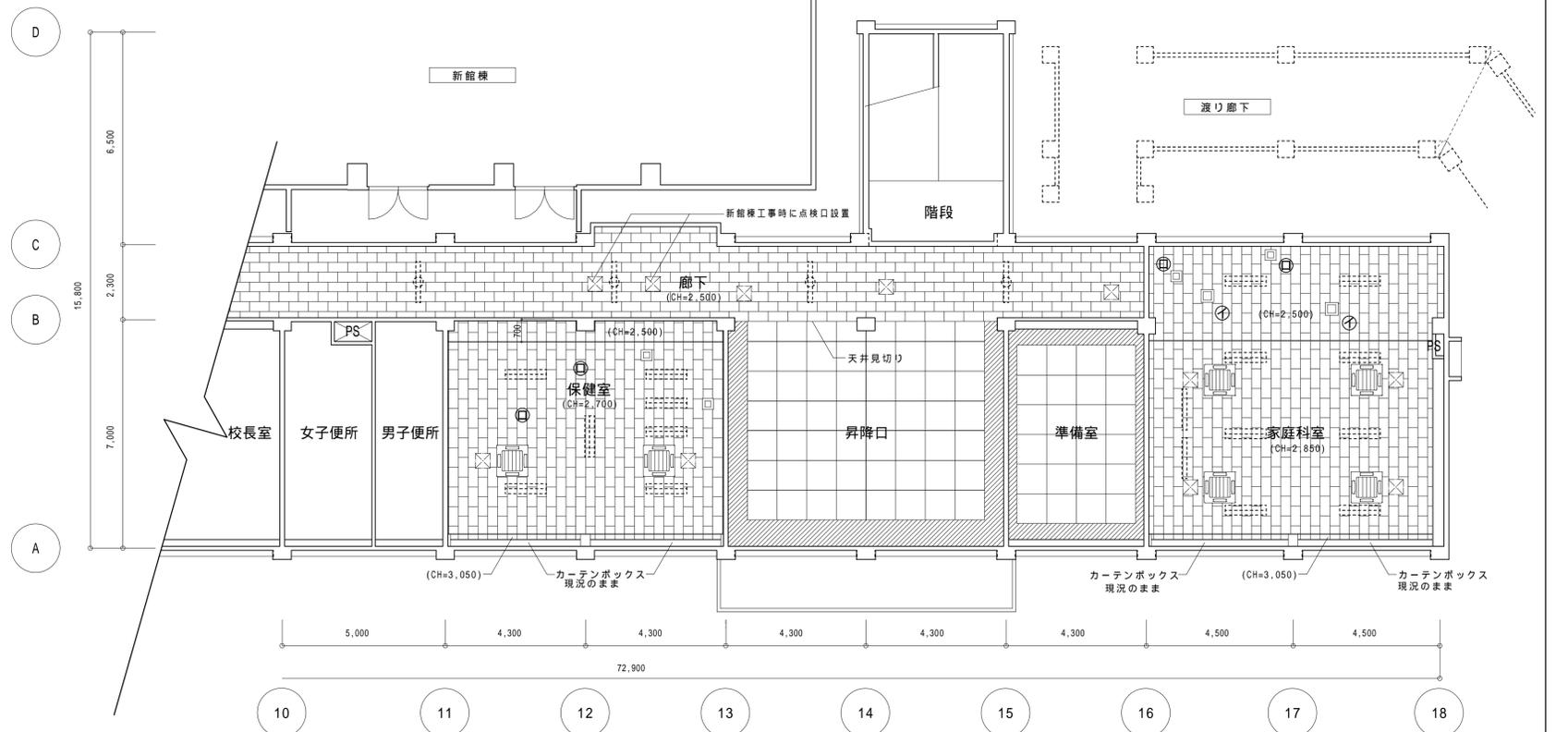
ロックウール化粧吸音板 7) 9mm		
捨て貼り吸音石膏ボード 7) 9.5mm 軽天下地		
化粧石膏ボード 7) 9.5mm 軽天下地		
吸音用あなき石膏ボード 7) 9.5mm 一部現況のままとする (ボ・ダ・石膏ボ・ド 7) 9.5mm目スカシ)軽天下地		EP
吸音テックス貼 7) 9mm 下地軽天		EP
天井点検口 450角		
給排気グリル		
カーテンボックス		
オーバーヘッドスクリーン		

天井開口寸法

名称	開口寸法 (mm)
天井カセット形エアコン	910 x 910
給排気グリル ①	390 x 390
給排気グリル ②	310 x 310
点検口	450 x 450
校長室電灯開口	300 x 1235

特記事項

廊下部分工事は学校の授業の無い日に工事する事。  
 工事期間中、生徒、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。  
 仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定する事。  
 廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。  
 改修後天井高さは、標準高さH=2,700とする、それ以外の部屋は、CH寸法の記入高さとする。  
 職員室は、極力使用できる様配慮する事、天井高さは現況のままとする。  
 廊下部分、天井高さは現況のままとする。



2階天井伏図 S=1/100

OKANO ARCHITECTS OFFICE

一級建築士事務所  
 有限会社 岡野設計事務所  
 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号

一級建築士 第114155号  
 横尾 真治  
 TEL 0930-23-0412

DRAWN BY

CHECKED BY

工事名称 泉小学校空調整備工事  
 工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号  
 図面名称 管理棟校舎 改修後 1階天井伏図

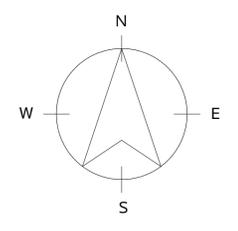
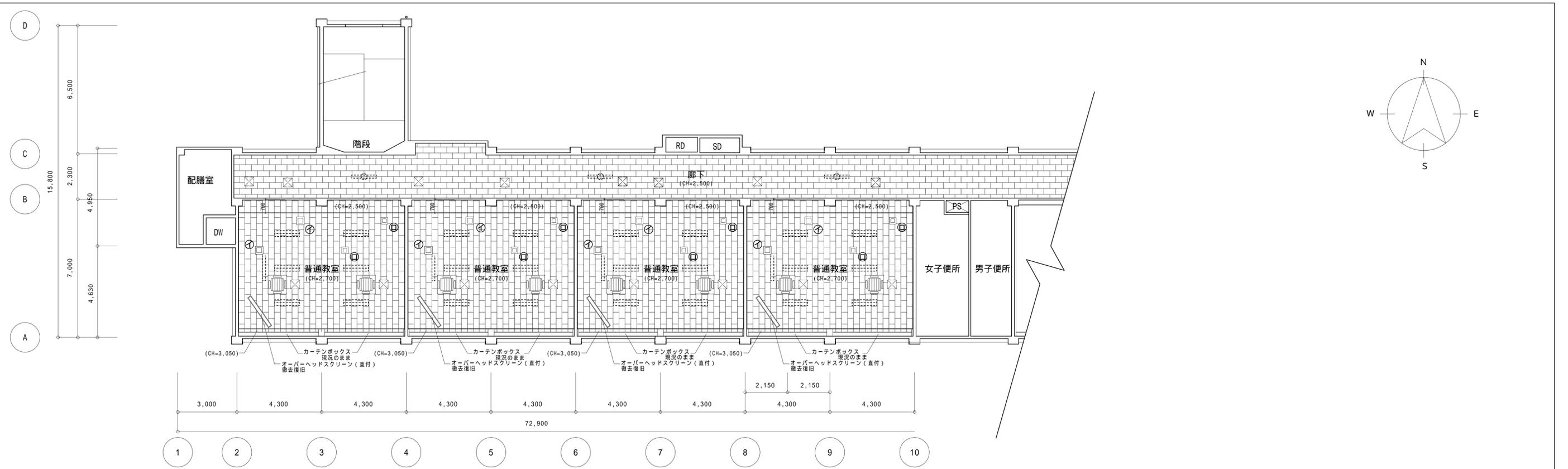
DATE

SCALE

S=1/100

DRAWING NO.

A-13



改修後2階天井伏図 S=1/100

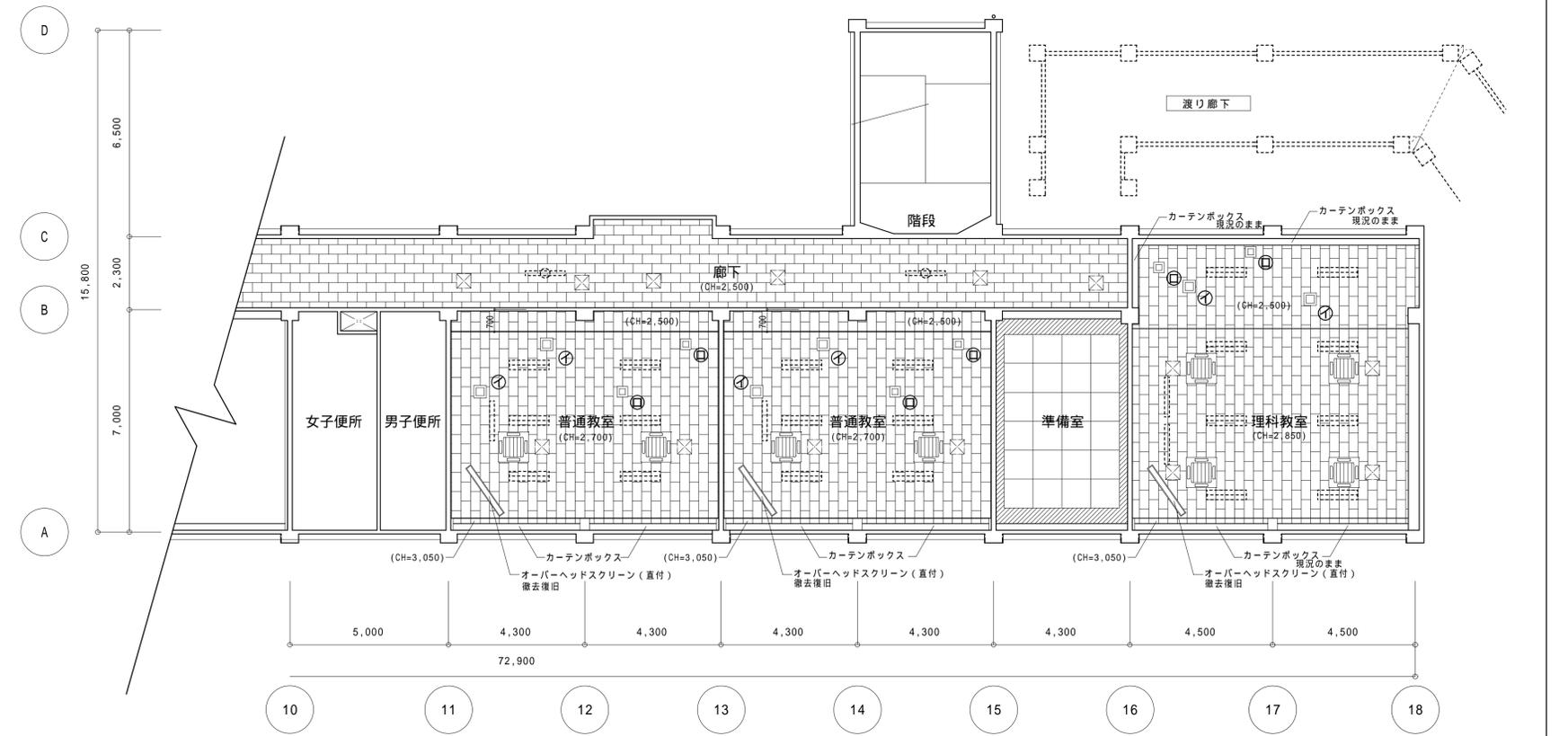
天井開口寸法

ロックウール化粧吸音板 7) 9mm	
捨て貼り吸音石膏ボード 7) 9.5mm	
化粧石膏ボード 7) 9.5mm	
吸音用あなき石膏ボード 7) 9.5mm	1部現況のままとする
(ボ・ダ・石膏ボード 7) 9.5mm目スかし	☒ = 撤去張替部分
吸音テックス貼 7) 9mm	
☒	天井点検口 450角
☐	給排気グリル
□	カーテンボックス
⊗	オーバーヘッドスクリーン

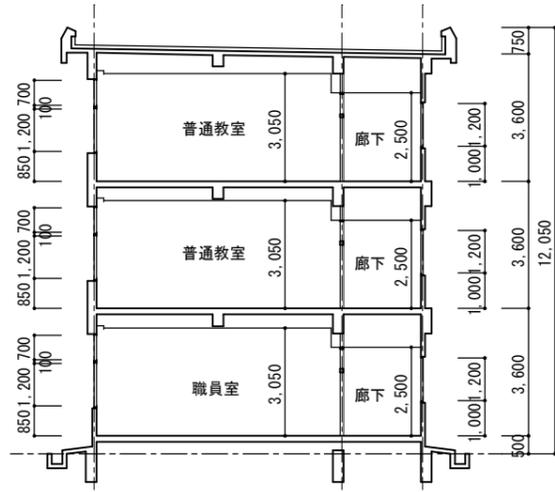
名称	開口寸法 (mm)
天井カセット形エアコン	910 × 910
給排気グリル ①	390 × 390
給排気グリル ②	310 × 310
点検口	450 × 450

特記事項

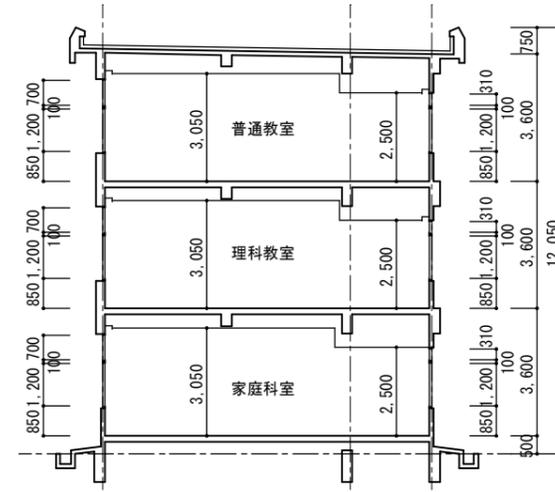
廊下部分工事は学校の授業の無い日に工事する事。  
 工事期間中、生徒、職員に安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。  
 仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定する事。  
 廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。  
 改修後天井高さは、標準高さH=2,700とする、それ以外の部屋は、CH寸法の記入高さとする。  
 廊下部分、天井高さは現況のままとする。



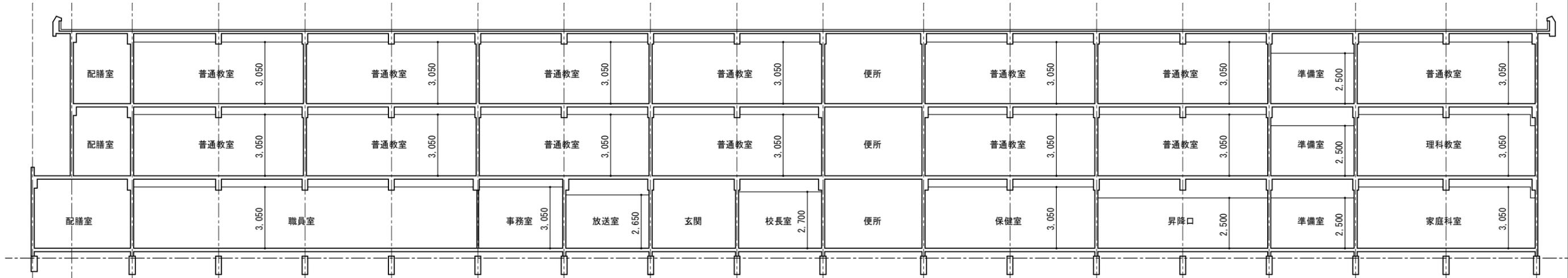




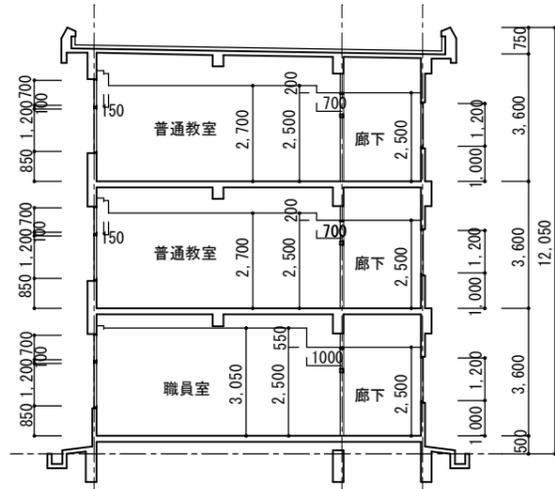
改修前5通り断面図 S=1/100



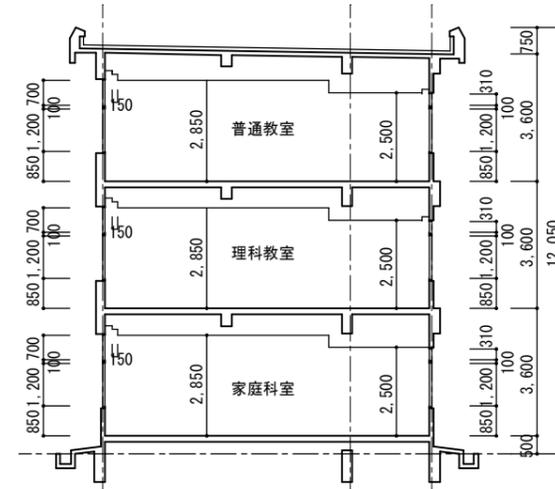
改修前17通り断面図 S=1/100



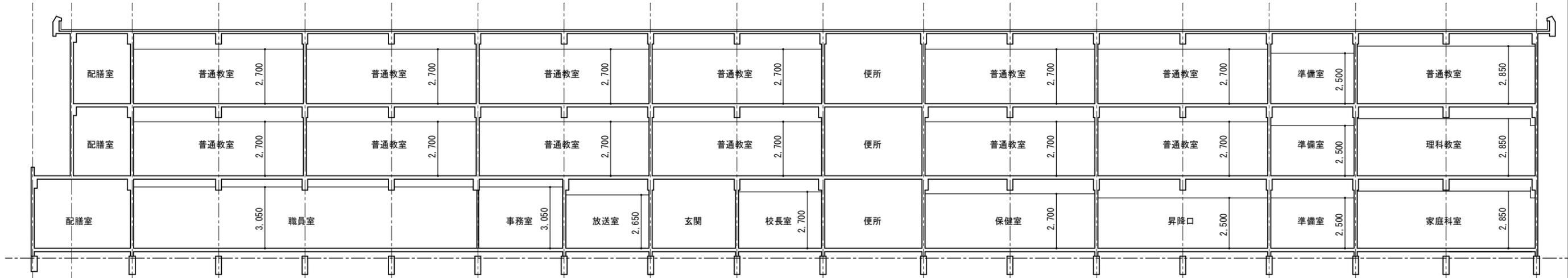
改修前A~B通り断面図 S=1/100



改修後5通り断面図 S=1/100

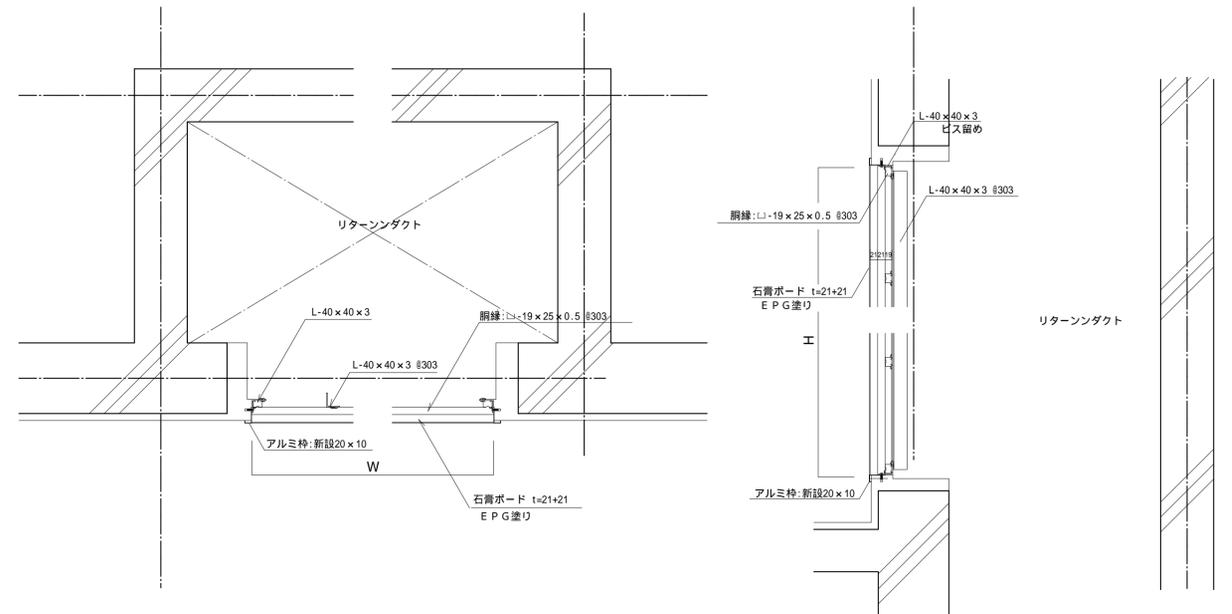
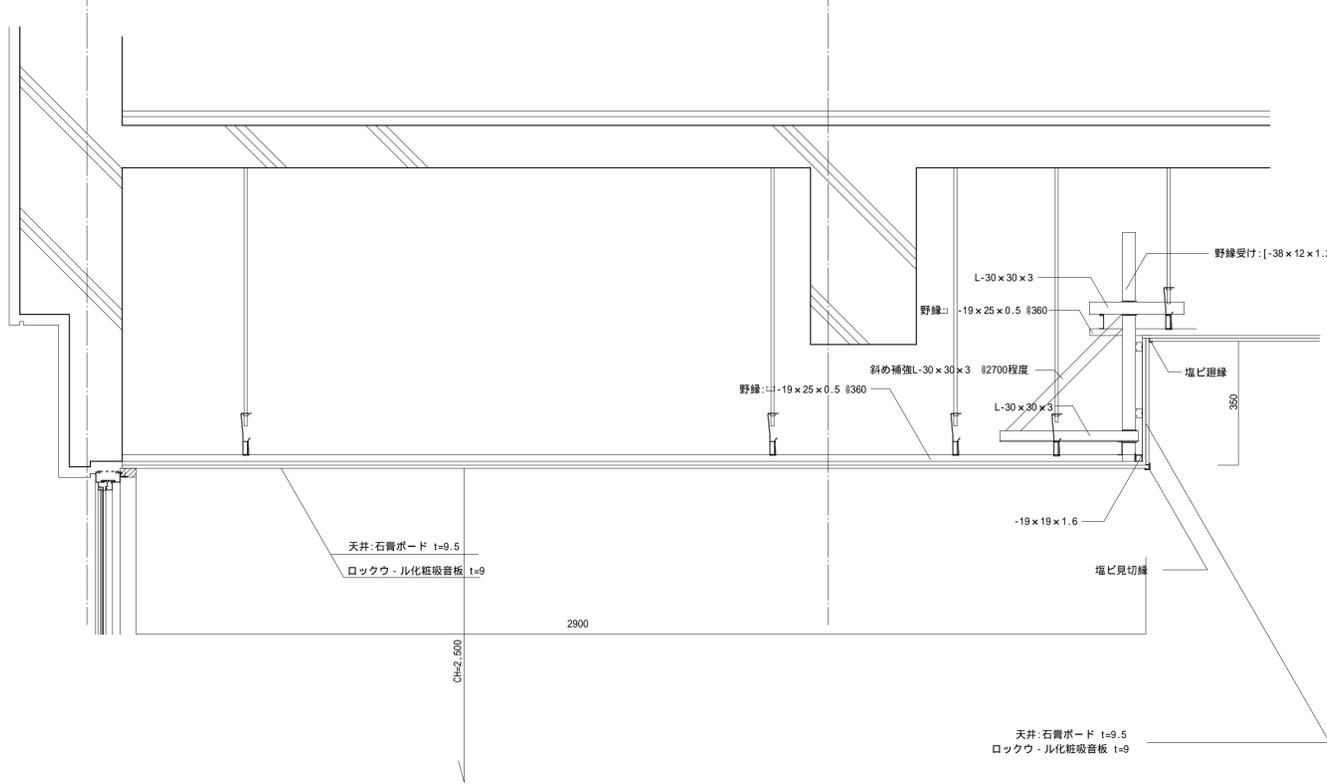
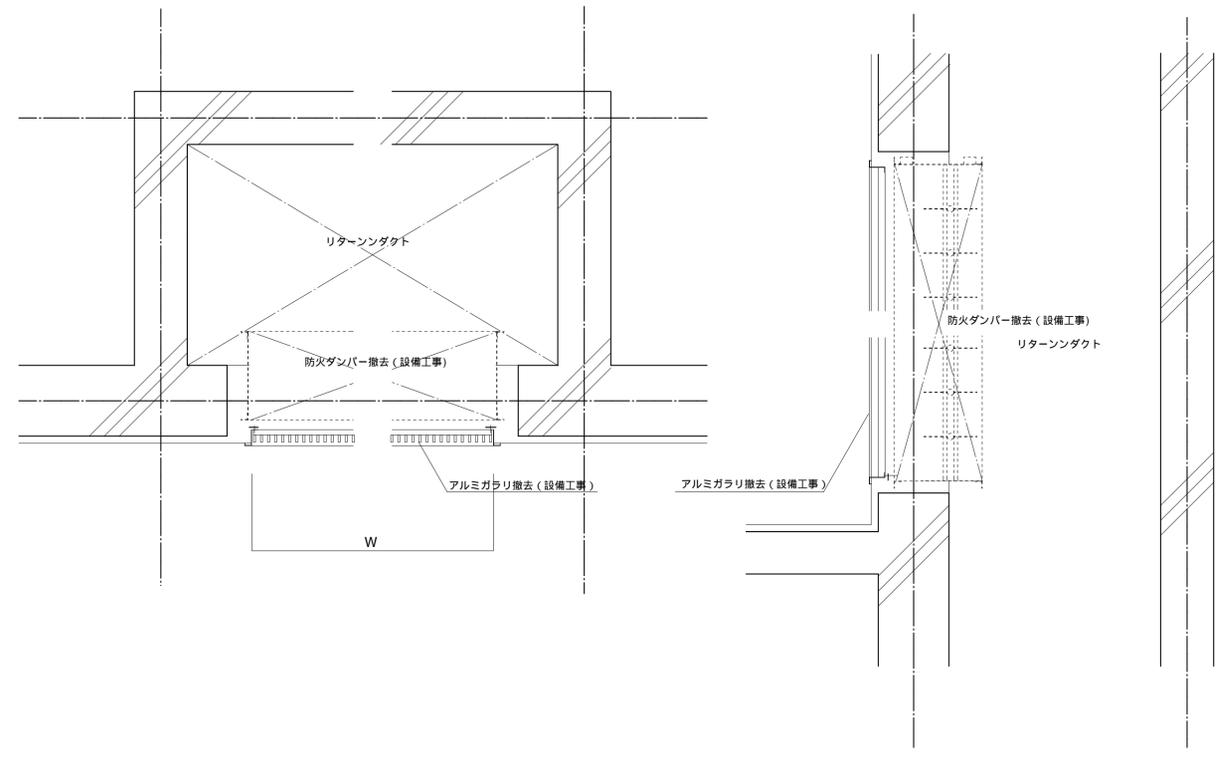
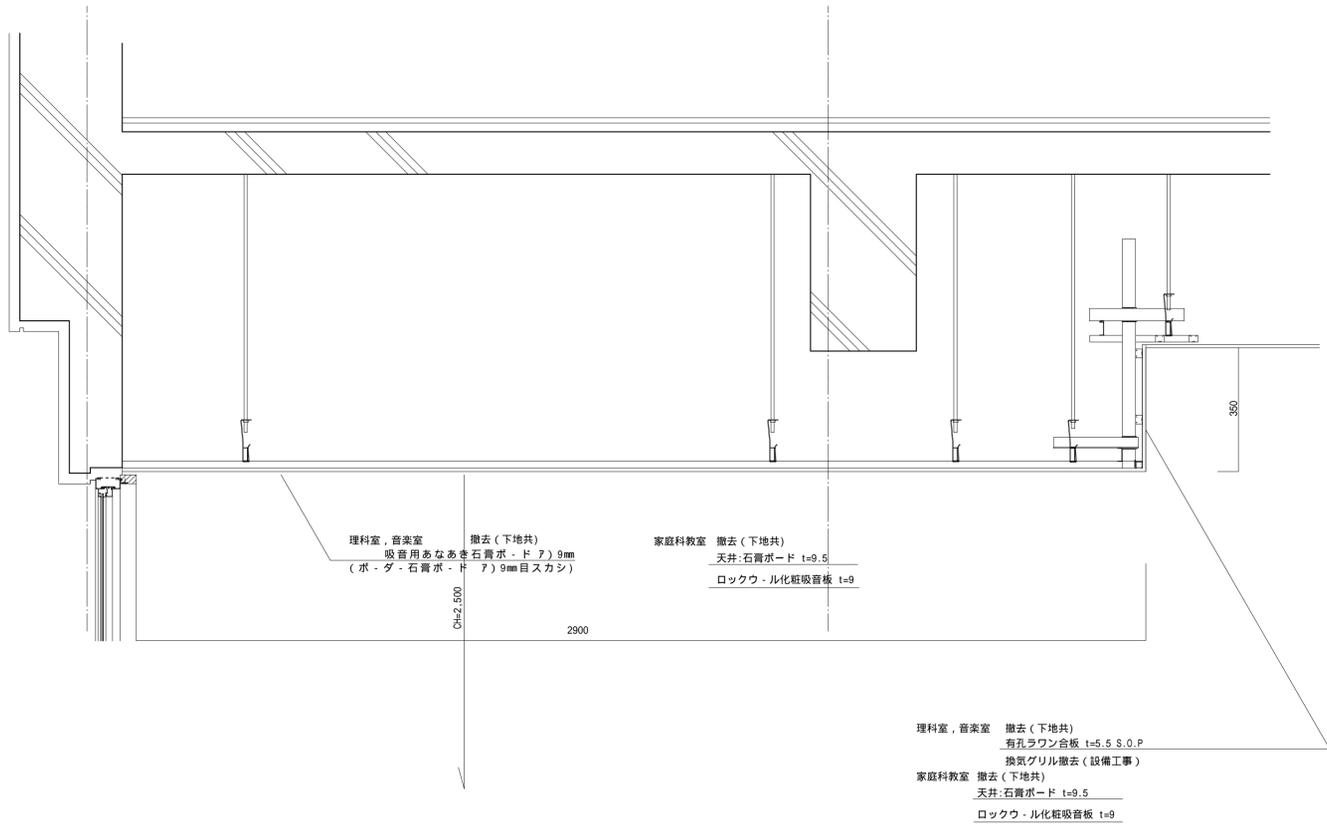


改修後17通り断面図 S=1/100

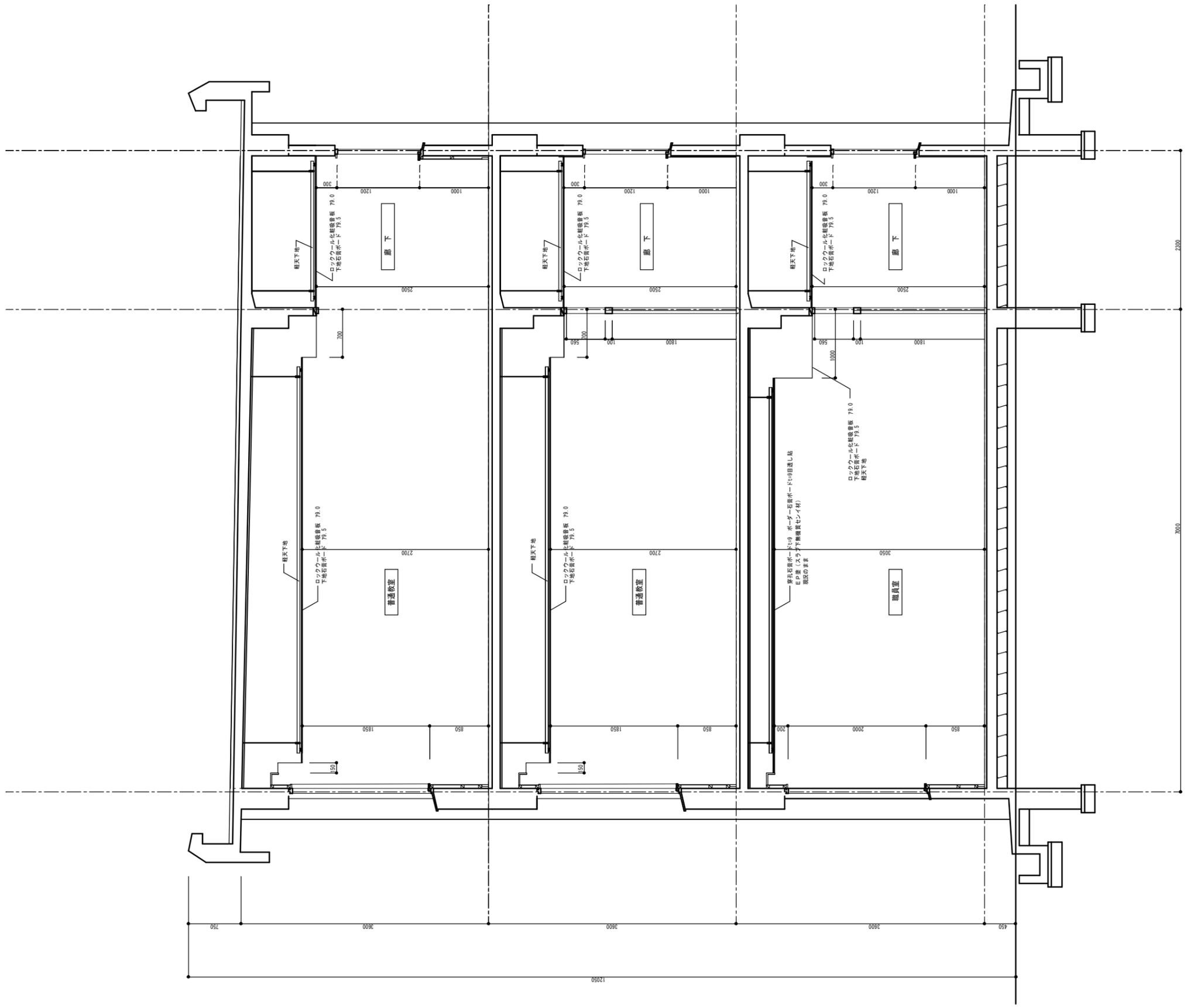


改修後A~B通り断面図 S=1/100

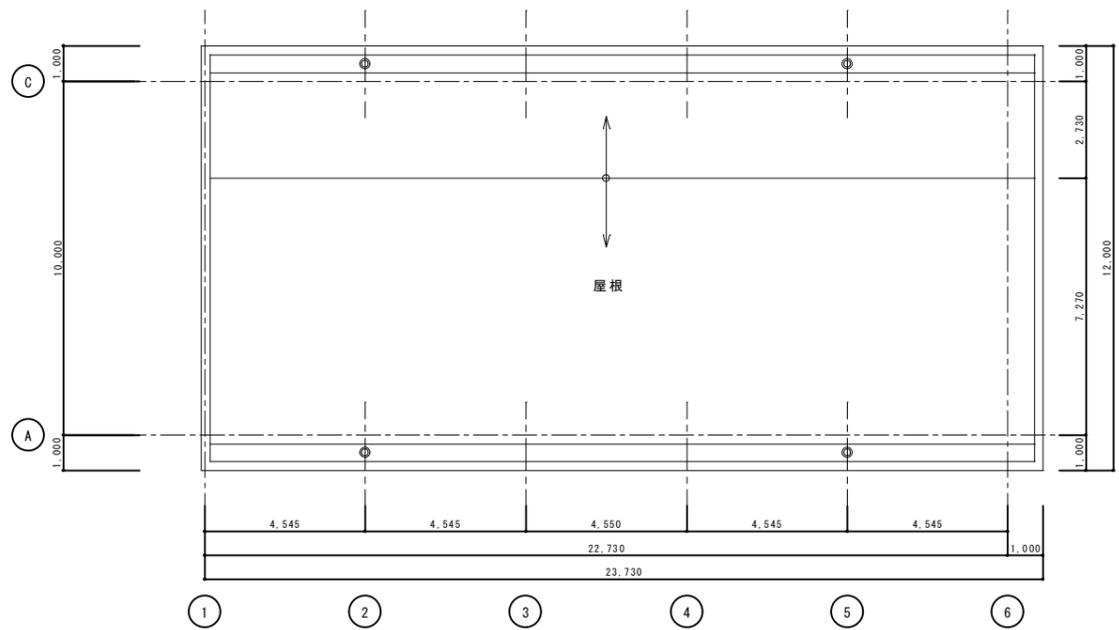
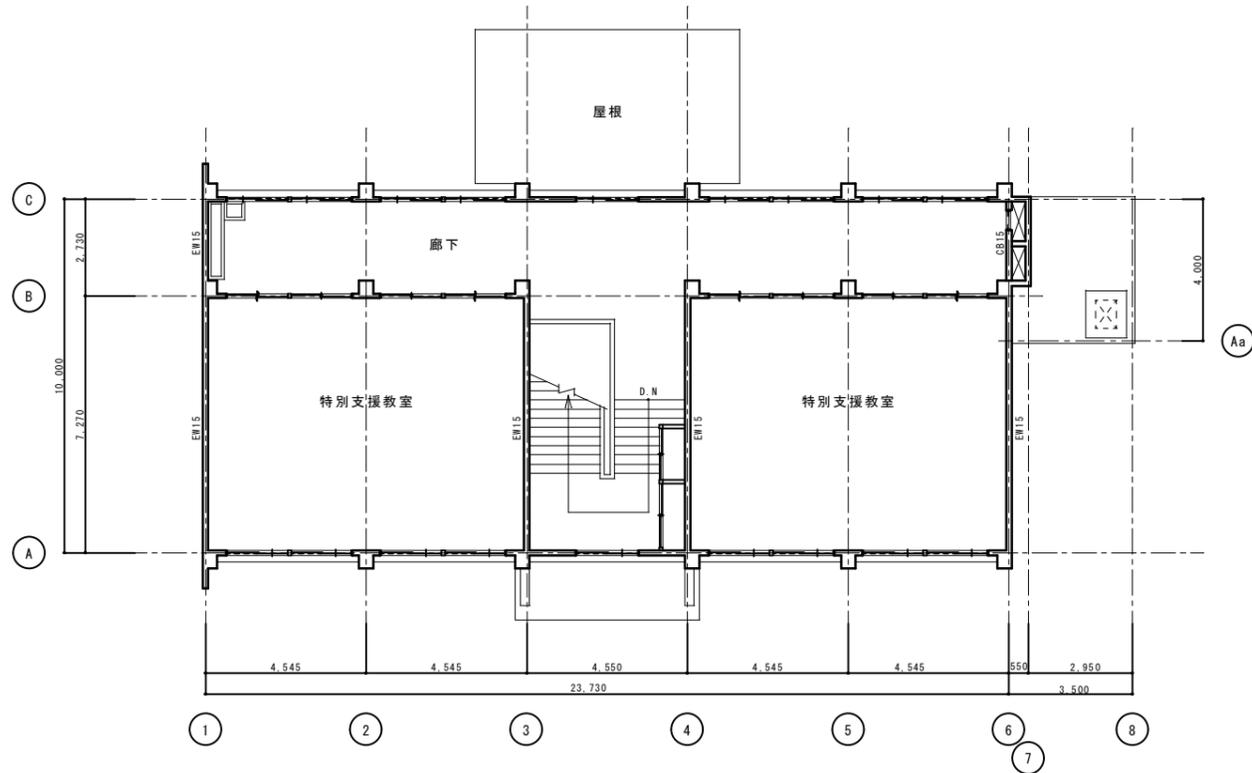
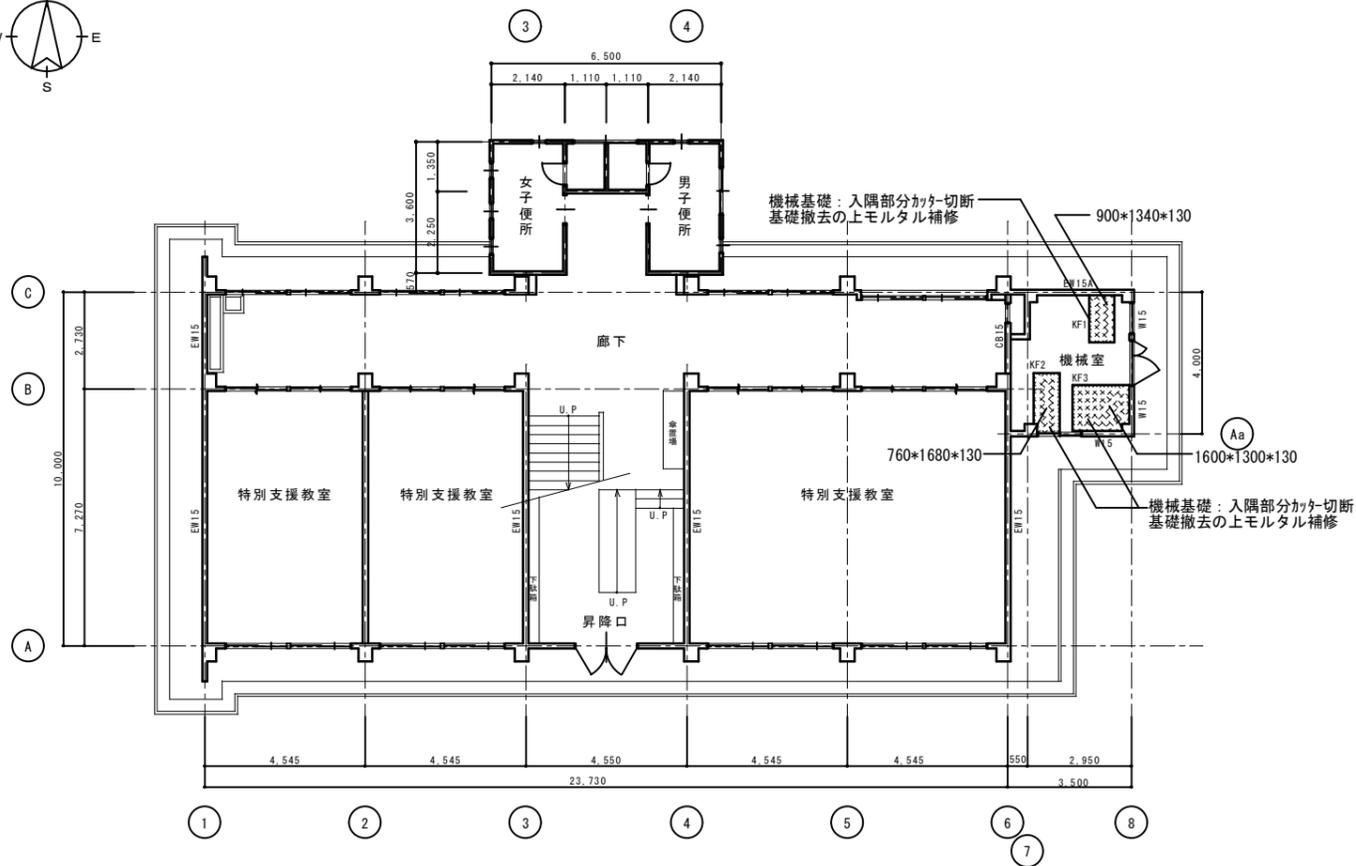
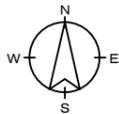




管理棟矩計図



OKAWO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号	一級建築士 第114155号 磯 健 真 治 TEL 0930-23-0412	DRAWN BY	工事名称 小学校空室調整工事	DATE	DRAWING NO. 
		CHECKED BY	工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号	SCALE	
		図面名称 管理棟校舎 改修後 矩計図			



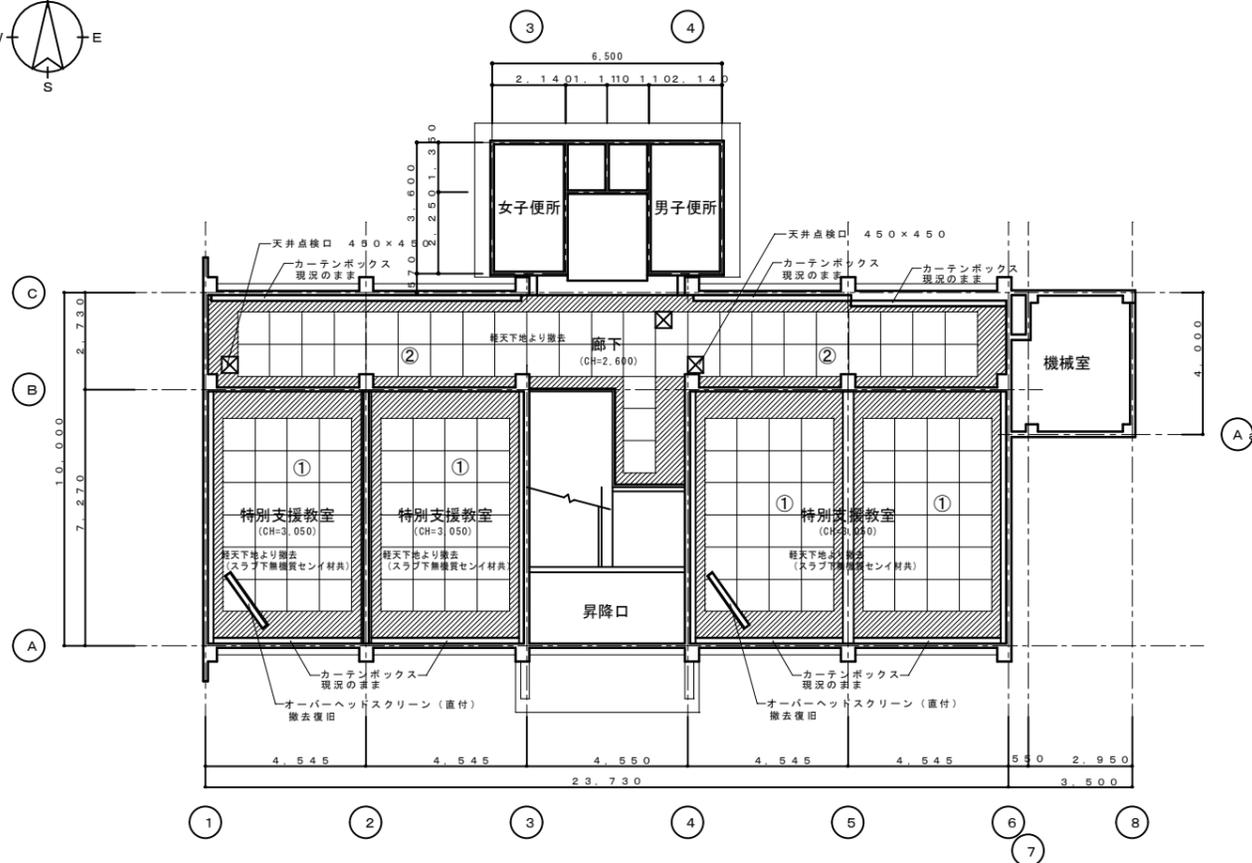
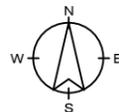
符号	W×D×H
KF1	900 × 1,340 × 130
KF2	760 × 1,680 × 130
KF3	1,600 × 1,300 × 130

施工内容  
 コンクリート機械基礎撤去(周囲カッター入れ)  
 撤去部分モルタル金ごて押え新設

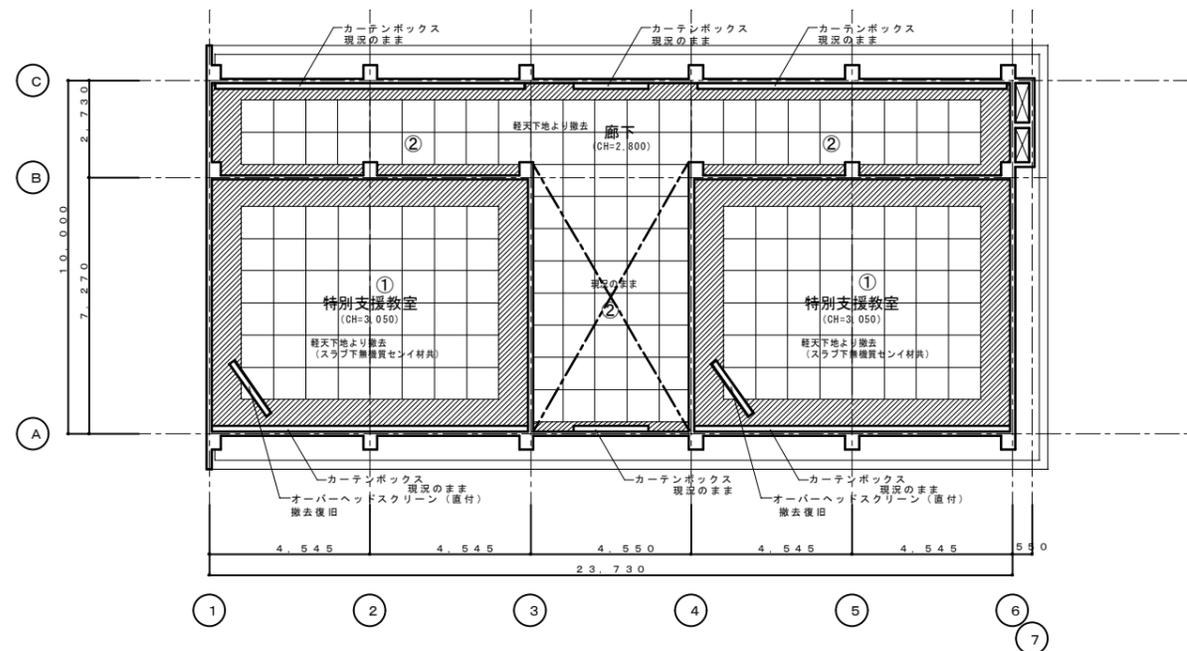
室名	空調対象面積
[1階]	
普通教室(2室)	9.09 × 7.27 × 2 = 132.17
[2階]	
普通教室(2室)	9.09 × 7.27 × 2 = 132.17
[1階]	
機械室	2.95 × 4.0 + 0.55 × 2.775 = 13.33
DS	0.55 × 1.225 = 0.67
便所	6.5 × 3.6 = 23.40
廊下・昇降口	22.73 × 2.73 + 4.55 × 0.57 + 4.55 × 7.27 = 97.72
[2階]	
DS	0.55 × 2.45 = 1.35
廊下・階段	22.73 × 2.73 + 4.55 × 7.27 = 95.13
施設面積計	495.94
空調面積計	264.34

**特記事項**

- ※ 工事期間中、生徒・職員の安全に務め、廊下等の避難経路を確保する事。
- ※ 仮設物・仮囲い等の設置場所については、施設関係者及び監督員と協議して決定する事。
- ※ 廊下等通路になる部分の工事は、学校の授業の無い日に工事する事。
- ※ 廊下等通路になる部分の天井及び壁等を撤去後は、危険防止措置をし安全を充分確保する事。
- ※ 工事対象室の床・壁等は、養生・整理清掃を行う事。(天井撤去時の埃等は、散らばらない様に注意して作業する事。)
- ※ 工事対象室までの工事前搬入通路になる、工事対象外の階段等は、幅1m程度、養生・整理清掃を行う事。
- ※ 改修工事のため、各部を施工・制作前に調査・実測のうえ、施工・制作を行う事。

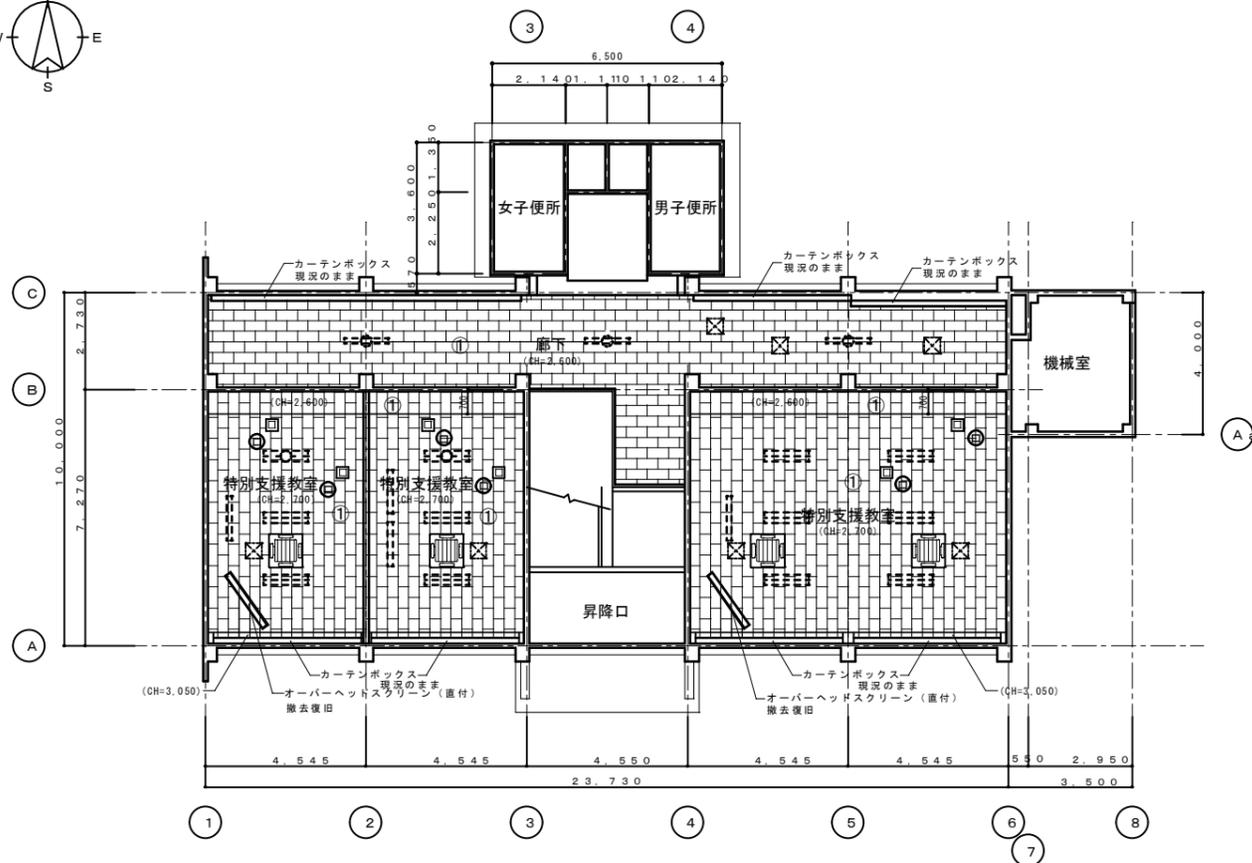
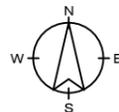


改修前1階天井伏図 S=1/100

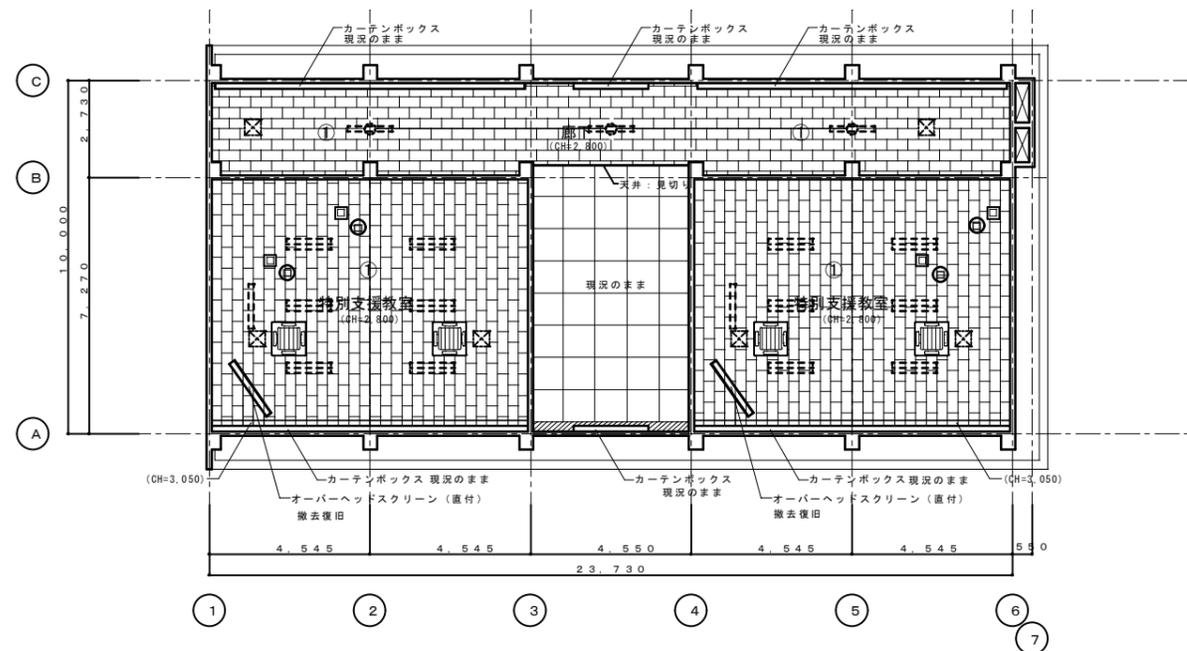


改修前2階天井伏図 S=1/100

①	特別支援教室	②	特別支援教室
③	特別支援教室	④	特別支援教室
⑤	特別支援教室	⑥	特別支援教室
⑦	特別支援教室	⑧	特別支援教室
⑨	特別支援教室	⑩	特別支援教室
⑪	特別支援教室	⑫	特別支援教室
⑬	特別支援教室	⑭	特別支援教室
⑮	特別支援教室	⑯	特別支援教室
⑰	特別支援教室	⑱	特別支援教室
⑲	特別支援教室	⑳	特別支援教室
㉑	特別支援教室	㉒	特別支援教室
㉓	特別支援教室	㉔	特別支援教室
㉕	特別支援教室	㉖	特別支援教室
㉗	特別支援教室	㉘	特別支援教室
㉙	特別支援教室	㉚	特別支援教室
㉛	特別支援教室	㉜	特別支援教室
㉝	特別支援教室	㉞	特別支援教室
㉟	特別支援教室	㊱	特別支援教室
㊲	特別支援教室	㊳	特別支援教室
㊴	特別支援教室	㊵	特別支援教室
㊶	特別支援教室	㊷	特別支援教室
㊸	特別支援教室	㊹	特別支援教室
㊺	特別支援教室	㊻	特別支援教室
㊼	特別支援教室	㊽	特別支援教室
㊾	特別支援教室	㊿	特別支援教室



改修後1階天井伏図 S=1/100



改修後2階天井伏図 S=1/100

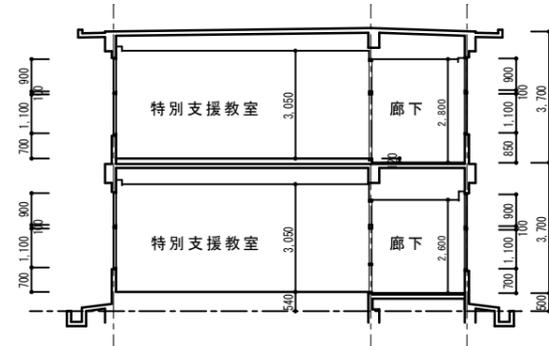
天井開口寸法

名称	開口寸法 (mm)
天井カセット形エアコン	910×910
給排気グリル ①	390×390
給排気グリル ②	310×310
点検口	450×450

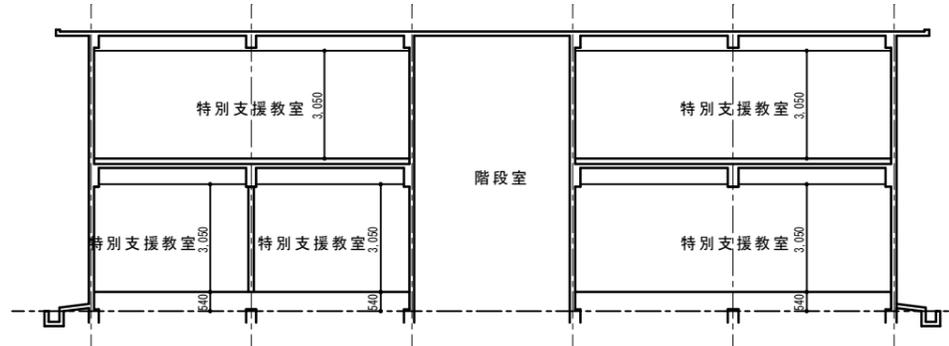
①	ロックウール化粧石膏板 7) 9mm 捨て貼り吸音石膏ボード 7) 9.5mm	
②	化粧石膏ボード 7) 9.5mm	
③	吸音用あかあき石膏ボード 7) 9.5mm ※ 1階現況のままで上する (ボーター石膏ボード 7) 9.5mm目スカシ) <b>撤去</b> = 撤去箇所	FP
④	吸音テックス板 7) 9mm	FP
☒	天井点検口 450φ	
■	給排気グリル	
□	カーテンボックス	
⊗	オーバーヘッドスクリーン	

特記事項

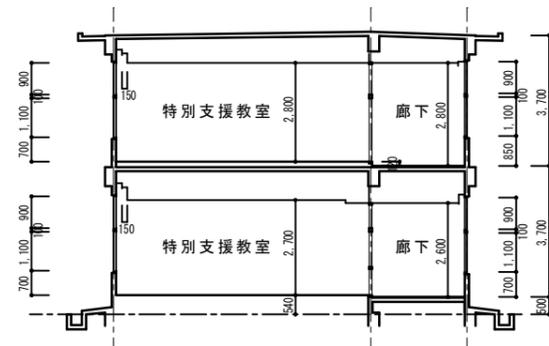
※廊下部分工事は学校の授業の無い日に工事する事。  
 ※工事期間中、生徒、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。  
 ※仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定する事。  
 ※廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。  
 ※改修後天井高さは、標準高さH=2,700とする、それ以外の部屋は、CH寸法の記入高さとする。  
 ※廊下部分、天井高さは現況のままとする。



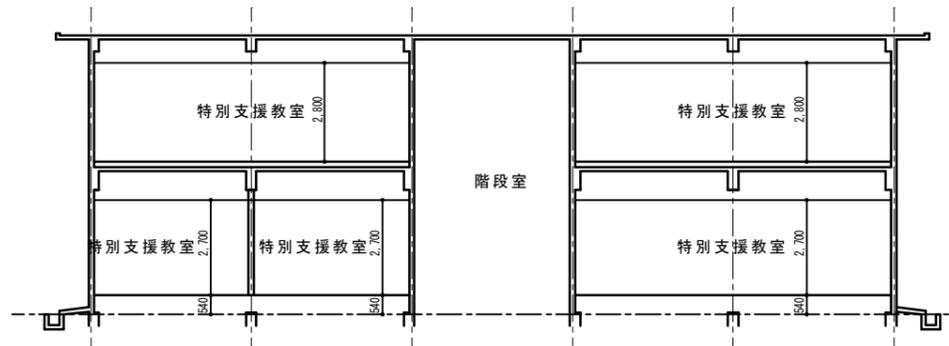
改修前2通り断面図 S=1/100



改修前A~B通り断面図 S=1/100



改修後2通り断面図 S=1/100



改修後A~B通り断面図 S=1/100

OKANO ARCHITECTS OFFICE

一級建築士事務所

有限 岡野設計事務所

福岡県行橋市北泉五丁目12番6号

一級建築士 第114155号

磯 野 真 治

TEL 0930-23-0412

DRAWN BY

CHECKED BY

工事名称 泉小学校空調整備工事

工事場所 福岡県行橋市中央4丁目1番1号

図面名称 北棟校舎 改修前後 断面図

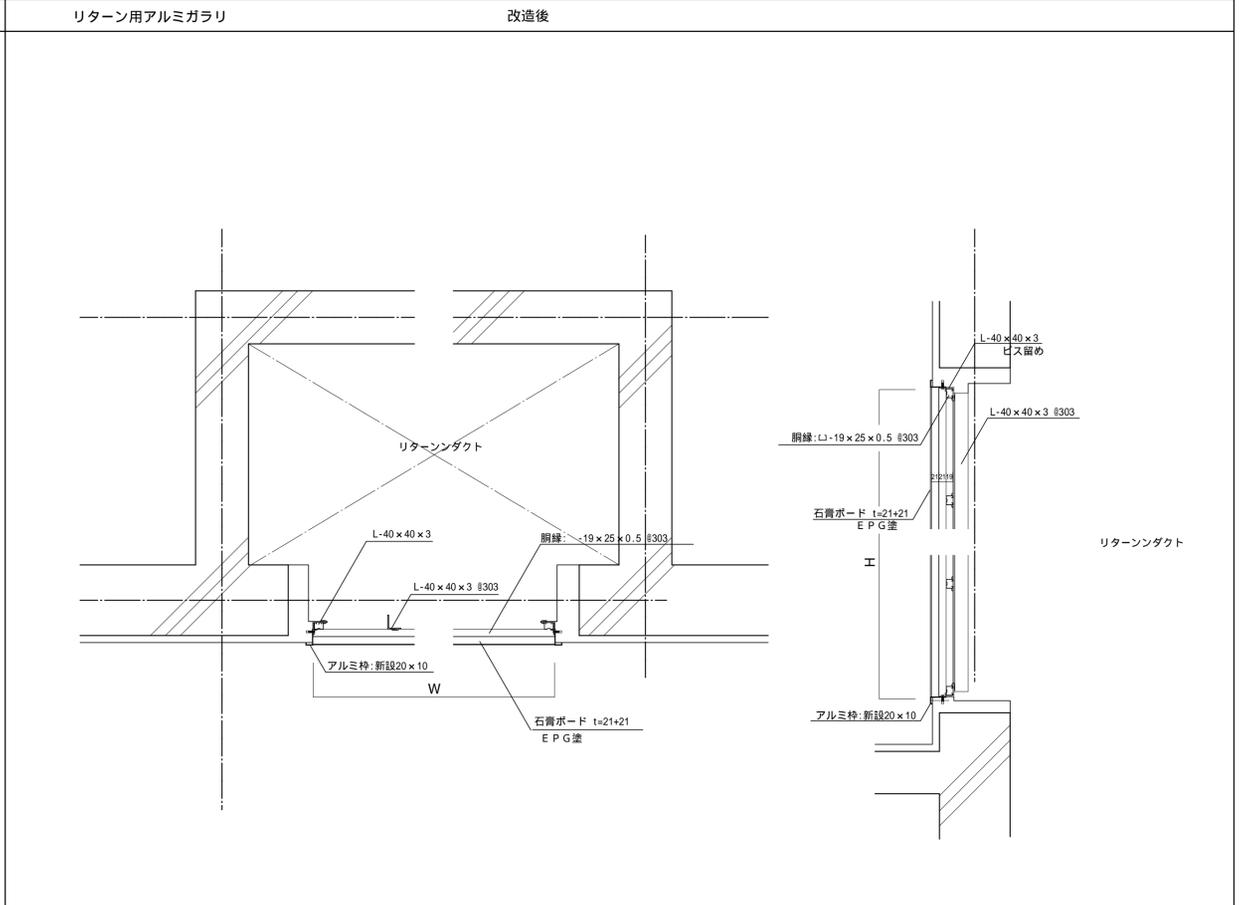
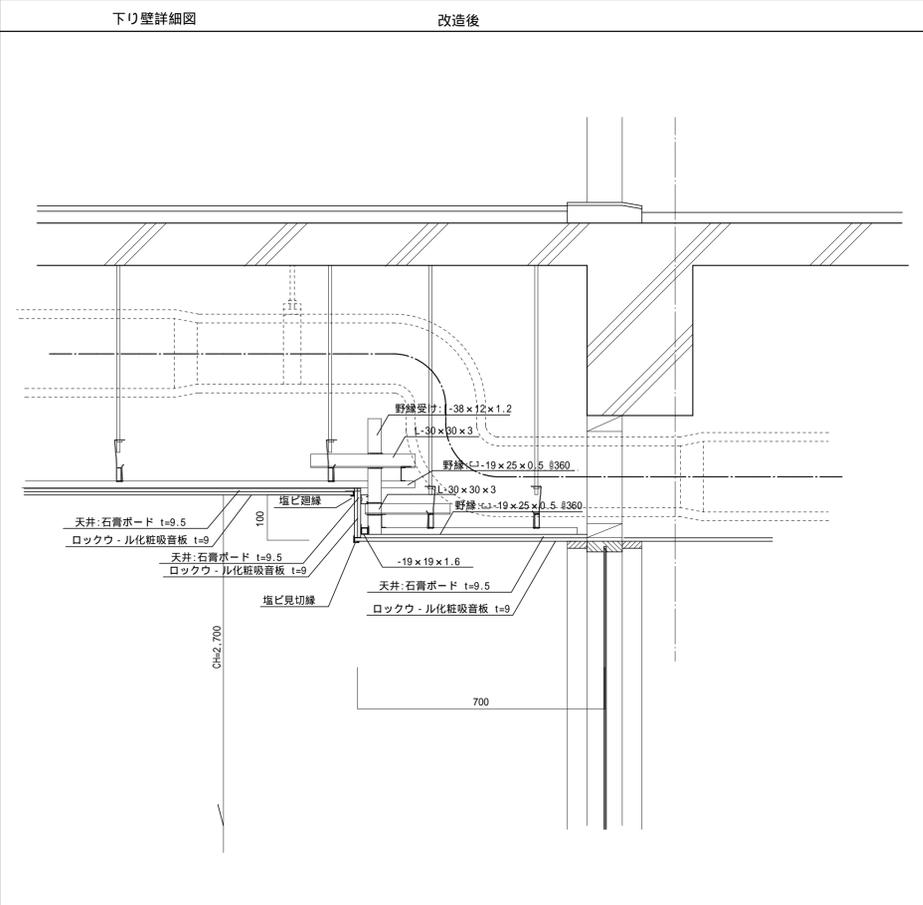
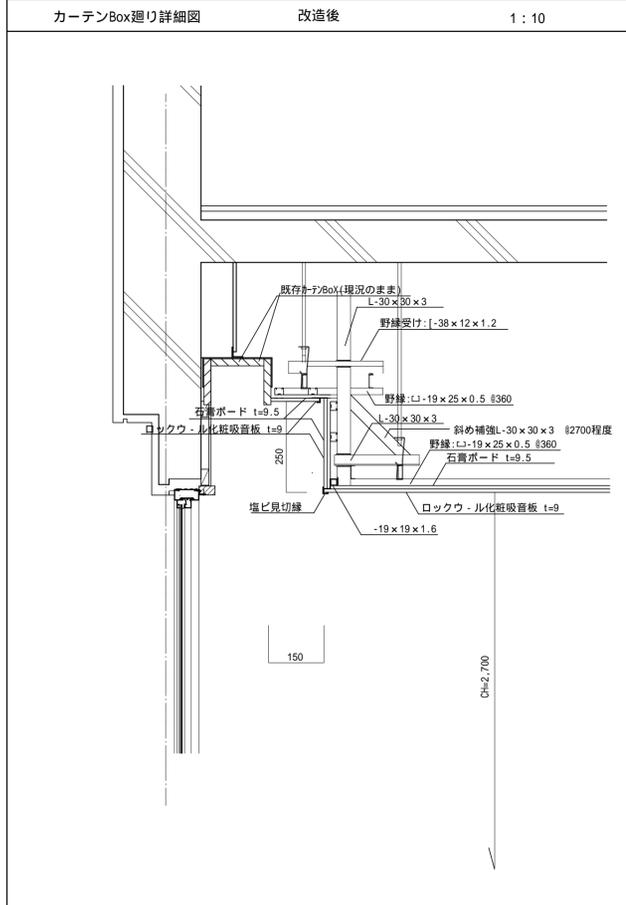
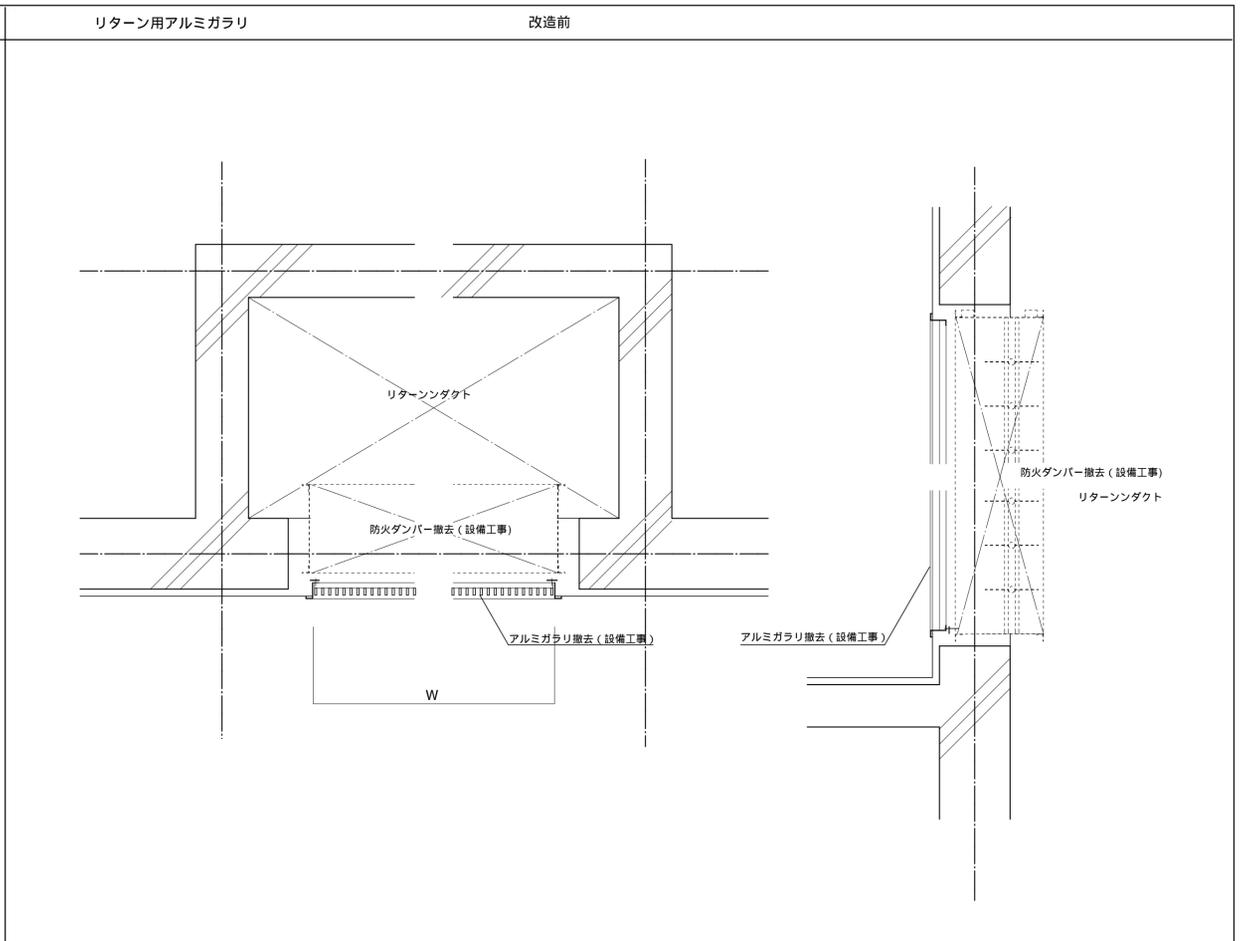
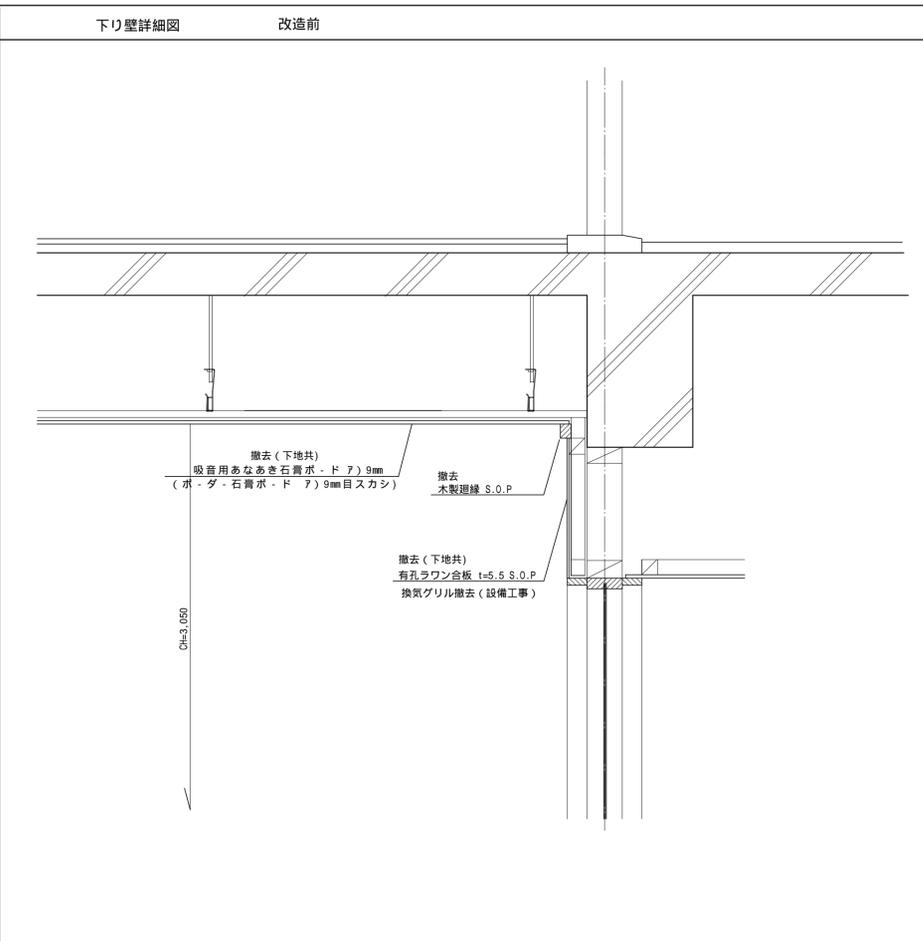
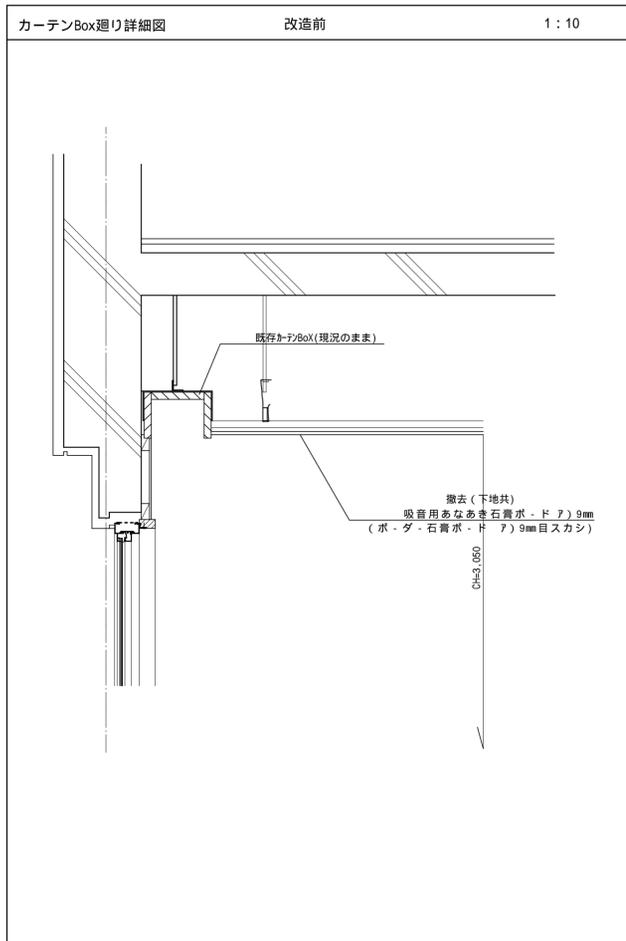
DATE

SCALE

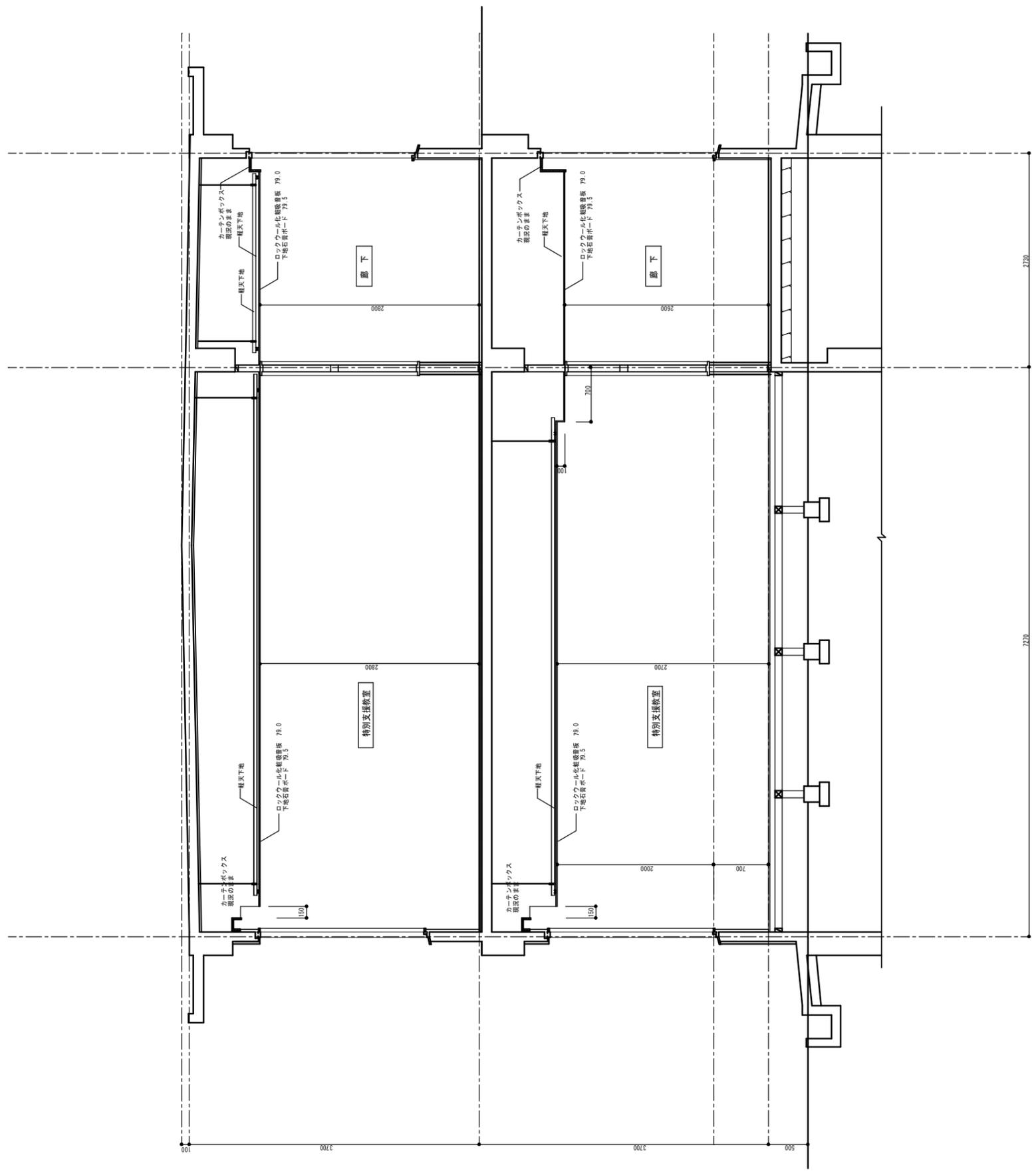
S=1/100

DRAWING NO.

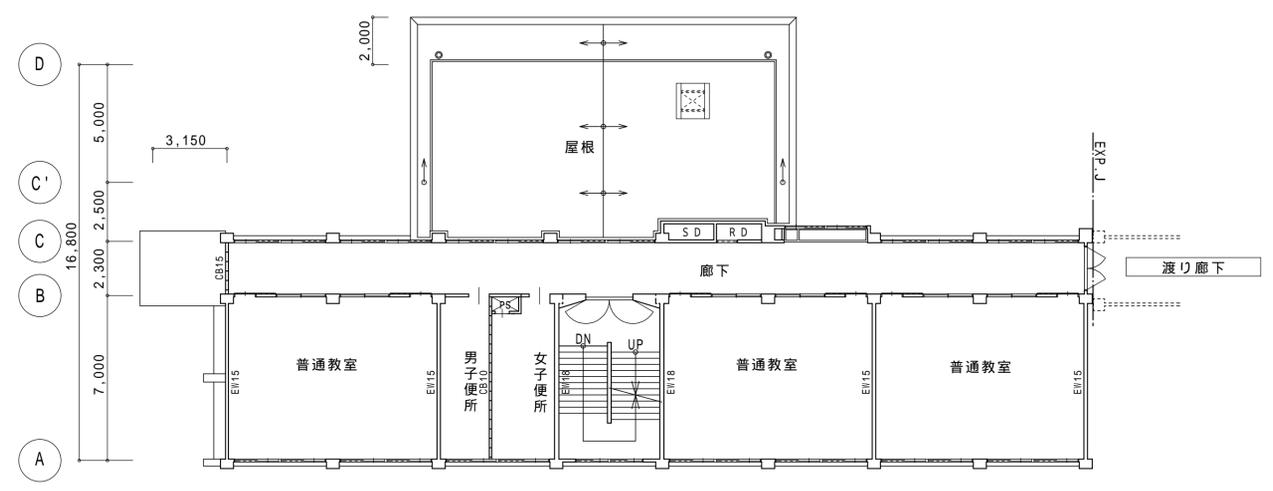
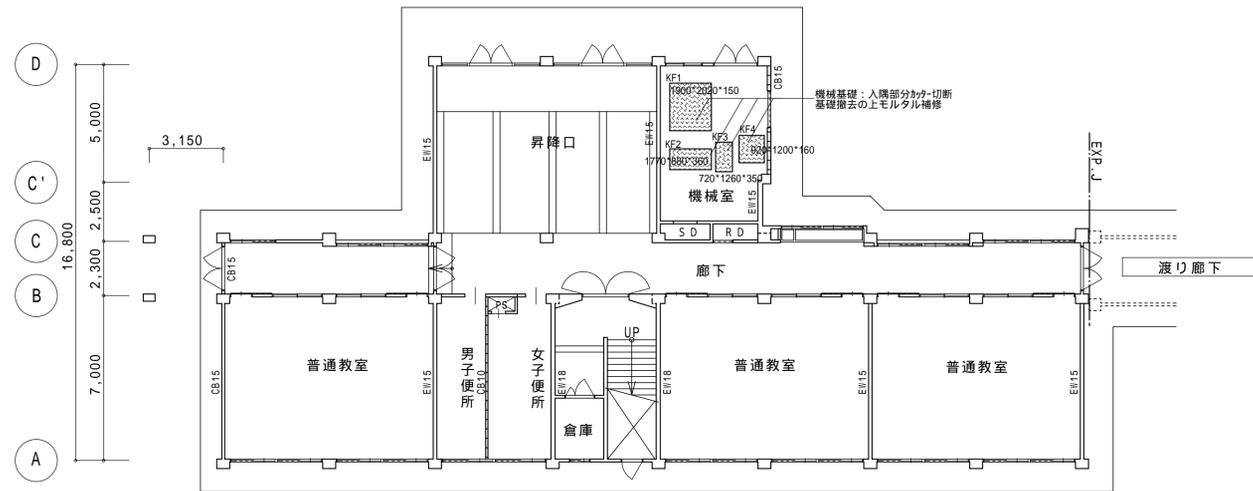
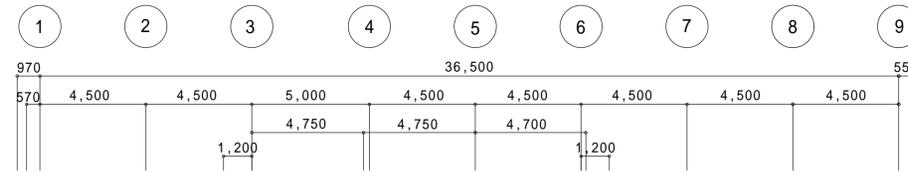
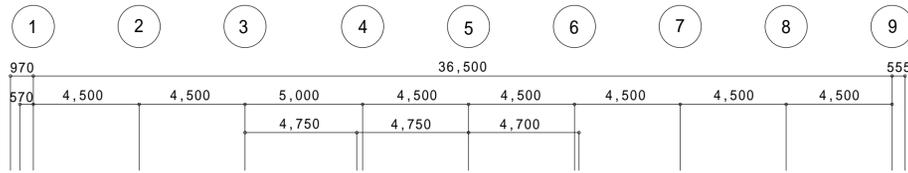
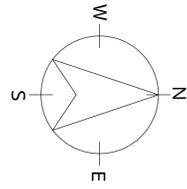
A-24



北棟矩計図



一般建築士事務所 <b>岡野設計事務所</b> 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号 TEL 0930-23-0412	一般建築士 第114155号 眞経 真治	DRAWN BY 〃	工事名称 〃 小学校空調整備工事	DATE 〃	DRAWING NO. A-20
		CHECKED BY 〃	工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号	SCALE 〃	図面名称 北棟校舎 改修後 矩計図



東棟校舎		
室名	空調対象面積	
[1階]		
普通教室(3室)	9.0 × 7.0 × 3 = 189.00	189.00
[2階]		
普通教室(3室)	9.0 × 7.0 × 3 = 189.00	189.00
[3階]		
普通教室(3室)	9.0 × 7.0 × 3 = 189.00	189.00
[1階]		
機械室	4.7 × 5.0 + 4.5 × 1.7 = 31.15	31.15
D S	4.5 × 0.8 = 3.60	3.60
便所	5.0 × 7.0 = 35.00	35.00
倉庫	2.25 × 2.7 = 6.08	6.08
階段・廊下・昇降口	9.5 × 7.5 + 36.5 × 2.3 + 4.5 × 0.6 + 4.5 × 4.3 + 2.25 × 2.7 = 183.33	183.33
[2階]		
D S	4.5 × 0.8 = 3.60	3.60
便所	5.0 × 7.0 = 35.00	35.00
階段・廊下・昇降口	36.5 × 2.3 + 4.5 × 0.6 + 4.5 × 7.0 = 118.15	118.15
[3階]		
D S	4.5 × 0.8 = 3.60	3.60
便所	5.0 × 7.0 = 35.00	35.00
階段・廊下・昇降口	36.5 × 2.3 + 4.5 × 0.6 + 4.5 × 7.0 = 118.15	118.15
施設面積計		1,139.66
空調面積計		567.00

1階平面図 S=1/150

機械室基礎撤去リスト	
符号	Ⅱ×D×H
KF1	1,900 × 2,020 × 150
KF2	1,770 × 880 × 360
KF3	720 × 1,260 × 350
KF4	920 × 1,200 × 160
施工内容	コンクリート機械基礎撤去(周囲カッター入れ) 撤去部分モルタル金ごて押入新設

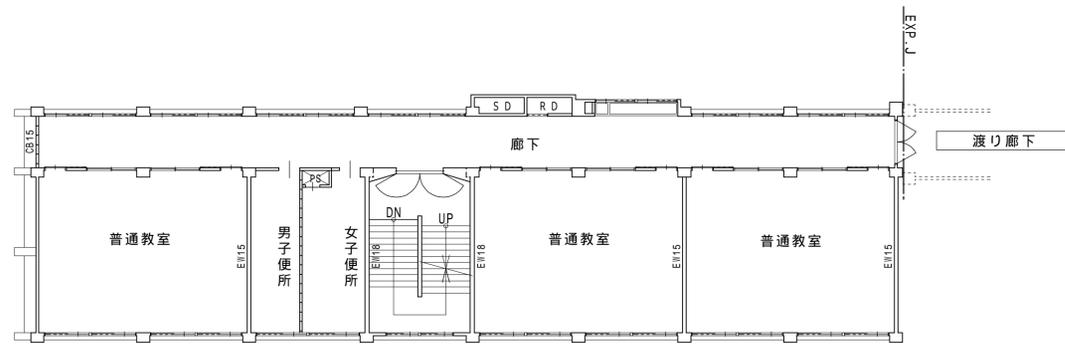
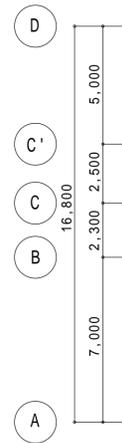
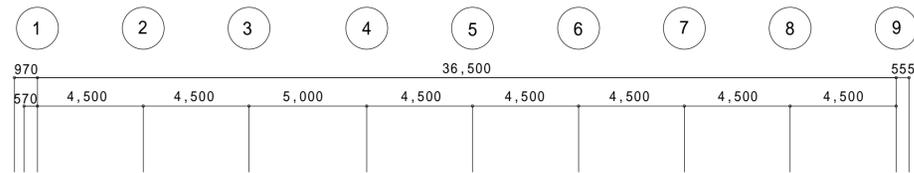
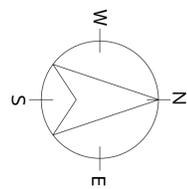
2階平面図 S=1/150

**特記事項**

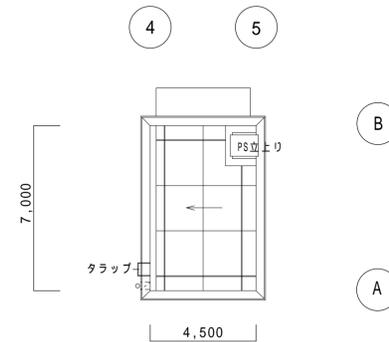
工事期間中、生徒・職員に安全に務め、廊下等の避難経路を確保する事。  
 仮設物・仮囲い等の設置場所については、施設関係者及び監督員と協議して決定する事。  
 廊下等通路になる部分の工事は、学校の授業の無い日に工事する事。  
 廊下等通路になる部分の天井及び壁等を撤去後は、危険防止措置をし安全を充分確保する事。  
 工事対象室の床・壁等は、養生・整理清掃を行う事。(天井撤去時の埃等は、散らばらない様に注意して作業する事。)  
 工事対象室までの工事用搬入通路になる、工事対象外の階段等は、幅1m程度、養生・整理清掃を行う事。  
 改修工事のため、各部を施工・制作前に調査・実測のうえ、施工・制作を行う事。

OKANO ARCHITECTS OFFICE  
 一級建築士事務所  
 有限会社 岡野設計事務所  
 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号  
 一級建築士 第114155号  
 磯 野 真 治  
 TEL 0930-23-0412

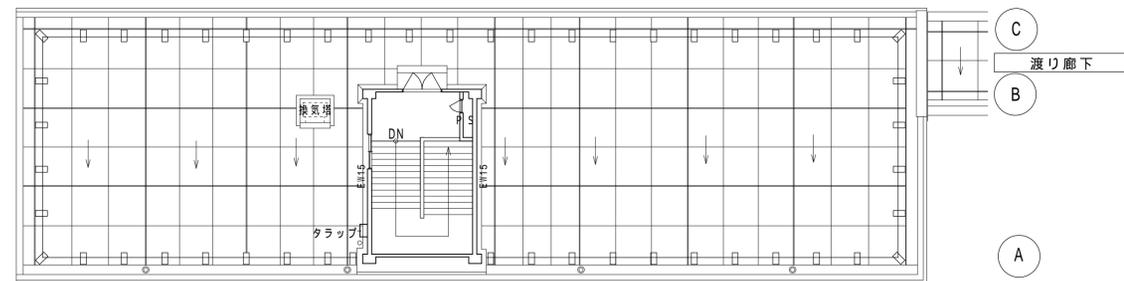
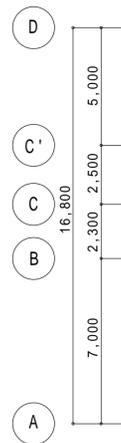
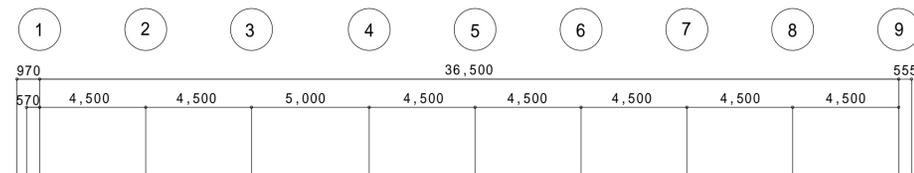
DRAIN BY	工事名称 泉小学校空調整備工事	DATE	DRAWING NO.
CHECKED BY	工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号	SCALE	A-27
	図面名称 東棟校舎 1,2階平面図	S=1:150	



3階平面図 S=1/150



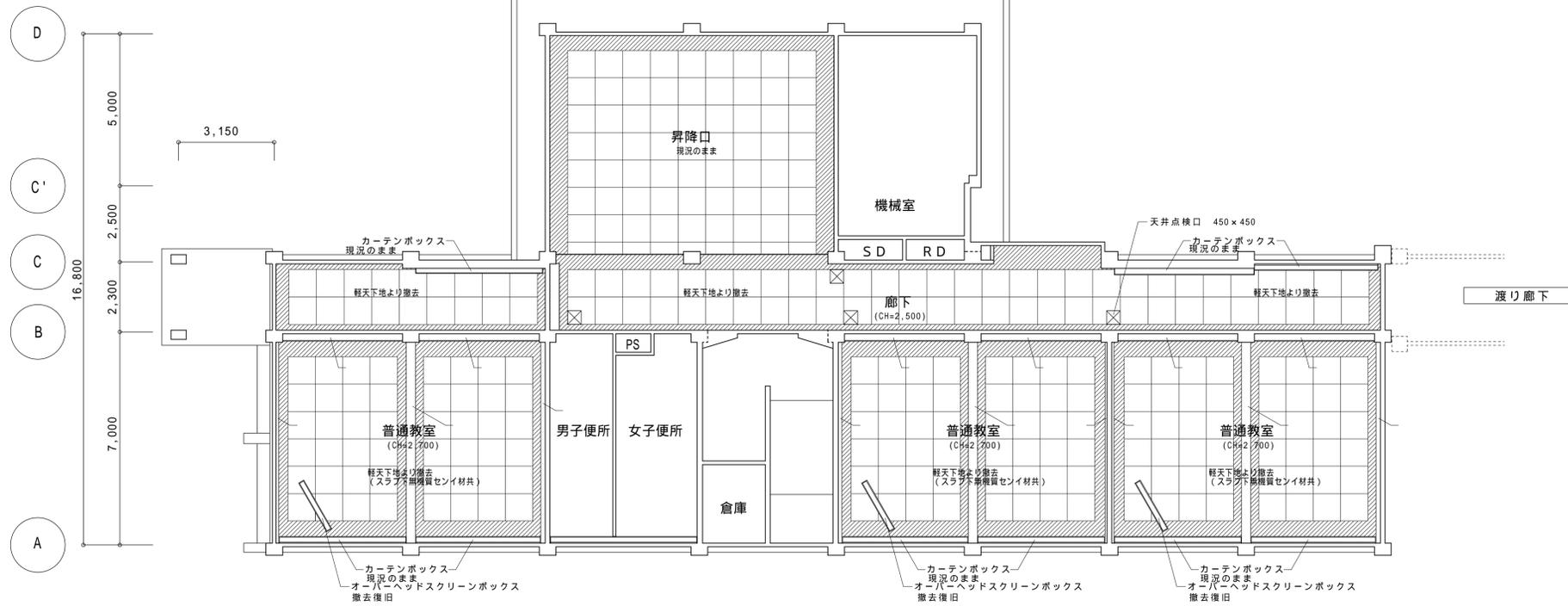
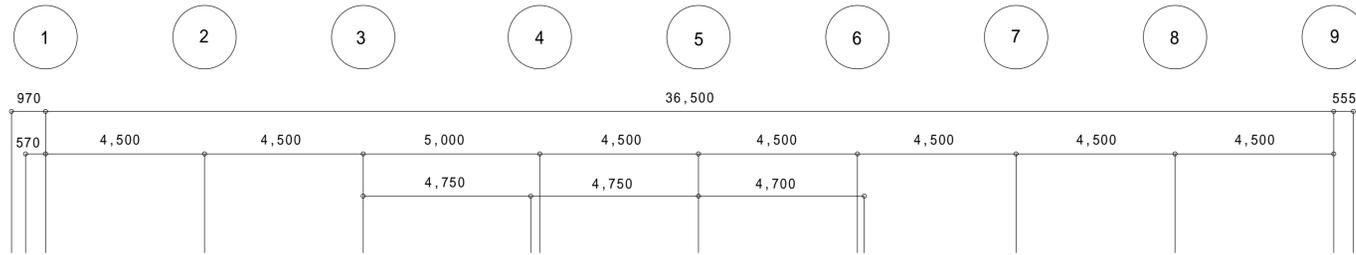
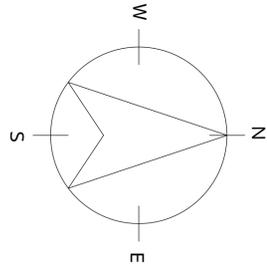
PHR階平面図 S=1/150



R階平面図 S=1/150

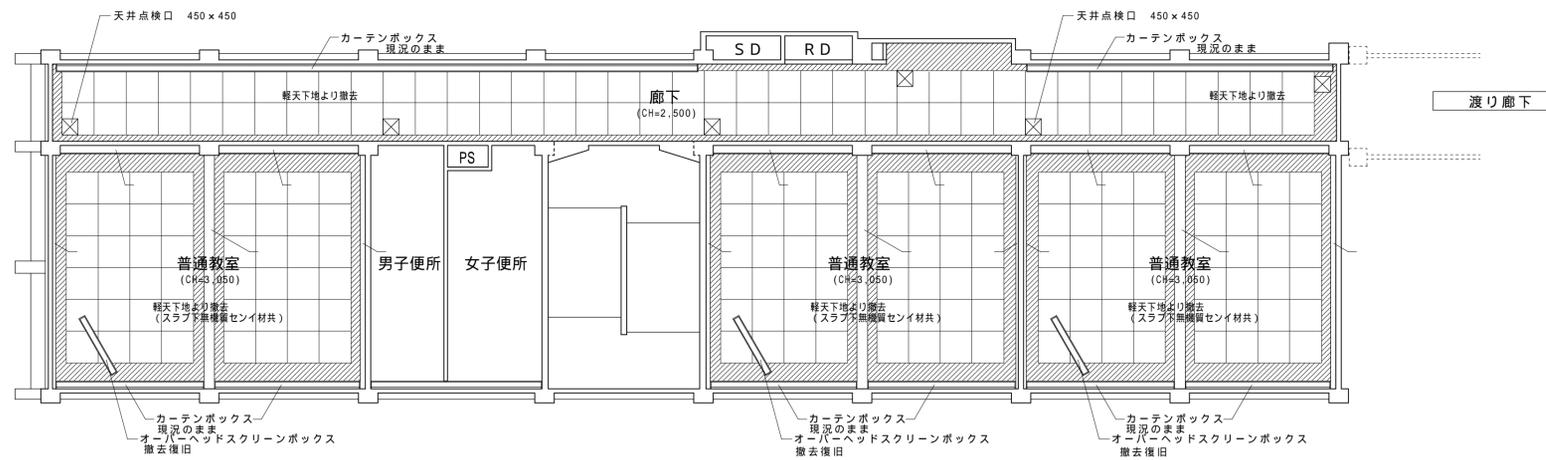
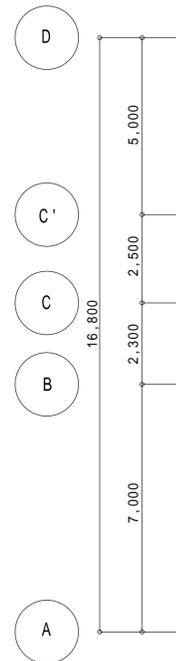
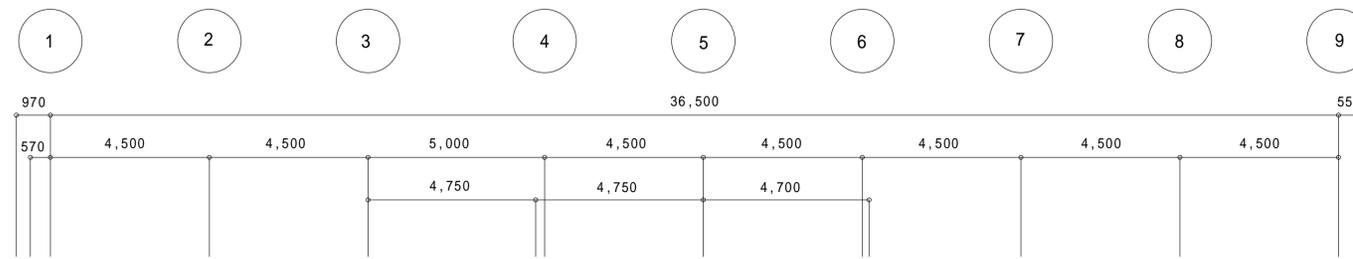
**特記事項**  
 工事期間中、生徒・教員の安全に替り、廊下等の避難経路を確保する事。  
 仮設物・仮囲い等の設置場所については、施設関係者及び監督員と協議して決定する事。  
 廊下等通路になる部分の工事は、学校の授業の無い日に工事する事。  
 廊下等通路になる部分の天井及び壁等を撤去後は、危険防止処置をし安全を充分確保する事。  
 工事対象室の床・壁等は、養生・整理清掃を行う事。(天井撤去時の埃等は、散らばらない様に注意して作業する事。)  
 工事対象室までの工事用搬入通路になる、工事対象外の階段等は、幅1m程度、養生・整理清掃を行う事。  
 改修工事のため、各部を施工・制作前に調査・実測のうえ、施工・制作を行う事。

OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号	一級建築士 第114155号 磯 経 真 治 TEL 0930-23-0412	DRAWN BY 工事名称 泉小学校空調整備工事	DATE 2024.08.15	DRAWING NO. A-28
		CHECKED BY 工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号	SCALE S=1/150	
		図面名称 東棟校舎 3階平面図		



改修前 1階天井伏図 S=1/100

穿孔石膏ボードt=9	ボーダー石膏ボードt=9目透し貼 E P 塗 (スラブ下無機質セシイ材)	plaster 塗
吸音石膏ボードt=9	ボーダー石膏ボードt=9目透し貼 E P 塗	ラワンベニヤt=4
有孔ラワン合板 t=5.5 S.O.P		軒天 コンクリート打放し (ベニヤ板替) アクリルリシン吹付
吸音テックス貼 300x300x9	E P 塗	モルタル刷毛引
化粧石膏ボードt=9 450x900		梁型 プラスター塗 無機質セシイ材吹付 (機械室のみ)
杉貼合板敷目板貼り		石綿ボードt=4目透し貼 アクリルリシン吹付
石綿板t=4 目透し貼り	V P 塗	無機質セシイ成型板t=12 (スラブ無機質セシイ材)
☒ 天井点検口 450角		☒ オーバーヘッドスクリーン
□ カーテンボックス		

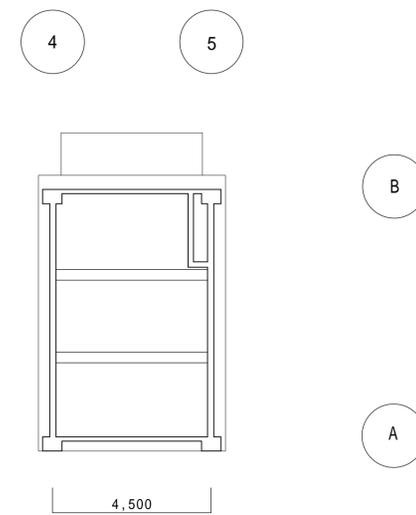
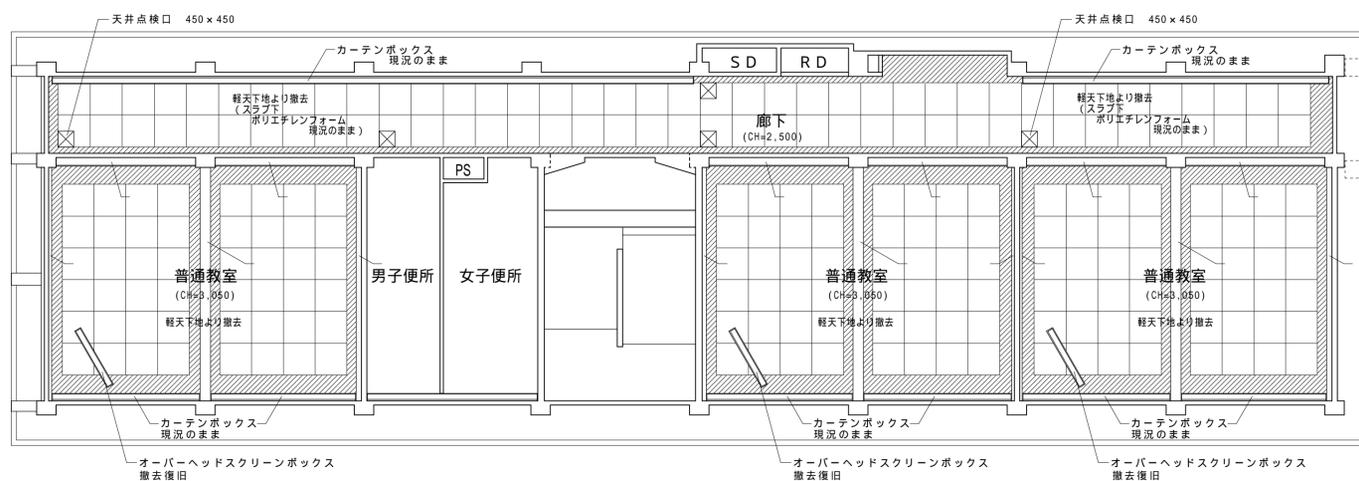
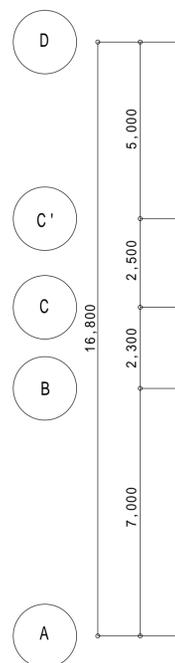
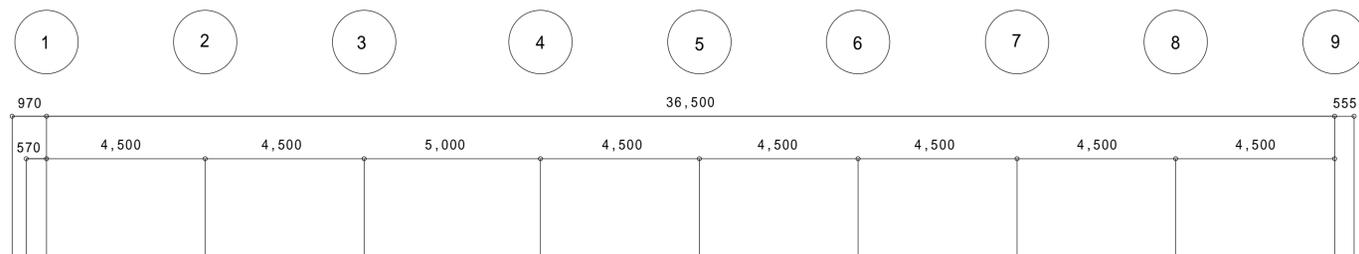
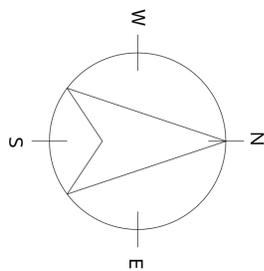


2階天井伏図 S=1/100

穿孔石膏ボードt=9	ボーダー石膏ボードt=9目透し貼 E.P.塗 (スラブ下無機質セメント材)	プラスター塗
吸音石膏ボードt=9	ボーダー石膏ボードt=9目透し貼 E.P.塗	ラワンベニヤt=4
有孔ラワン合板 t=5.5 S.O.P		軒天 コンクリート打放し (ベニヤ仮枠) アクリルリシン吹付
吸音テックス貼 300 x 300 x 9	E.P.塗	モルタル刷毛引
化粧石膏ボードt=9 450 x 900		梁型 プラスター塗 無機質セメント材吹付 (機械室のみ)
杉貼桎合板敷目板貼り		石綿ボードt=4目透し貼 アクリルリシン吹付
石綿板t=4 目透し貼り	V.P.塗	無機質セメント成型板t=12 (スラブ無機質セメント材)

OKANO ARCHITECTS OFFICE  
一級建築士事務所  
有限会社 岡野設計事務所  
福岡県行橋市北泉五丁目12番6号  
TEL 0930-23-0412

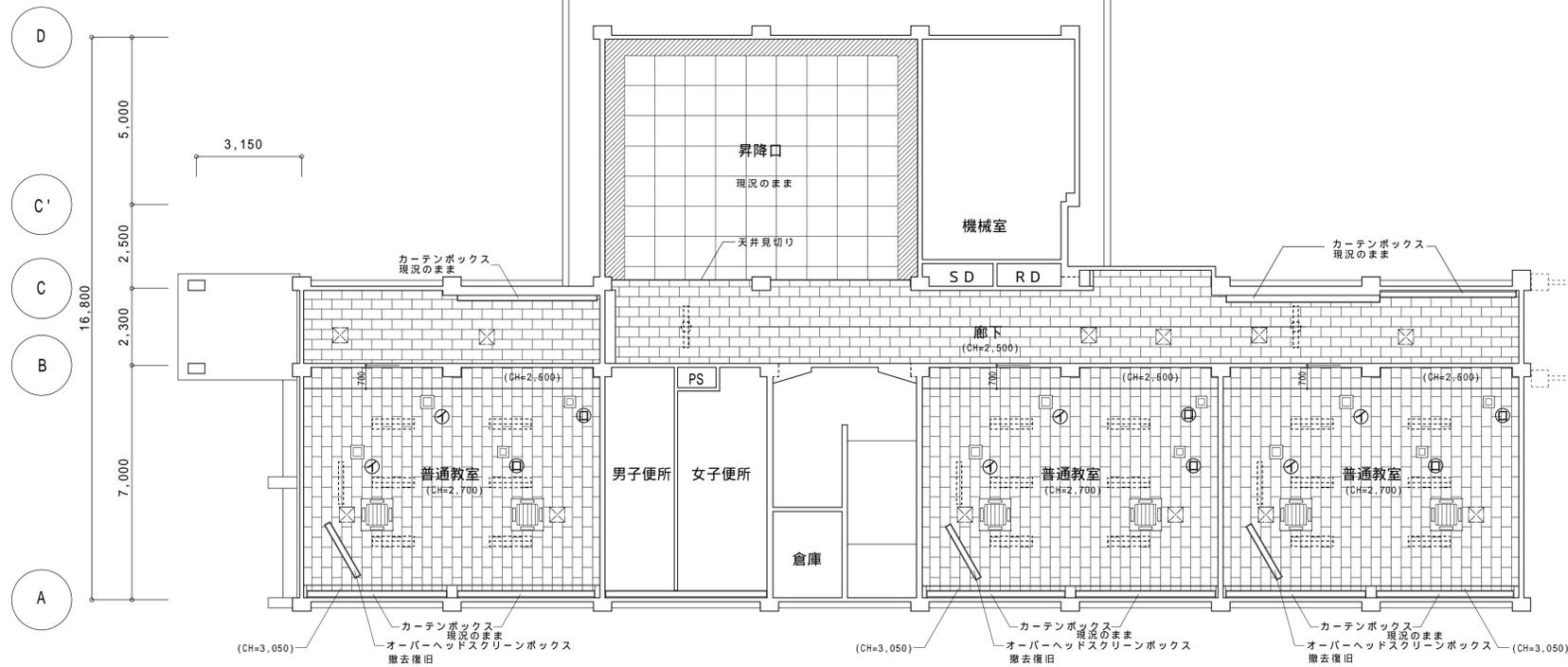
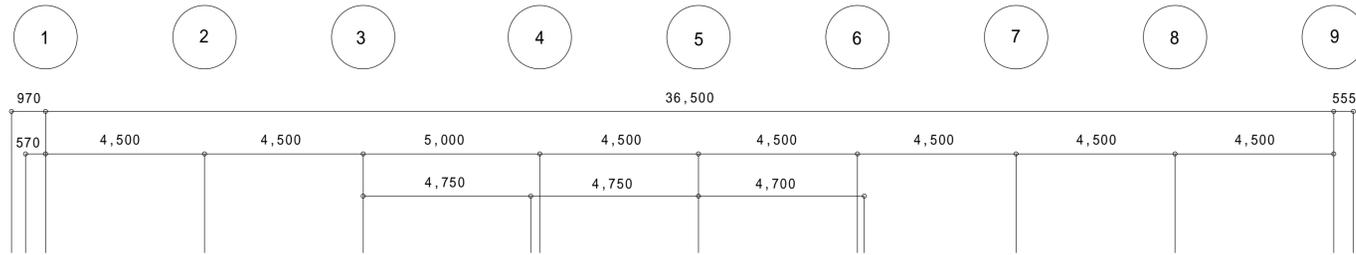
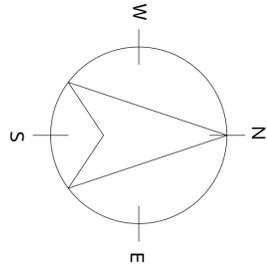
DRAWN BY 岡野 真治  
CHECKED BY  
工事名称 泉小学校空調整備工事  
工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号  
図面名称 東棟校舎 改修前 2階天井伏図  
DATE  
DRAWING NO. A-30  
SCALE S=1:100



3階天井伏図 S=1/100

R階天井伏図 S=1/100

穿孔石膏ボード t=9	ボーター石膏ボード t=9 目透し貼 E.P. 塗 (スラブ下無機質セメント材)	プラスター塗
吸音石膏ボード t=9	ボーター石膏ボード t=9 目透し貼 E.P. 塗	ラワンベニヤ t=4
有孔ラワン合板 t=5.5 S.O.P		軒天 コンクリート打放し (ベニヤ板枠) アクリルリシン吹付
吸音テックス貼 300 x 300 x 9	E.P. 塗	モルタル刷毛引
化粧石膏ボード t=9 450 x 900		梁型 プラスター塗 無機質セメント材吹付 (機械室のみ)
杉貼合板敷目板貼り		石綿ボード t=4 目透し貼 アクリルリシン吹付
石綿板 t=4 目透し貼り V.P. 塗		無機質セメント成型板 t=12 (スラブ無機質セメント材)



**特記事項**

廊下部分工事は学校の授業の無い日に工事する事。  
 工事期間中、生徒、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。  
 仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定する事。  
 廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。  
 改修後天井高さは、標準高さH=2,700とする、それ以外の部屋は、CH寸法の記入高さとする。  
 廊下部分、天井高さは現況のままとする。

改修後 1階天井伏図 S=1/100

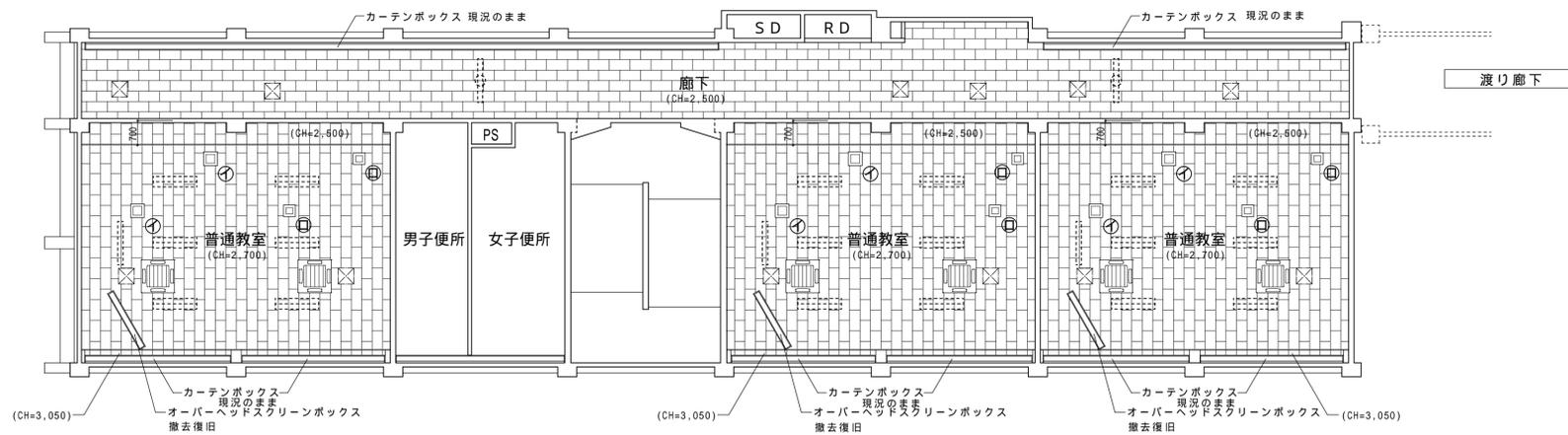
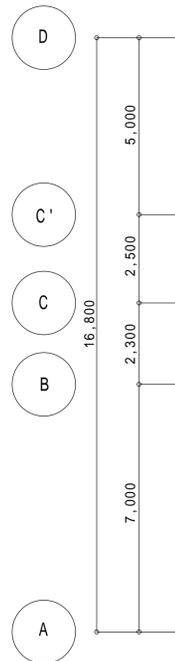
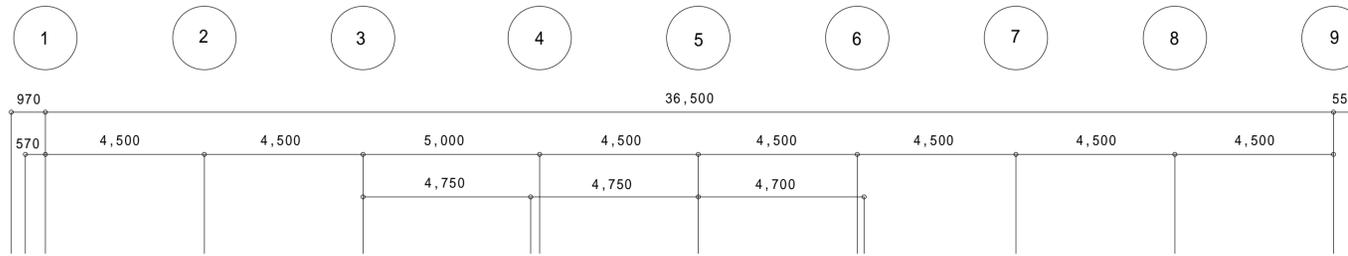
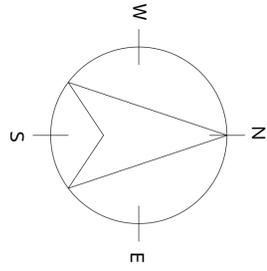
**天井開口寸法**

名称	開口寸法 (mm)
天井カセット形エアコン	910 × 910
給排気グリル (給)	390 × 390
給排気グリル (排)	310 × 310
点検口	450 × 450

ロックウール化粧吸音板 7) 9mm	
捨て貼り吸音石膏ボード 7) 9.5mm	
化粧石膏ボード 7) 9.5mm	
吸音用あなき石膏ボード 7) 9.5mm	1部現況のままとする
(ボタ石石膏ボード 7) 9.5mm目スかし)	☒ = 撤去復旧部分
吸音テックス貼 7) 9mm	
☒	天井点検口 450角
☐	給排気グリル
□	カーテンボックス
☒	オーバーヘッドスクリーン

OKANO ARCHITECTS OFFICE  
 一級建築士事務所  
 有限会社 岡野設計事務所  
 福岡県行橋市北東五丁目12番6号  
 一級建築士 第114155号  
 磯 経 真 治  
 TEL 0930-23-0412

DRAWN BY	工事名称 泉小学校空調整備工事	DATE	DRAWING NO.
CHECKED BY	工事場所 福岡県行橋市中央4丁目1番1号	SCALE	A-32
	図面名称 東校校舎 改修後 1階天井伏図	S=1:100	



改修後2階天井伏図 S=1/100

天井開口寸法

名称	開口寸法 (mm)
天井カセット形エアコン	910 x 910
給排気グリル ①	390 x 390
給排気グリル ②	310 x 310
点検口	450 x 450

ロックウール化粧吸音板 7) 9mm	
捨て貼り吸音石膏ボード 7) 9.5mm	
化粧石膏ボード 7) 9.5mm	
吸音用あななき石膏ボード 7) 9.5mm 1部現況のままとする (ボ・ダ・石膏ボード 7) 9.5mm目スカシ) ☒ = 撤去張替部分	EP EP
吸音テックス貼 7) 9mm	
☒ 天井点検口 450角	
☐ 給排気グリル	
☐ カーテンボックス	
☒ オーバーヘッドスクリーン	

特記事項

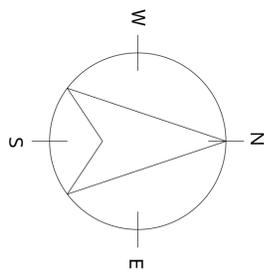
廊下部分工事は学校の授業の無い日に工事する事。  
 工事期間中、生徒、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。  
 仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定する事。  
 廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。  
 改修後天井高さは、標準高さH=2,700とする、それ以外の部屋は、CH寸法の記入高さとする。  
 廊下部分、天井高さは現況のままとする。

OKANO ARCHITECTS OFFICE  
 一級建築士事務所  
 有限会社 岡野設計事務所  
 福岡県行橋市北東五丁目12番6号  
 一級建築士 第114155号  
 磯 経 真 治  
 TEL 0930-23-0412

DRAWN BY  
 CHECKED BY

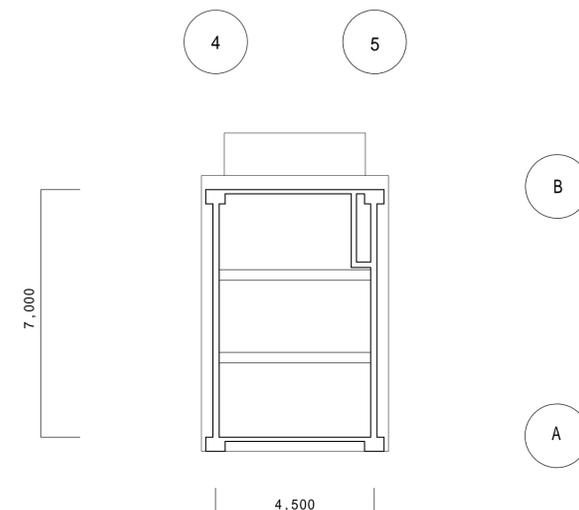
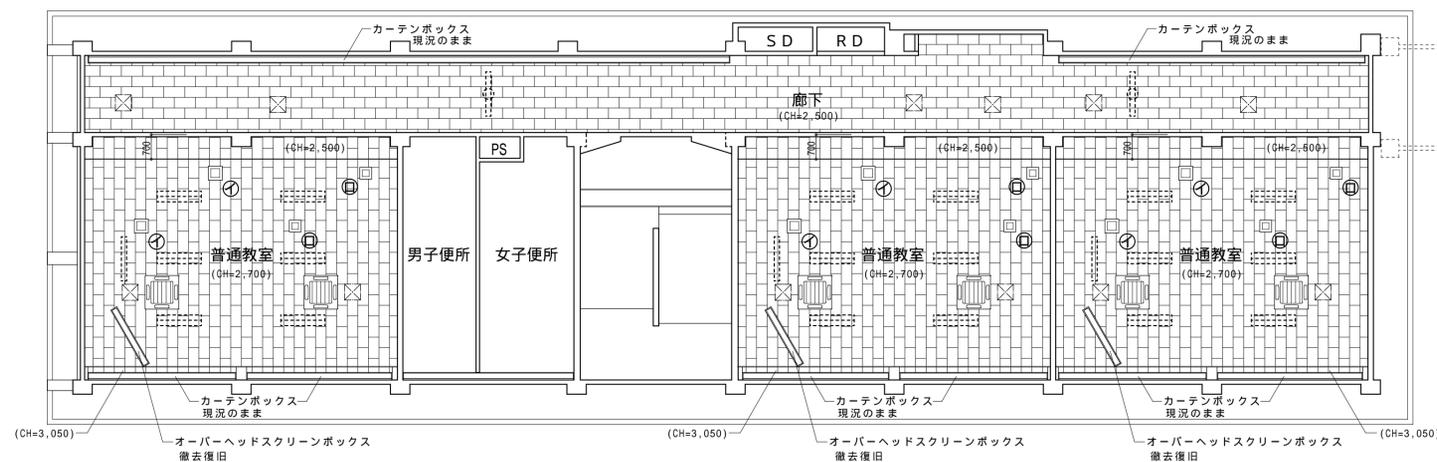
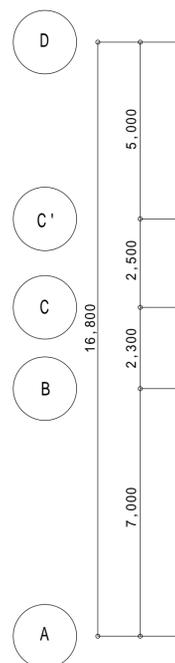
工事名称 泉小学校空調整備工事  
 工事場所 福岡県行橋市中央4丁目1番1号  
 図面名称 東棟校舎 改修後 2階天井伏図

DATE  
 SCALE S=1/100  
 DRAWING NO. A-33



天井開口寸法

名称	開口寸法 (mm)
天井カセット形エアコン	910 × 910
給排気グリル (1)	390 × 390
給排気グリル (2)	310 × 310
点検口	450 × 450



特記事項

廊下部分工事は学校の授業の無い日に工事する事。  
 工事期間中、生徒、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。  
 仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定する事。  
 廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。  
 改修後天井高さは、標準高さH=2,700とする、それ以外の部屋は、CH寸法の記入高さとする。  
 廊下部分、天井高さは現況のままとする。

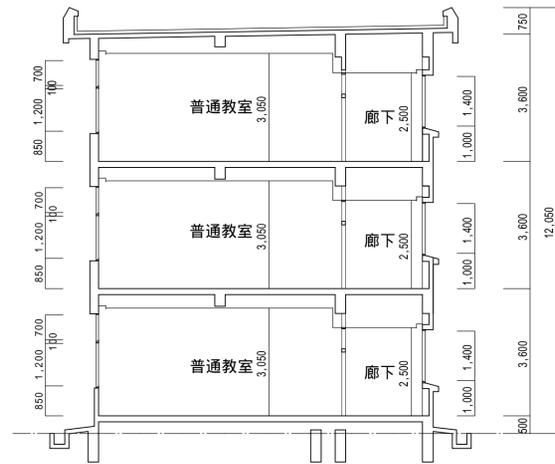
改修後3階天井伏図 S=1/100

R階天井伏図 S=1/100

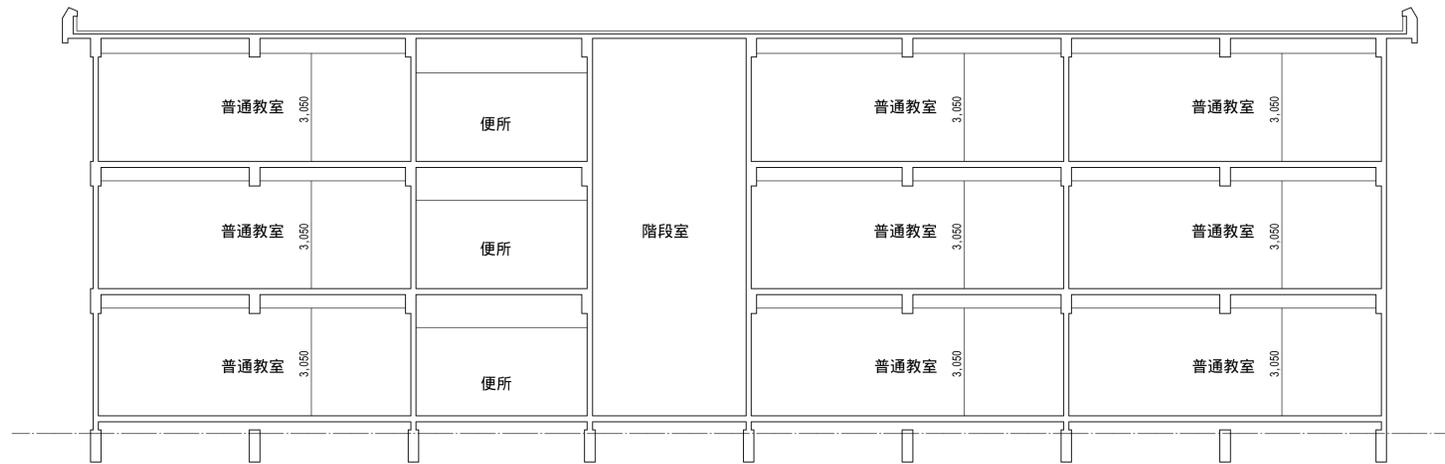
ロックウール化粧吸音板 7) 9mm		
捨て貼り吸音石膏ボード 7) 9.5mm		
化粧石膏ボード 7) 9.5mm		
吸音用あなあき石膏ボード 7) 9.5mm	1部現況のままとする	EP
(ボ-ダ-石膏ボード 7) 9.5mm目スカシ)	☒ = 撤去換替部分	EP
吸音テックス貼 7) 9mm		
☒	天井点検口 450角	
☐	給排気グリル	
▭	カーテンボックス	
☒	オーバーヘッドスクリーン	

OKANO ARCHITECTS OFFICE  
 一級建築士事務所  
 有限会社 岡野設計事務所  
 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号  
 一級建築士 第114155号  
 磯 経 真 治  
 TEL 0930-23-0412

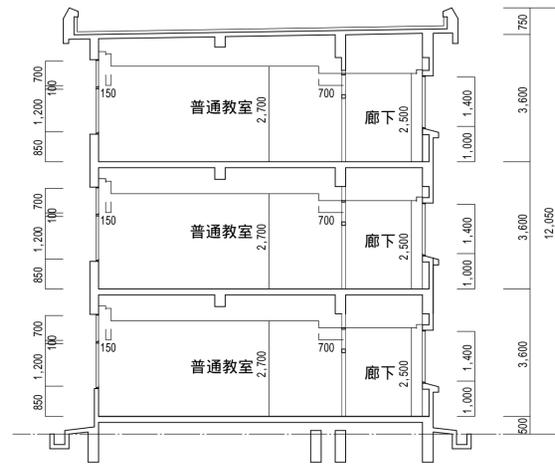
DRAWN BY	工事名称 泉小学校空調整備工事	DATE	DRAWING NO.
CHECKED BY	工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号	SCALE	A-34
	図面名称 東棟校舎 改修後 3階天井伏図	S=1/100	



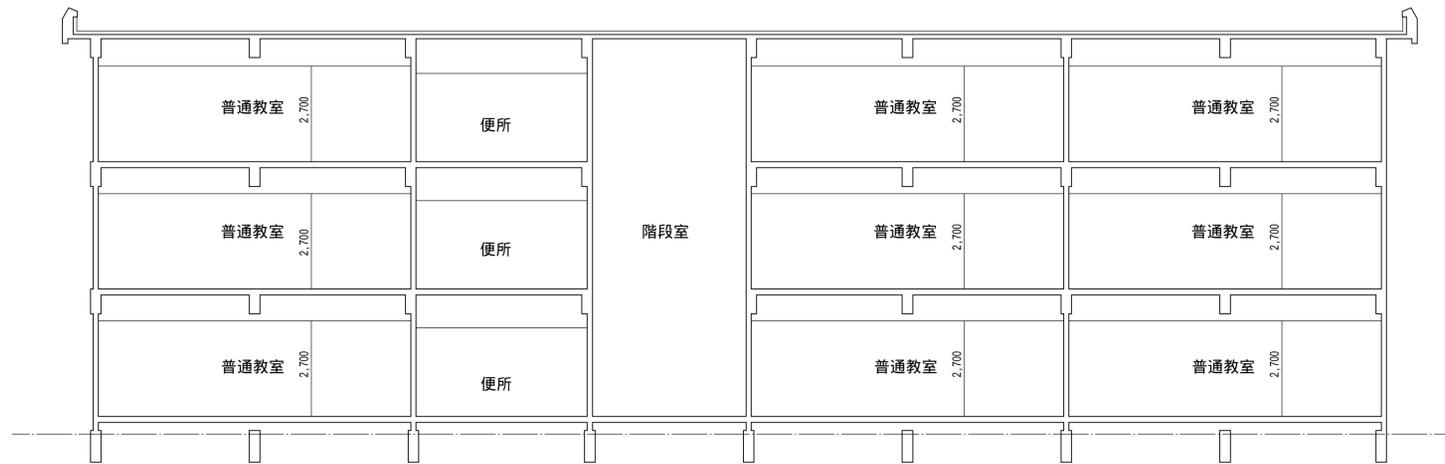
改修前7通り断面図 S=1/100



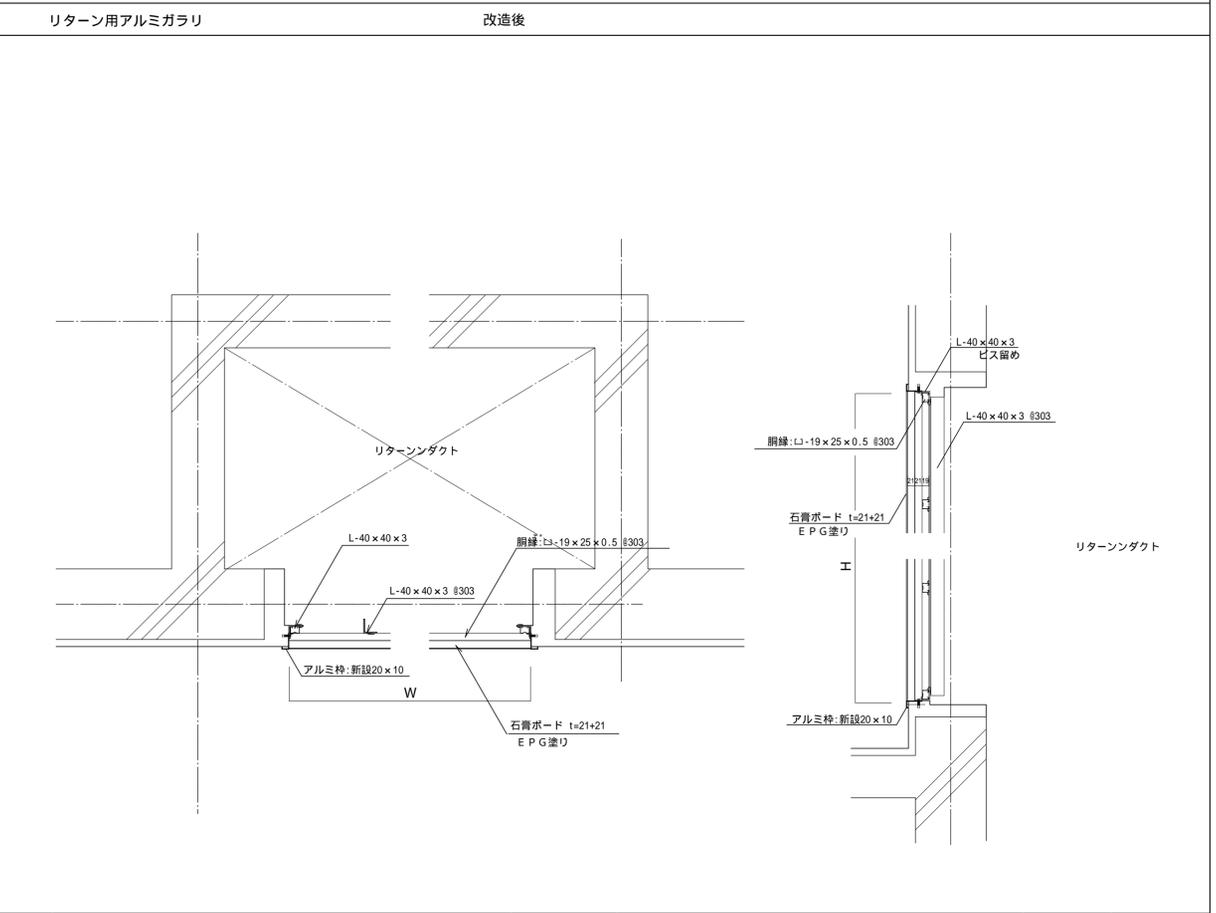
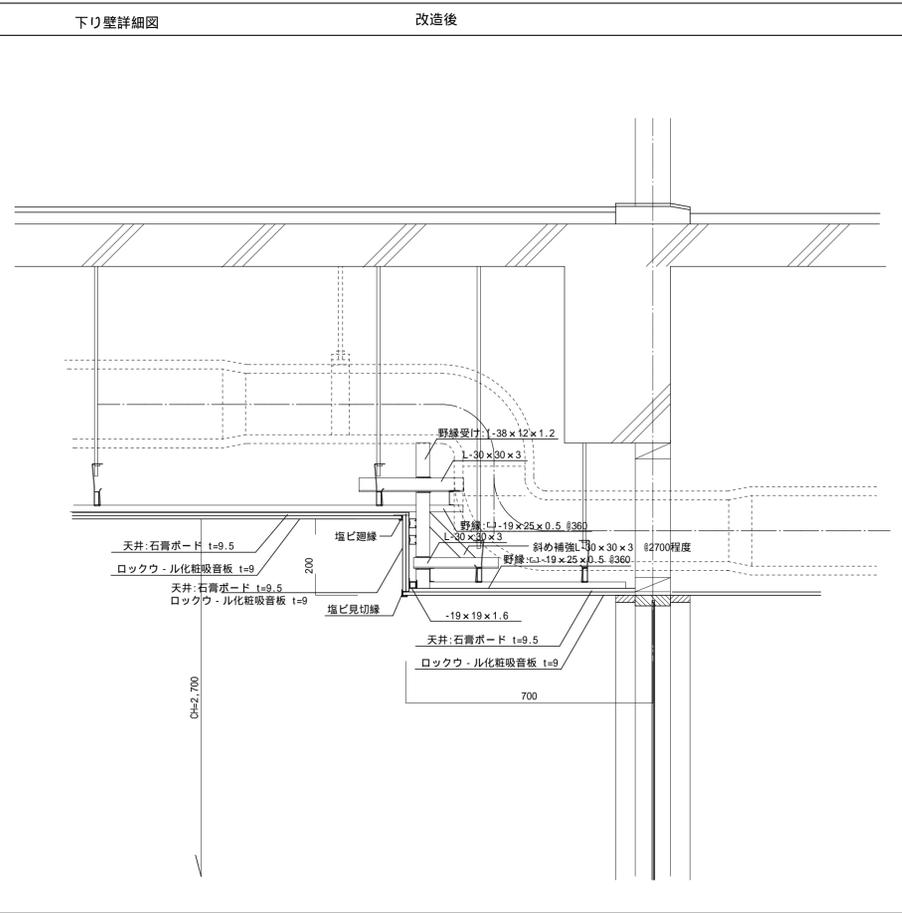
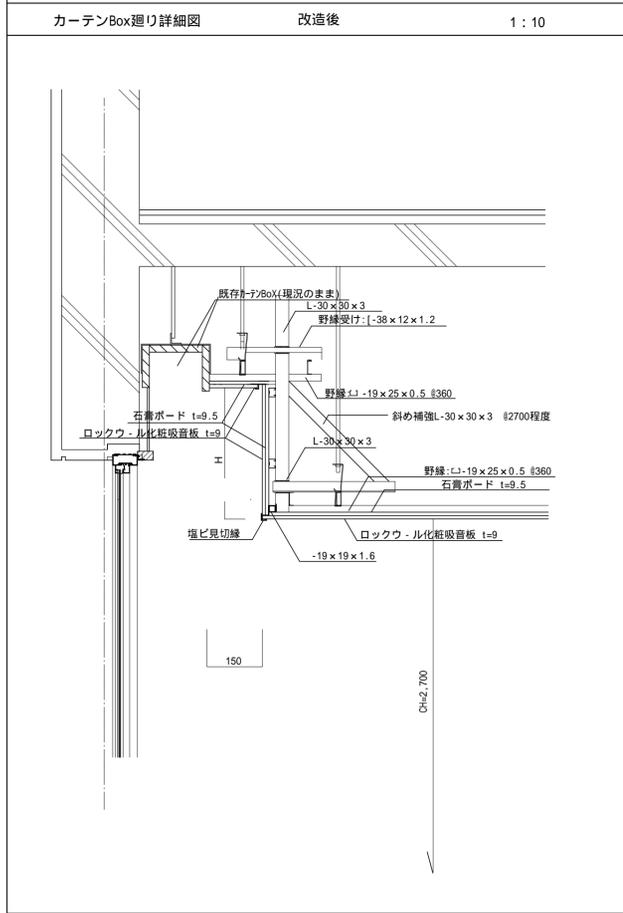
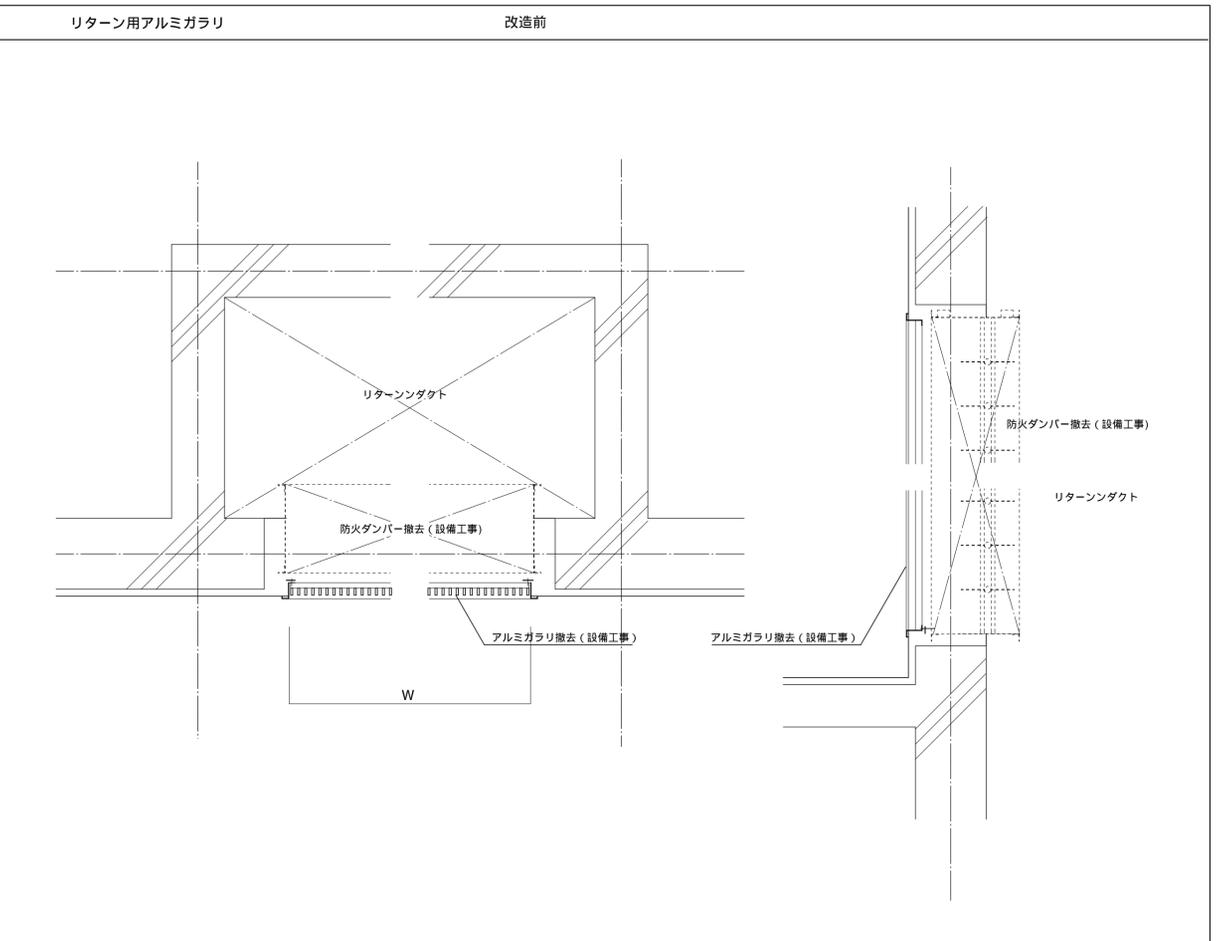
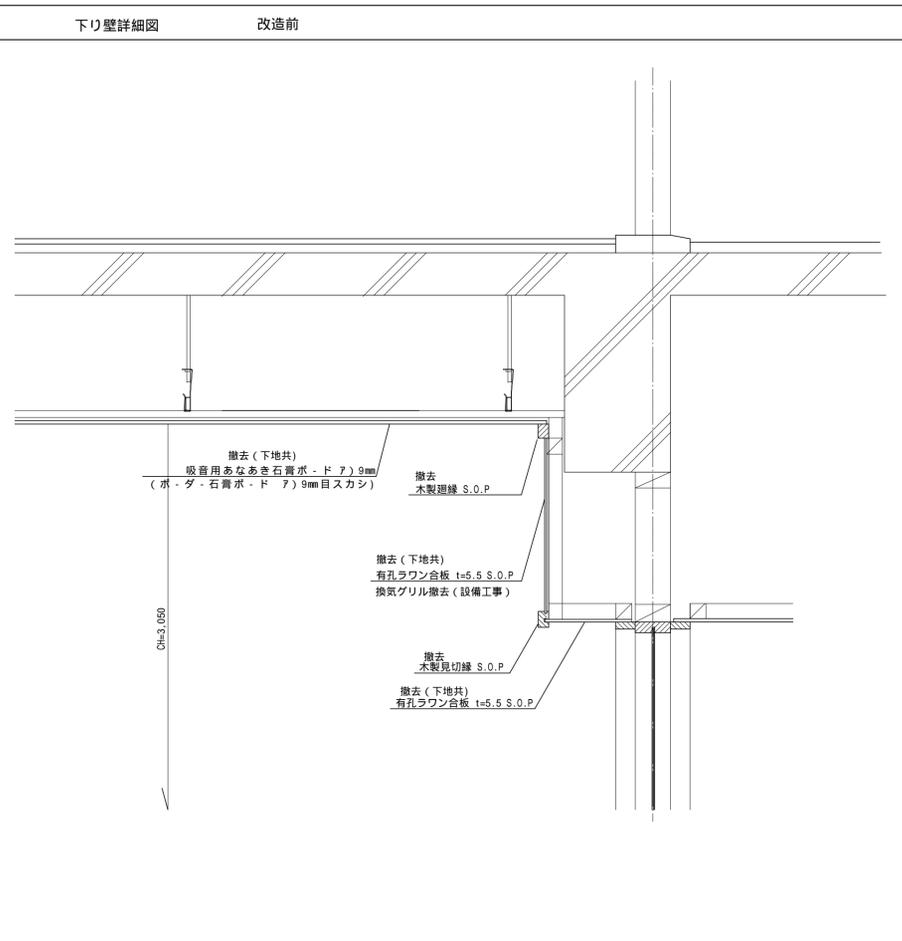
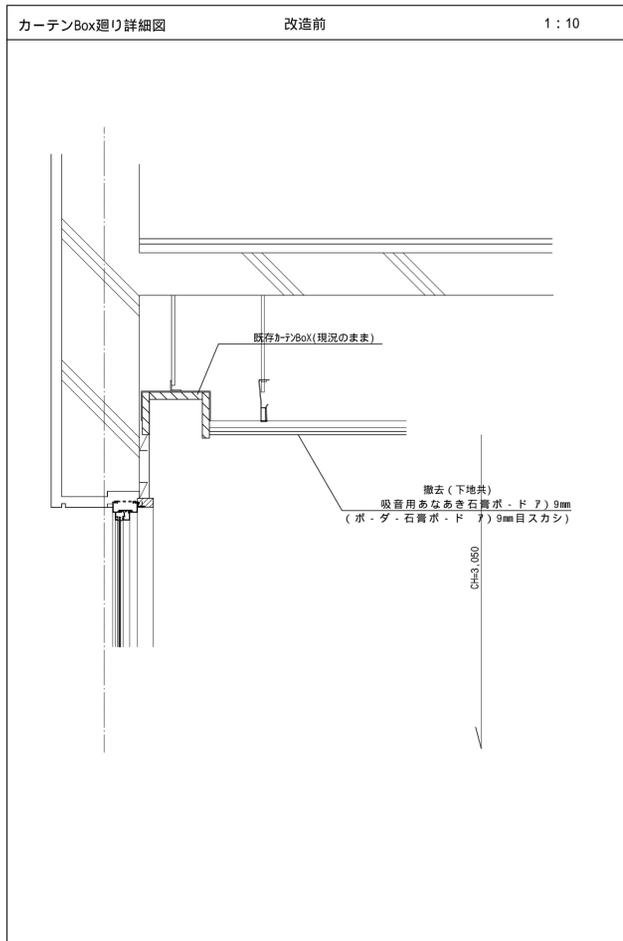
改修前1-9通り断面図 S=1/100



改修後7通り断面図 S=1/100

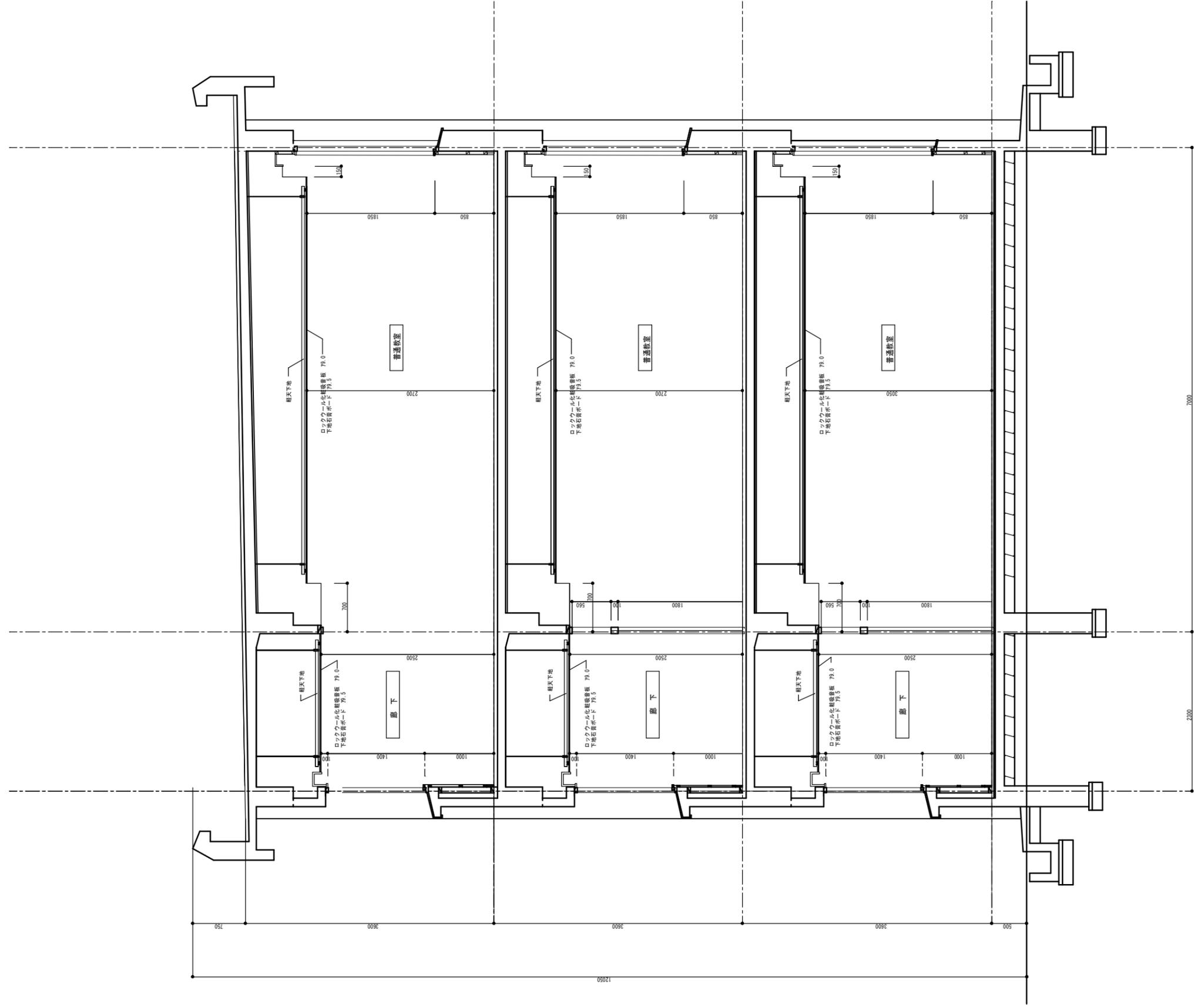


改修後1-9通り断面図 S=1/100



OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北東五丁目12番6号	一級建築士 第114155号 磯 経 真 治 TEL 0930-23-0412	DRAWN BY CHECKED BY	工事名称 泉小学校空調整備工事 工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号 図面名称 東棟校舎 標準詳細図-1	DATE SCALE S=1:10	DRAWING NO. A-36
---	---	------------------------	---	----------------------	---------------------

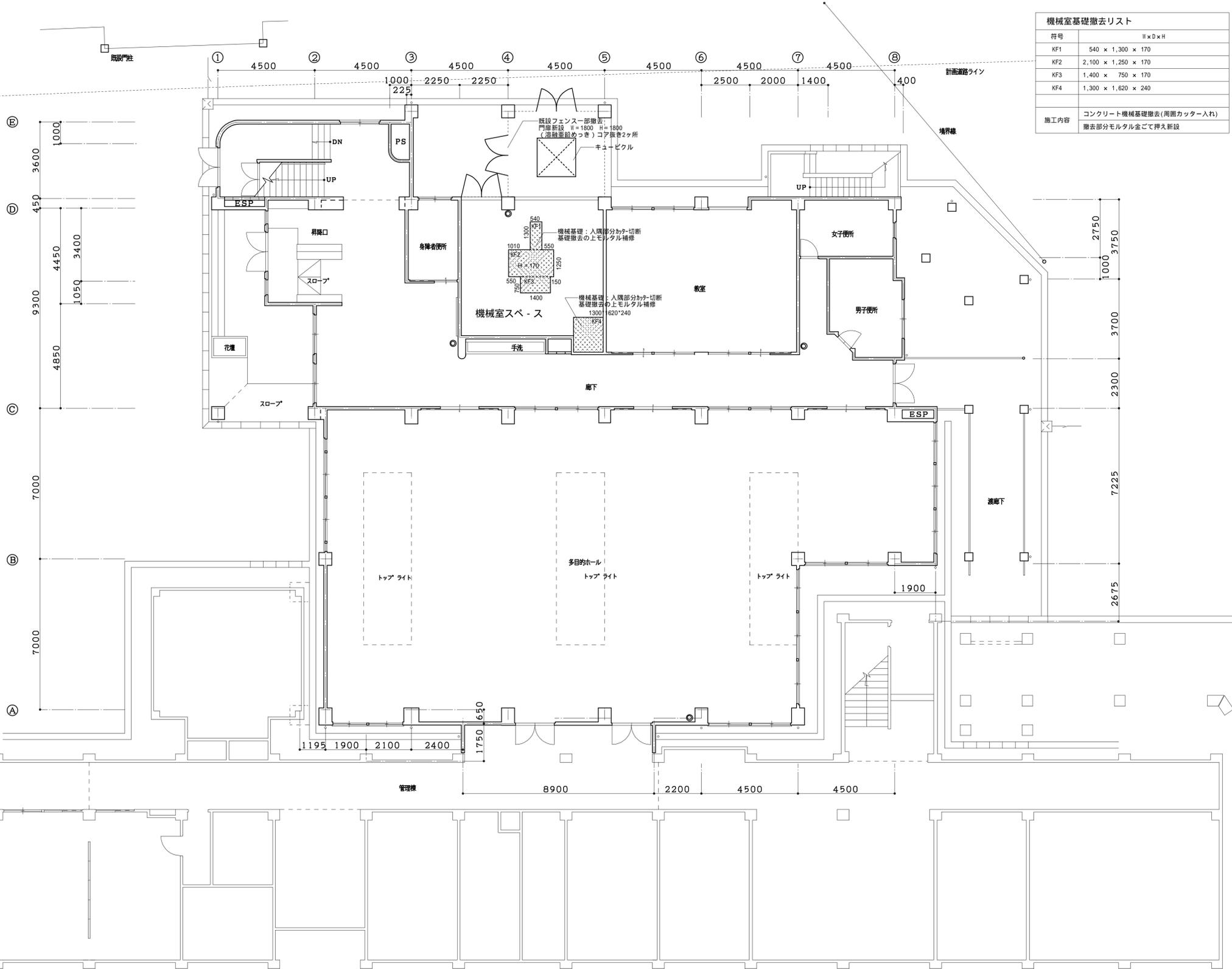
東横矩計図



OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号	一級建築士 第114155号 廣 経 真 治 TEL 0930-23-0412	DRAWN BY	工事名称 小学校空調整備工事 工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号 図面名称 縦横校舎 改修後 矩計図	DATE	
		CHECKED BY		SCALE	

1階平面図 S=1/100

新館校舎		空調対象面積	
[1階]			
普通教室	9.0 × 6.79 + 2.0 × 0.45 = 62.01		62.01
多目的ホール	22.0 × 14.65 + 4.5 × 7.225 + 1.9 × 6.63 = 367.41		367.41
[2階]			
普通教室(2室)	9.0 × 7.0 × 2 = 126.00		126.00
図書室	13.5 × 7.0 = 94.50		94.50
[3階]			
普通教室(2室)	9.0 × 7.0 × 2 = 126.00		126.00
パソコン教室	13.5 × 7.0 = 94.50		94.50
[1階]			
機械室	6.75 × 6.45 + 1.5 × 0.79 = 44.72		44.72
身障者便所	2.475 × 3.8 = 9.41		9.41
便所	4.5 × 2.75 + 3.1 × 1.0 + 3.5 × 2.5 + (3.2 + 2.3) × 0.9 × 1/2 + 2.3 × 0.3 = 27.39		27.39
E S P	2.25 × 0.45 + 1.9 × 0.595 = 2.14		2.14
階段・廊下	6.525 × 4.9 + 6.75 × 4.85 + 2.475 × 1.1 + 4.05 × 0.79 + 1.2 × 0.79 + 20.25 × 2.3 + 15.75 × 0.21 + 1.4 × 4.7 + 1.2 × 0.3 + (0.3 + 1.2) × 0.9 × 1/2 + 1.75 × 8.9 + 9.0 × 2.6 + 8.0 × 1.0 + 1.0 × 1.0 × 3.14 × 1/4 = 179.98		179.98
[2階]			
D S	2.25 × 0.9 + 2.025 × 1.35 = 4.76		4.76
便所	2.25 × 2.625 + 2.25 × 3.825 + 4.275 × 2.925 + 1.925 × 1.825 + 2.225 × 2.0 = 34.98		34.98
階段・廊下	15.75 × 2.75 + 2.25 × 1.2 + 2.025 × 2.3 + 13.725 × 2.75 + 5.0 × 0.15 + 9.0 × 2.6 + 8.0 × 1.0 + 1.0 × 1.0 × 3.14 × 1/4 = 121.35		121.35
[3階]			
D S	2.475 × 0.9 + 2.25 × 1.35 = 5.27		5.27
便所	2.255 × 4.725 + 2.37 × 1.855 + 4.375 × 2.925 = 27.85		27.85
階段・廊下	9.0 × 2.75 + 2.255 × 2.3 + 2.37 × 1.07 + 2.02 × 0.9 + 4.495 × 2.75 + 2.25 × 2.3 + 7.0 × 2.3 + 4.5 × 0.45 + 4.275 × 0.15 + 6.5 × 2.75 + 9.0 × 2.6 + 8.0 × 1.0 + 1.0 × 1.0 × 3.14 × 1/4 = 120.43		120.43
施設面積計			1,447.92
空調面積計			870.42

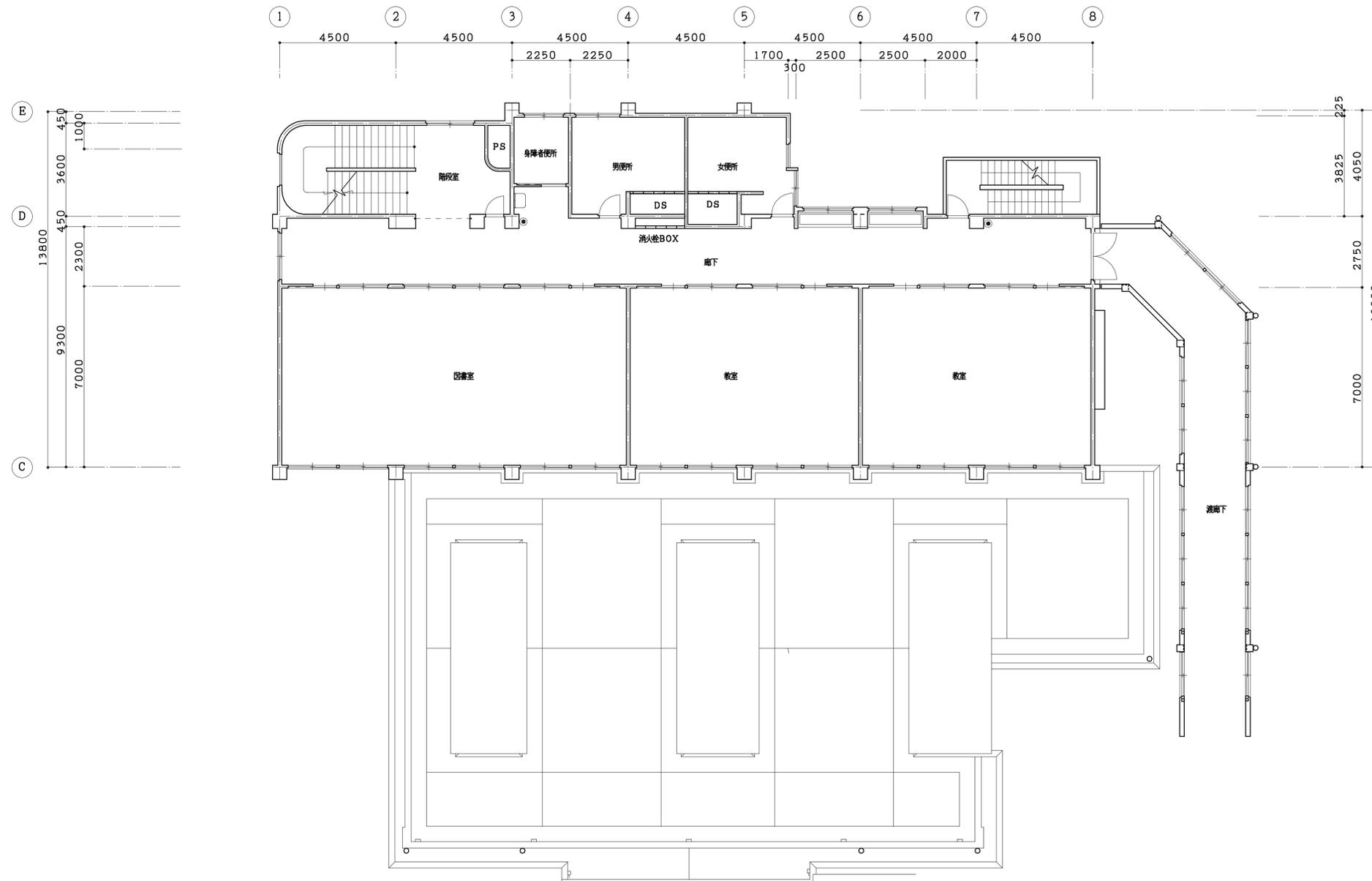


符号	Ⅱ×D×H
KF1	540 × 1,300 × 170
KF2	2,100 × 1,250 × 170
KF3	1,400 × 750 × 170
KF4	1,300 × 1,620 × 240

施工内容  
 コンクリート機械基礎撤去(周囲カッター入れ)  
 撤去部分モルタル全て押え新設

特記事項

工事期間中、生徒・職員の安全に務め、廊下等の避難経路を確保する事。  
 仮設物・仮囲い等の設置場所については、施設関係者及び監督員と協議して決定する事。  
 廊下等通路になる部分の工事は、学校の授業の無い日に工事する事。  
 廊下等通路になる部分の天井及び壁等を撤去後は、危険防止処置をし安全を充分確保する事。  
 工事対象室の床・壁等は、養生・整理清掃を行う事。(天井撤去時の埃等は、散らばらない様に注意して作業する事。)  
 工事対象室までの工事用搬入通路になる、工事対象外の階段等は、幅1m程度、養生・整理清掃を行う事。  
 コンピューター室は、施工時に室内のパソコンに影響を与えないよう全面に梱場を設置し、  
 梱場上部を全面ブルーシートで養生する事。または移動させる事。  
 改修工事のため、各部を施工・制作前に調査・実測のうえ、施工・制作を行う事。

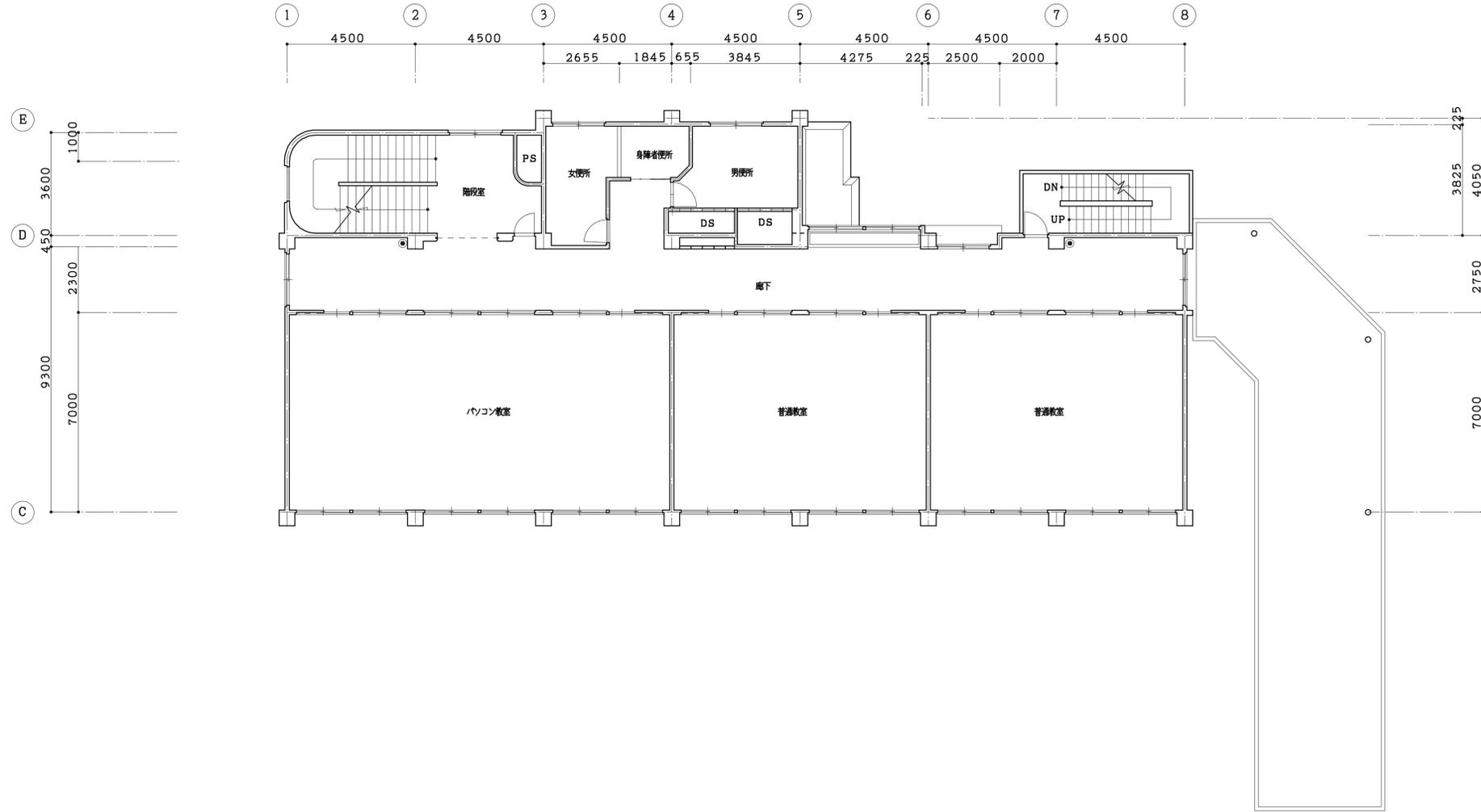


特記事項

工事期間中、生徒・職員の安全に務め、廊下等の避難経路を確保する事。  
 仮設物・仮囲い等の設置場所については、施設関係者及び監督員と協議して決定する事。  
 廊下等通路になる部分の工事は、学校の授業の無い日に工事する事。  
 廊下等通路になる部分の天井及び壁等を撤去後は、危険防止処置をし安全を充分確保する事。  
 工事対象室の床・壁等は、養生・整理清掃を行う事。(天井撤去時の埃等は、散らばらない様に注意して作業する事。)  
 工事対象室までの工事前搬入通路になる、工事対象外の階段等は、幅1m程度、養生・整理清掃を行う事。  
 コンピューター室は、施工時に室内のパソコンに影響を与えないよう全面に柵足場を設置し、  
 柵足場上部を全面ブルーシートで養生する事。または移動させる事。  
 改修工事のため、各部を施工・制作前に調査・実測のうえ、施工・制作を行う事。

OKANO ARCHITECTS OFFICE  
 一級建築士事務所  
 有限会社 岡野設計事務所  
 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号  
 一級建築士 第114155号  
 磯 経 真 治  
 TEL 0930-23-0412

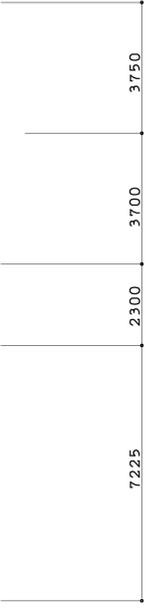
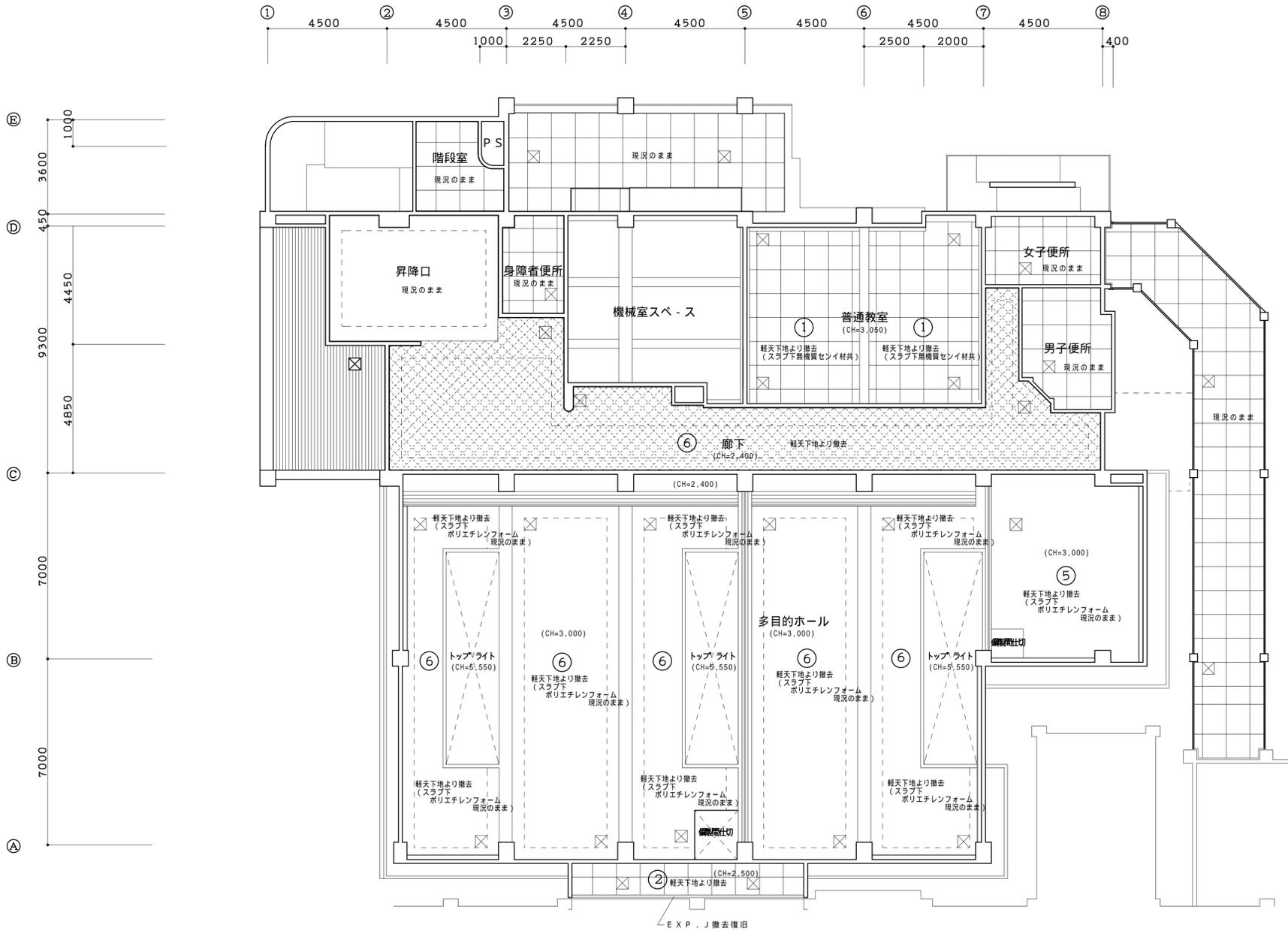
DRAIN BY	工事名称 泉小学校空調整備工事	DATE	DRAWING NO. A-39
CHECKED BY	工事場所 福岡県行橋市中央4丁目1番1号	SCALE	S=1:100
	図面名称 新館校舎 2階平面図		



特記事項

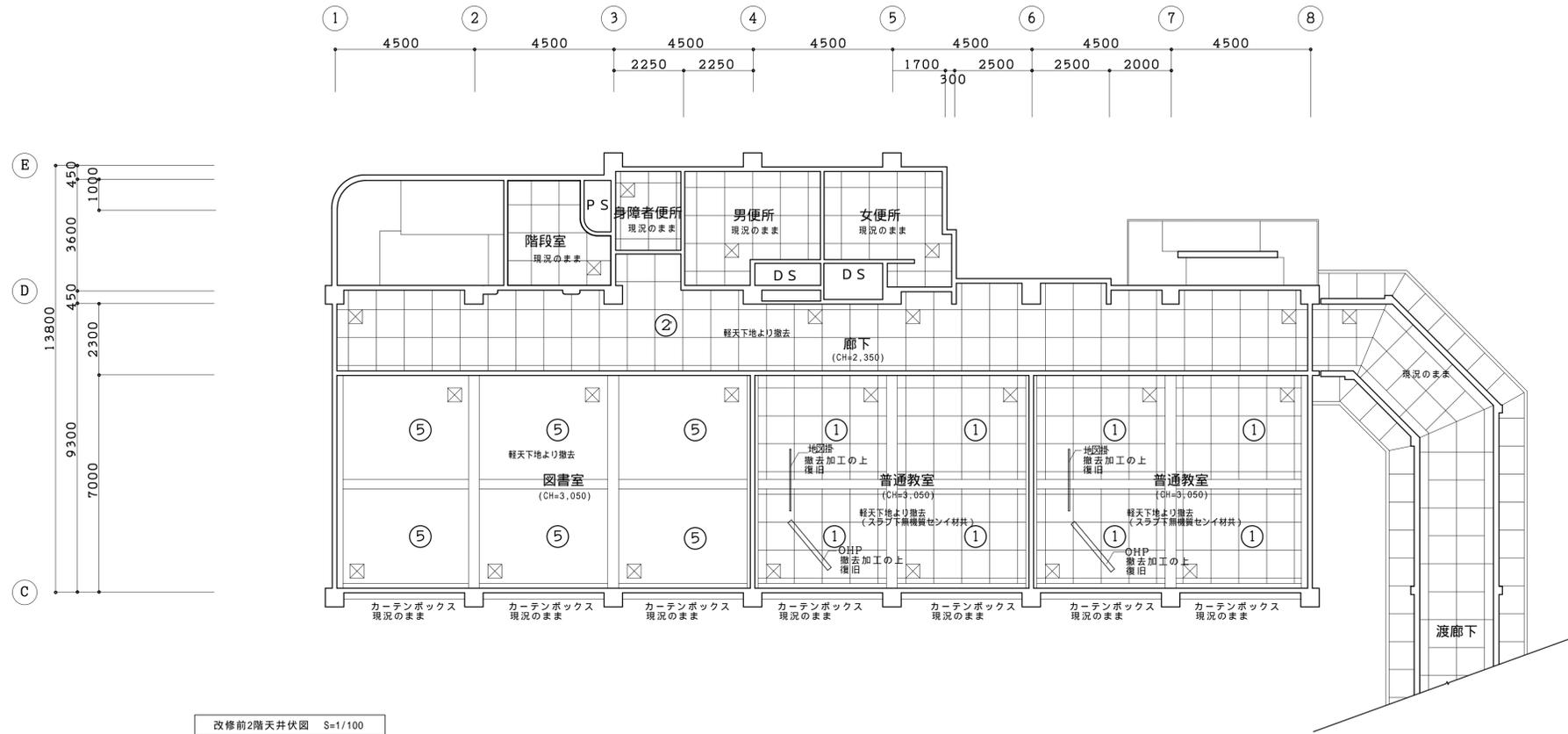
工事期間中、生徒・職員の安全に務め、廊下等の避難経路を確保する事。  
 仮設物・仮囲い等の設置場所については、施設関係者及び監督員と協議して決定する事。  
 廊下等通路になる部分の工事は、学校の授業の無い日に工事する事。  
 廊下等通路になる部分の天井及び壁等を撤去後は、危険防止処置をし安全を充分確保する事。  
 工事対象室の床・壁等は、養生・整理清掃を行う事。(天井撤去時の埃等は、散らばらない様に注意して作業する事。)  
 工事対象室までの工事用搬入出路になる、工事対象外の階段等は、幅1m程度、養生・整理清掃を行う事。  
 コンピューター室は、施工時に室内のパソコンに影響を与えないよう全面に柵足場を設置し、  
 柵足場上部を全面ブルーシートで養生する事。または移動させる事。  
 改修工事のため、各部を施工・制作前に調査・実測のうえ、施工・制作を行う事。

OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号	一級建築士 第114155号 横塚 真治 TEL 0930-23-0412	DRAWN BY 工事名称 泉小学校空調整備工事	DATE 図面名称 新館校舎 3階平面図	DRAWING NO. A-40
		CHECKED BY 工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号	SCALE S=1:100	

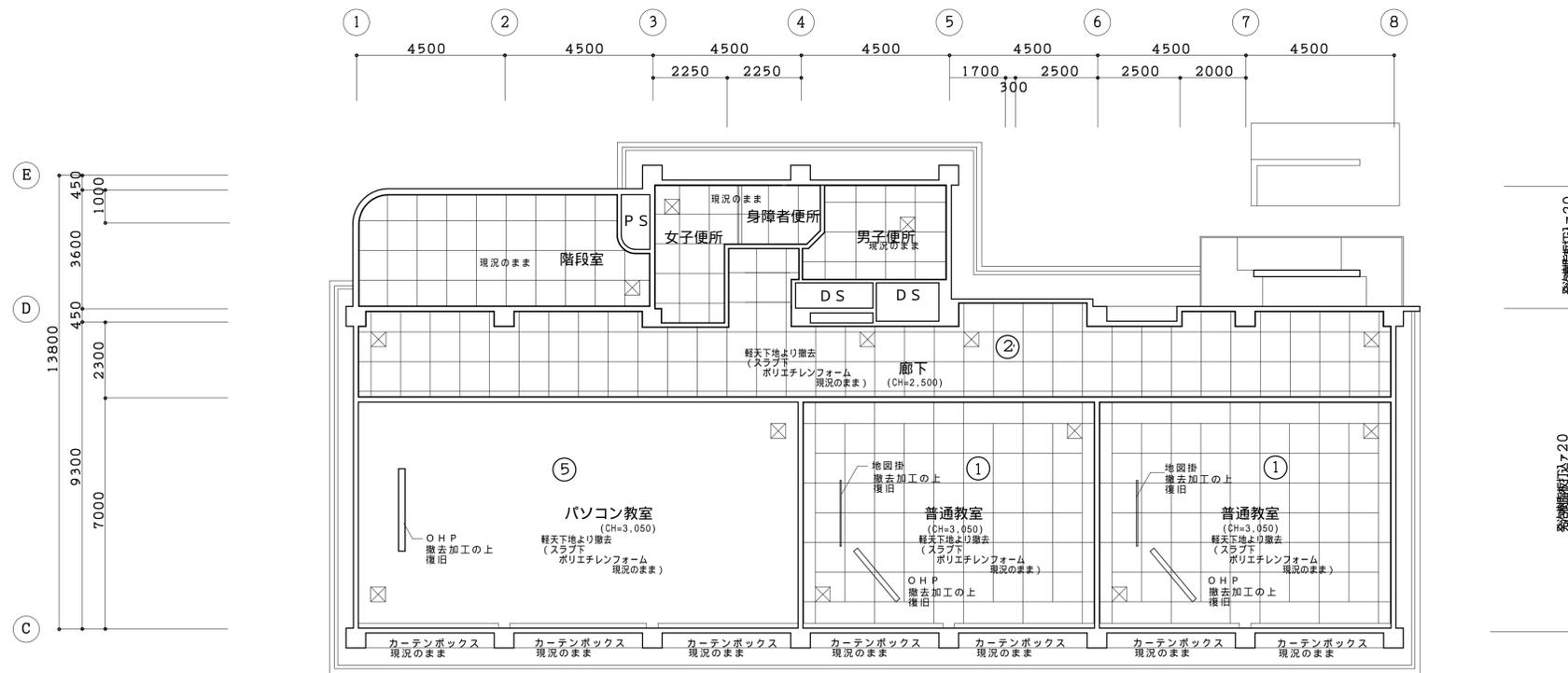


天井リスト

①	軽天下地 吸音石膏ボード <sup>ア</sup> 9.5 ボード一部 平石膏ボード <sup>ア</sup> 9.5 EP
②	〃 平石膏ボード <sup>ア</sup> 9.5 EP
③	〃 ケイカル板 <sup>ア</sup> 6 EP
④	〃 石膏板 <sup>ア</sup> 5 EP
⑤	〃 平石膏ボード <sup>ア</sup> 9.5下地 ロックウール吸音板 <sup>ア</sup> 9 貼
⑥	〃 平石膏ボード <sup>ア</sup> 9.5下地 ロックウール吸音板 <sup>ア</sup> 12 貼 <sup>ハ</sup> ボード一部ロックウール吸音板 <sup>ア</sup> 9平板
⑦	スラブ <sup>下</sup> 打放補修リシン吹付
⑧	スラブ コンクリート 木毛板 <sup>ア</sup> 18打込
⑨	コンクリート打放 複層吹付タイルRE
⑩	軽天下地 アルミスパンドレル <sup>ア</sup> 0.8
⑪	軽天下地 穿孔石膏ボード <sup>ア</sup> 9.5 ボード一部 平石膏ボード <sup>ア</sup> 9.5 EP
⑫	多目的ホール トップライト内部 <sup>ア</sup> ラスター塗り 穿孔合板 <sup>ア</sup> 5.5目透し張OP塗り 下層アルミ隠レバ <sup>ア</sup> 取付
⑬	内部梁型 プラスター塗り
⑭	各階教室、廊下スラブ <sup>下</sup> ロックウール吸音フェルト <sup>ア</sup> 25貼
⑮	多目的ホール、階段室R階スラブ <sup>下</sup> 及R、3階便所スラブ <sup>下</sup> 発泡樹脂板打込 <sup>ア</sup> 20
⑯	天井面 H型 <sup>ア</sup> ラスチック隠蔽
⑰	天井点検口 アルミ450角

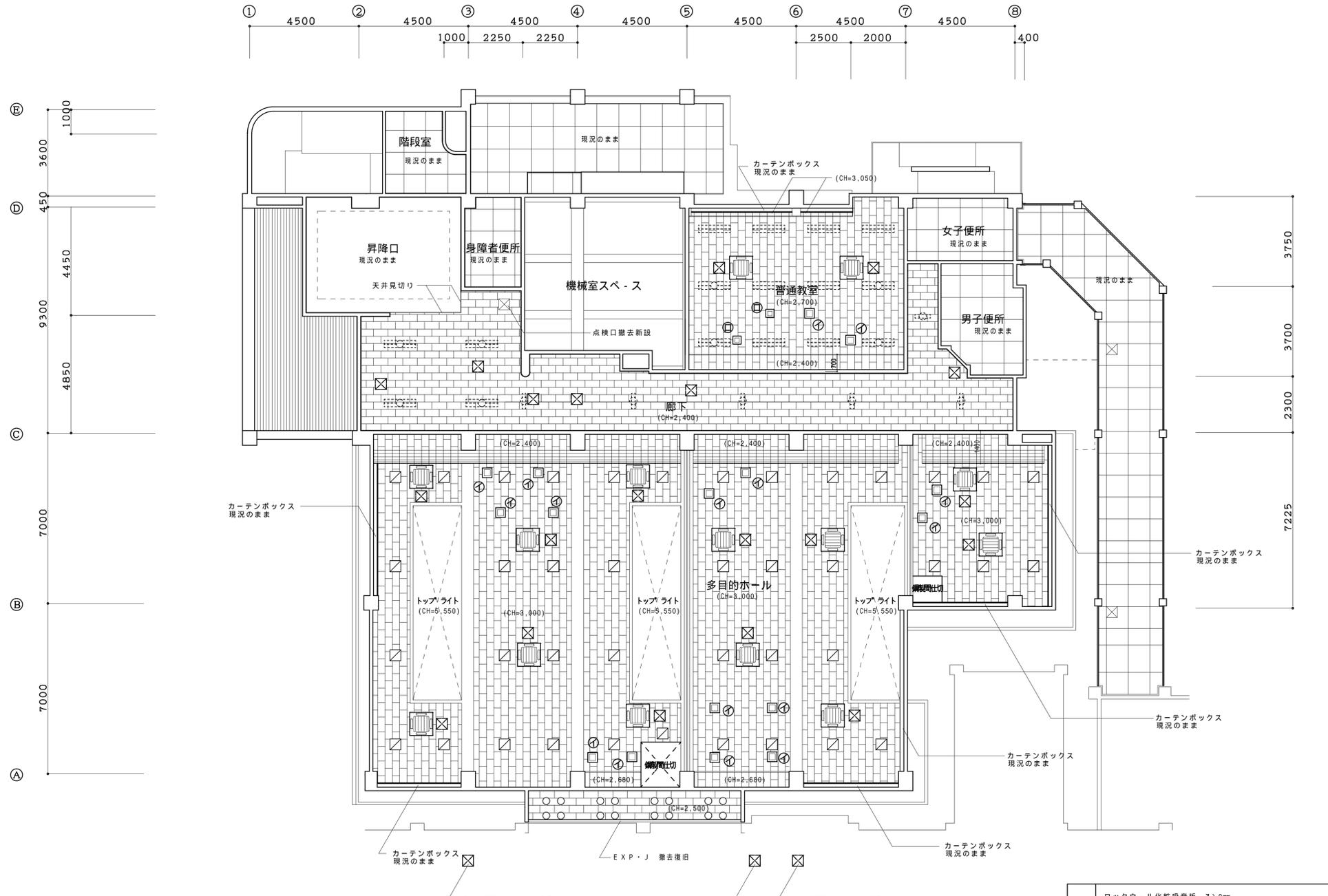


改修前2階天井伏図 S=1/100



改修前3階天井伏図 S=1/100

①	軽天地下 吸音石膏ボード <sup>ア</sup> 9.5 ポーダ <sup>一部</sup> 平石膏ボード <sup>ア</sup> 9.5 EP
②	平石膏ボード <sup>ア</sup> 9.5 EP
③	ケイカル板 <sup>ア</sup> 6 EP
④	石綿板 <sup>ア</sup> 5 EP
⑤	平石膏ボード <sup>ア</sup> 9.5下地 ロックウール吸音板 <sup>ア</sup> 9 貼
⑥	平石膏ボード <sup>ア</sup> 9.5下地 ロックウール吸音板 <sup>ア</sup> 12 貼 <sup>一部</sup> ロックウール吸音板 <sup>ア</sup> 9平板
⑦	スラブ <sup>下</sup> 打放補修リシン吹付
⑧	スラブ <sup>下</sup> コンクリート 木毛板 <sup>ア</sup> 18打込
⑨	コンクリート打放 複層吹付タイルRE
⑩	軽天地下 アルミバンドレル <sup>ア</sup> 0.8
⑪	軽天地下 穿孔石膏ボード <sup>ア</sup> 9.5 ポーダ <sup>一部</sup> 平石膏ボード <sup>ア</sup> 9.5 EP 多目的ホール トップ <sup>内部</sup> ラスタ <sup>塗り</sup> 穿孔合板 <sup>ア</sup> 5.5目透し張 <sup>OP</sup> 塗り 下 <sup>端</sup> アルミ <sup>目隠</sup> パー <sup>一</sup> 取付 内部 <sup>吹</sup> 型 <sup>吹</sup> プラスタ <sup>塗り</sup> 各階教室、廊下スラブ <sup>下</sup> ロックウール吸音フェルト <sup>ア</sup> 25貼 多目的ホール、階段室R階スラブ <sup>下</sup> 及R、3階便所スラブ <sup>下</sup> 発泡 <sup>ス</sup> 断 <sup>熱</sup> 板 <sup>打</sup> 込 <sup>ア</sup> 20 天井面 H型 <sup>フ</sup> ラスチック <sup>隠</sup> 縁 天井点検口 アルミ450角



特記事項

廊下部分工事は学校の授業の無い日に工事する事。  
 工事期間中、生徒、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。  
 仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定する事。  
 廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。  
 改修後天井高さは、標準高さH=2,700とする、それ以外の部屋は、CH寸法の記入高さとする。  
 廊下部分、天井高さは現況のままとする。

天井開口寸法

名称	開口寸法 (mm)
天井カセット形エアコン	910 x 910
給排気グリル ㊶	390 x 390
給排気グリル ㊷	310 x 310
点検口	450 x 450
多目的室電灯開口補強	450 x 450
多目的ホール前室電灯開口補強	300 x 300

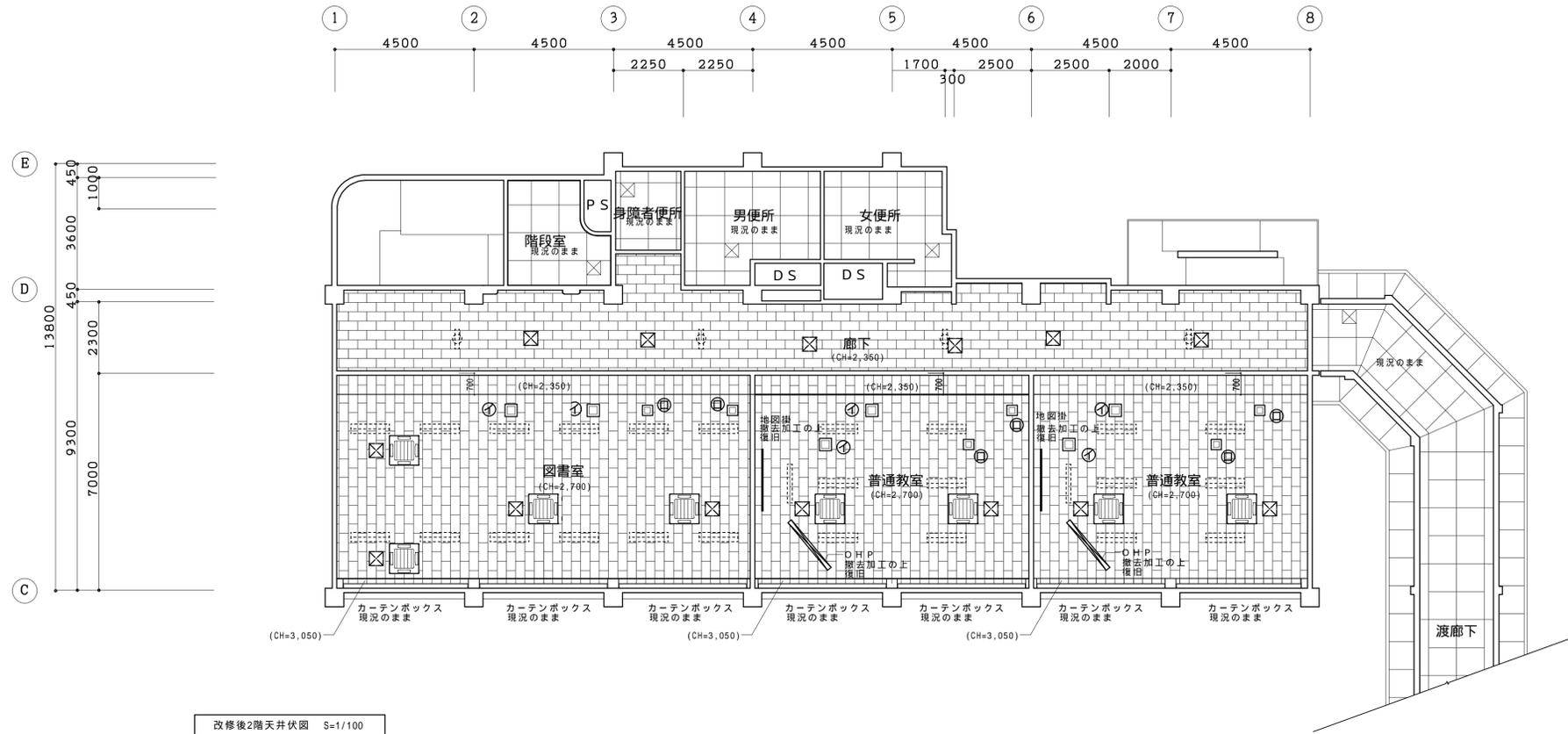
ロックウール化粧吸音板 F) 9mm	
捨て貼り吸音石膏ボード F) 9.5mm 軽天下地	
化粧石膏ボード F) 9.5mm	
吸音用あななき石膏ボード F) 9mm 1部現況のままとする (ボ・ダ・石膏ボ・ド F) 9mm目スかし)  =撤去張替部分	EP EP
吸音テックス貼 F) 9mm	
天井点検口 450角	
カーテンボックス	
オーバーヘッドスクリーン	

OKANO ARCHITECTS OFFICE  
 一級建築士事務所  
 有限会社 岡野設計事務所  
 福岡県行橋市北東五丁目12番6号  
 一級建築士 第114155号  
 横尾 真治  
 TEL 0930-23-0412

DRAWN BY  
 CHECKED BY

工事名称 泉小学校空調整備工事  
 工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号  
 図面名称 新館校舎 改修後 1階天井伏図

DATE  
 SCALE S=1:100  
 DRAWING NO. A-43



改修後2階天井伏図 S=1/100

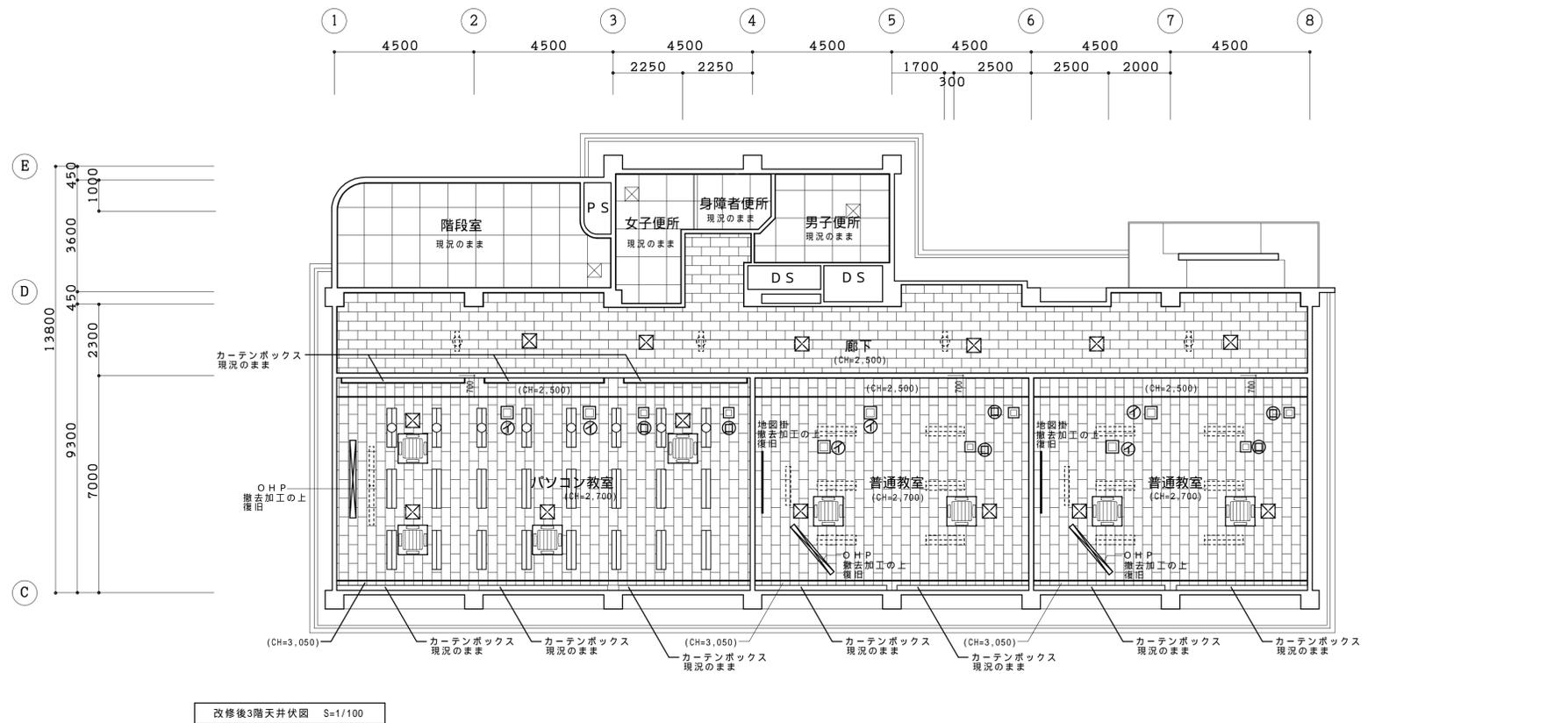
ロックウール化粧吸音板 7) 9mm	
捨て貼り吸音石膏ボ - ド 7) 9.5mm 軽天地下	
化粧石膏ボ - ド 7) 9.5mm	
吸音用あなき石膏ボ - ド 7) 9.5mm 1部現況のままとする (ボ - ダ - 石膏ボ - ド 7) 9.5mm目スカシ)  = 撤去張替部分	EP EP
吸音テックス貼 7) 9mm	
天井点検口 450角	
カーテンボックス	
オーバーヘッドスクリーン	

天井開口寸法

名称	開口寸法 (mm)
天井カセット形エアコン	910 × 910
給排気グリル ①	390 × 390
給排気グリル ②	310 × 310
点検口	450 × 450

特記事項

廊下部分工事は学校の授業の無い日に工事する事。  
 工事期間中、生徒、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。  
 仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定する事。  
 廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。  
 改修後天井高さは、標準高さH=2,700とする、それ以外の部屋は、CH寸法の記入高さとする。  
 廊下部分、天井高さは現況のままとする。



改修後3階天井伏図 S=1/100

ロックウール化粧吸音板 7) 9mm	
捨て貼り吸音石膏ボ - ド 7) 9.5mm 軽天地下	
化粧石膏ボ - ド 7) 9.5mm	
吸音用あなき石膏ボ - ド 7) 9.5mm 1部現況のままとする (ボ - ダ - 石膏ボ - ド 7) 9.5mm目スカシ)  = 撤去張替部分	EP EP
吸音テックス貼 7) 9mm	
天井点検口 450角	
カーテンボックス	
オーバーヘッドスクリーン	
地図掛	

天井開口寸法

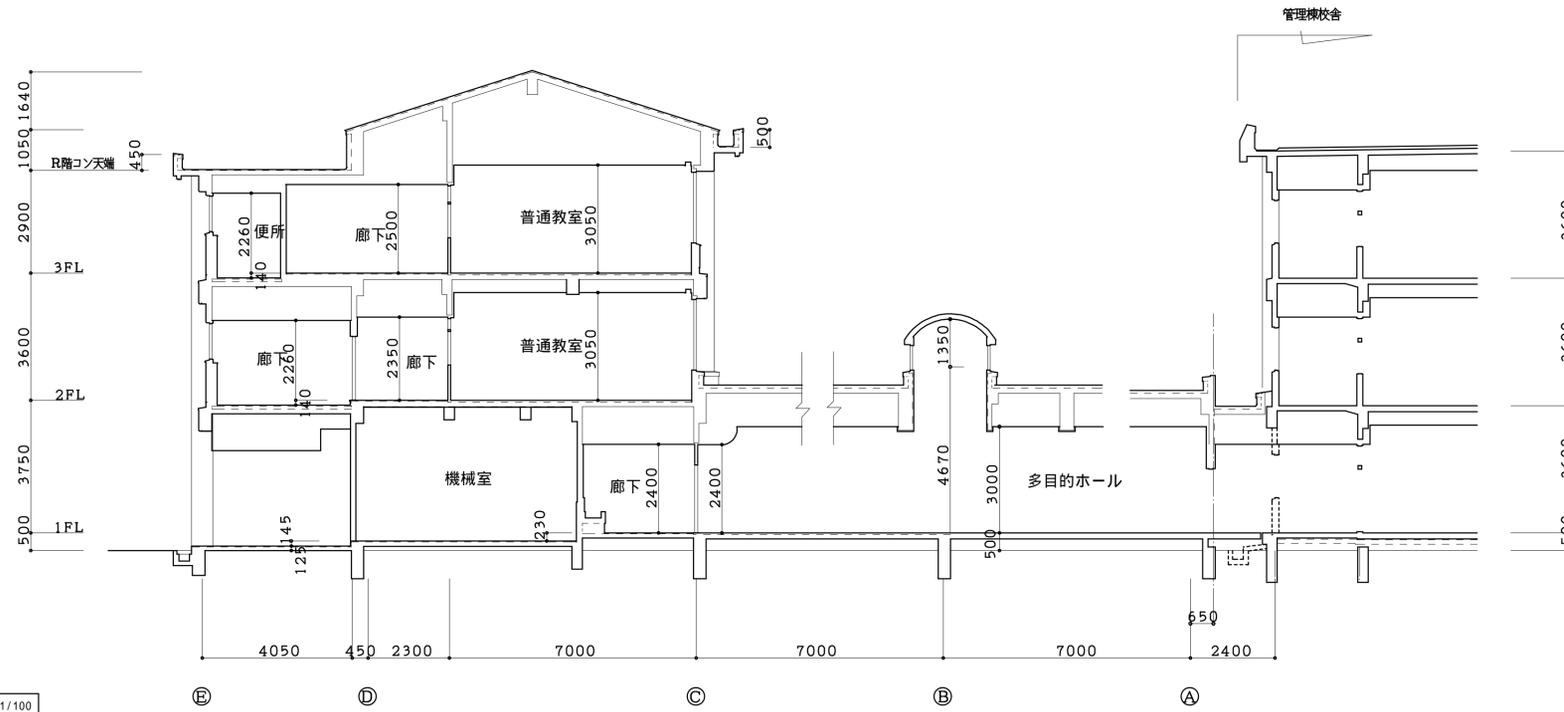
名称	開口寸法 (mm)
天井カセット形エアコン	910 × 910
給排気グリル ①	390 × 390
給排気グリル ②	310 × 310
点検口	450 × 450
コンピューター室電灯開口補強	220 × 1235

特記事項

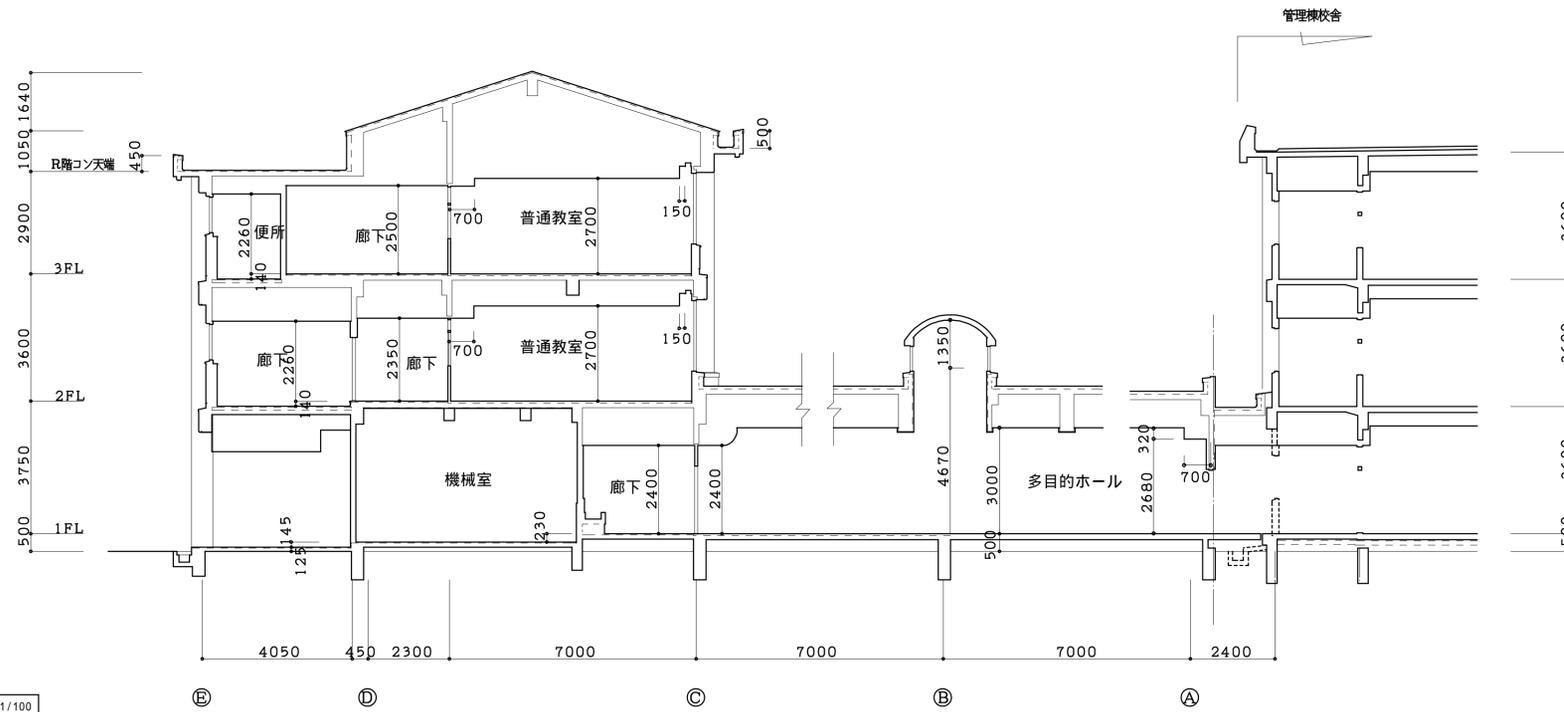
廊下部分工事は学校の授業の無い日に工事する事。  
 工事期間中、生徒、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。  
 仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定する事。  
 廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。  
 改修後天井高さは、標準高さH=2,700とする、それ以外の部屋は、CH寸法の記入高さとする。  
 廊下部分、天井高さは現況のままとする。

OKANO ARCHITECTS OFFICE  
 一級建築士事務所  
 有限会社 岡野設計事務所  
 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号  
 一級建築士 第114155号  
 横尾 真治  
 TEL 0930-23-0412

DRAWN BY	工事名称 泉小学校空調整備工事	DATE	DRAWING NO.
CHECKED BY	工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号	SCALE	A-44
	図面名称 新館校舎 改修後 2,3階天井伏図	S=1/100	



改修前4通り断面図 S=1/100



改修後4通り断面図 S=1/100

OKANO ARCHITECTS OFFICE  
 一級建築士事務所  
 有限会社 岡野設計事務所  
 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号  
 一級建築士 第114155号  
 磯 経 真 治  
 TEL 0930-23-0412

DRAWN BY

工事名称 泉小学校空調整備工事

DATE

DRAWING NO.

CHECKED BY

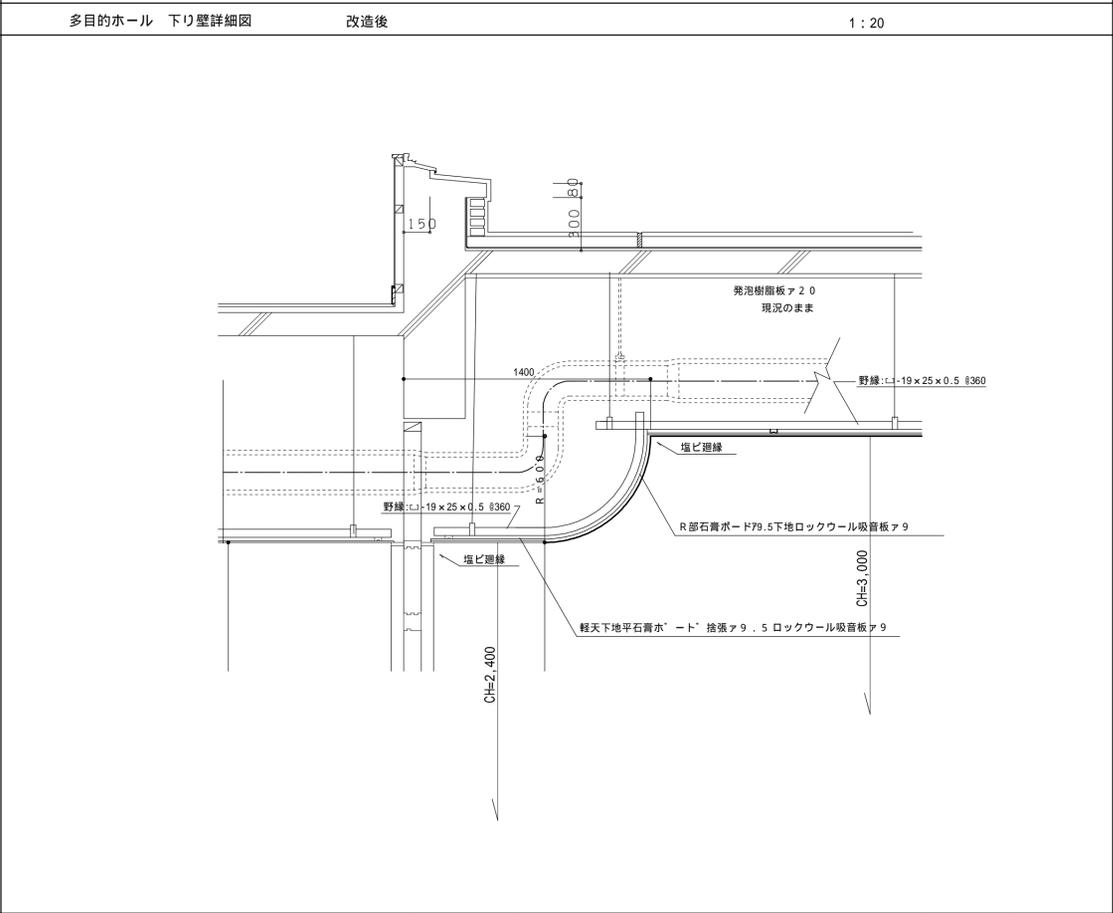
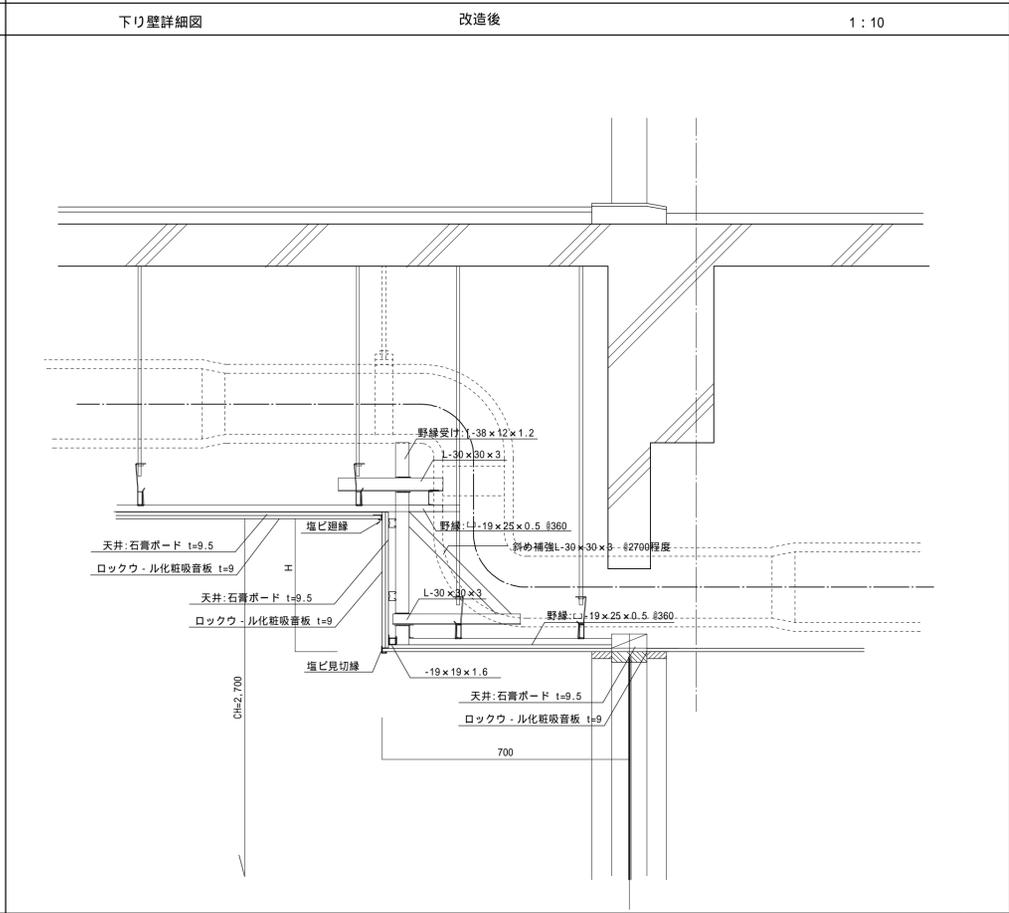
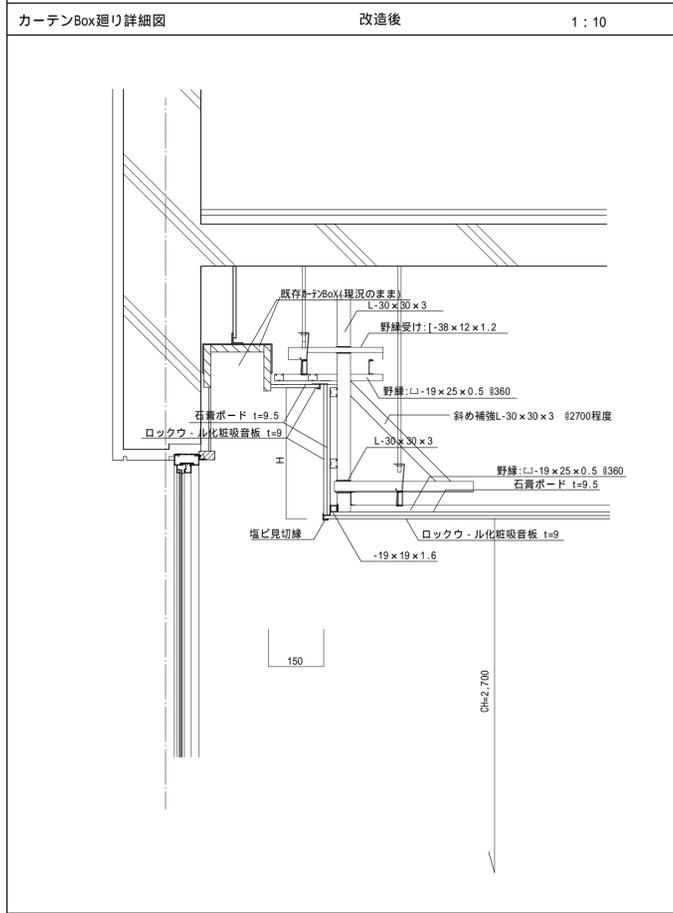
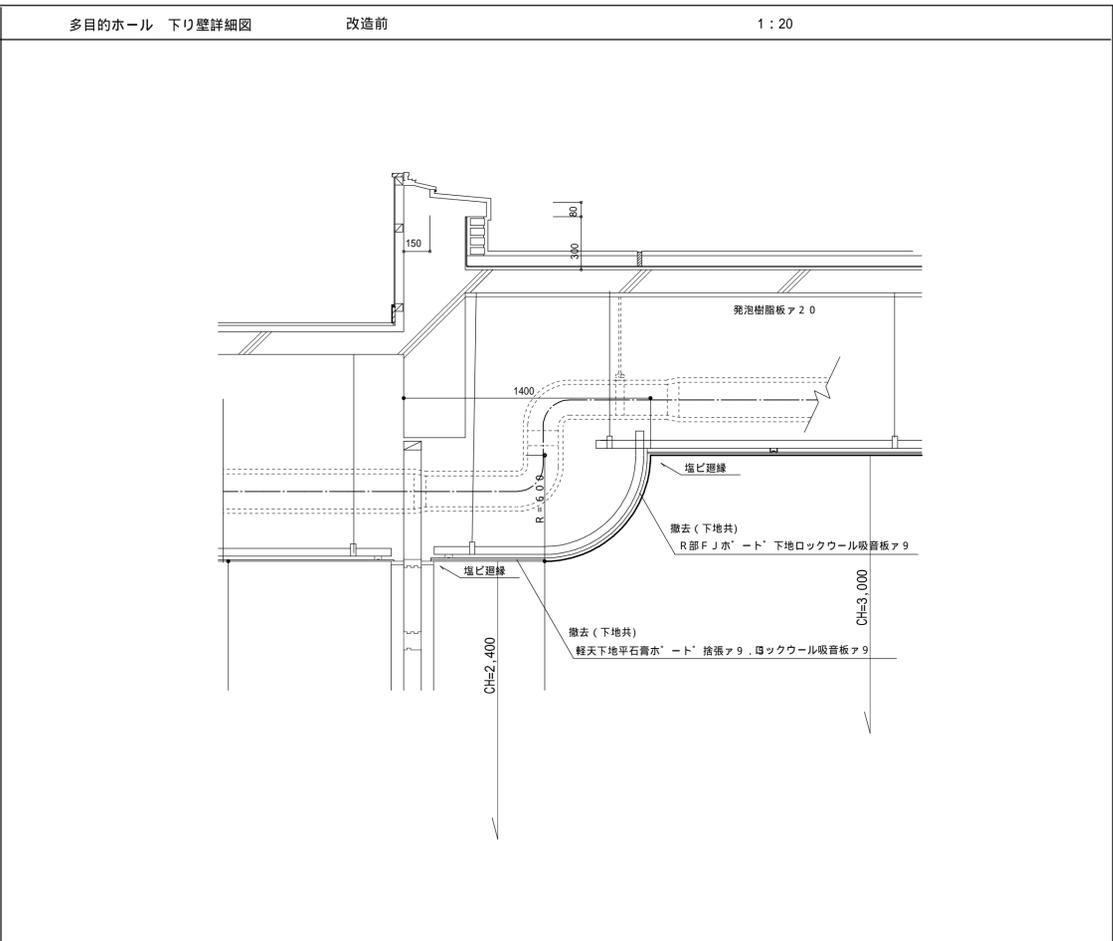
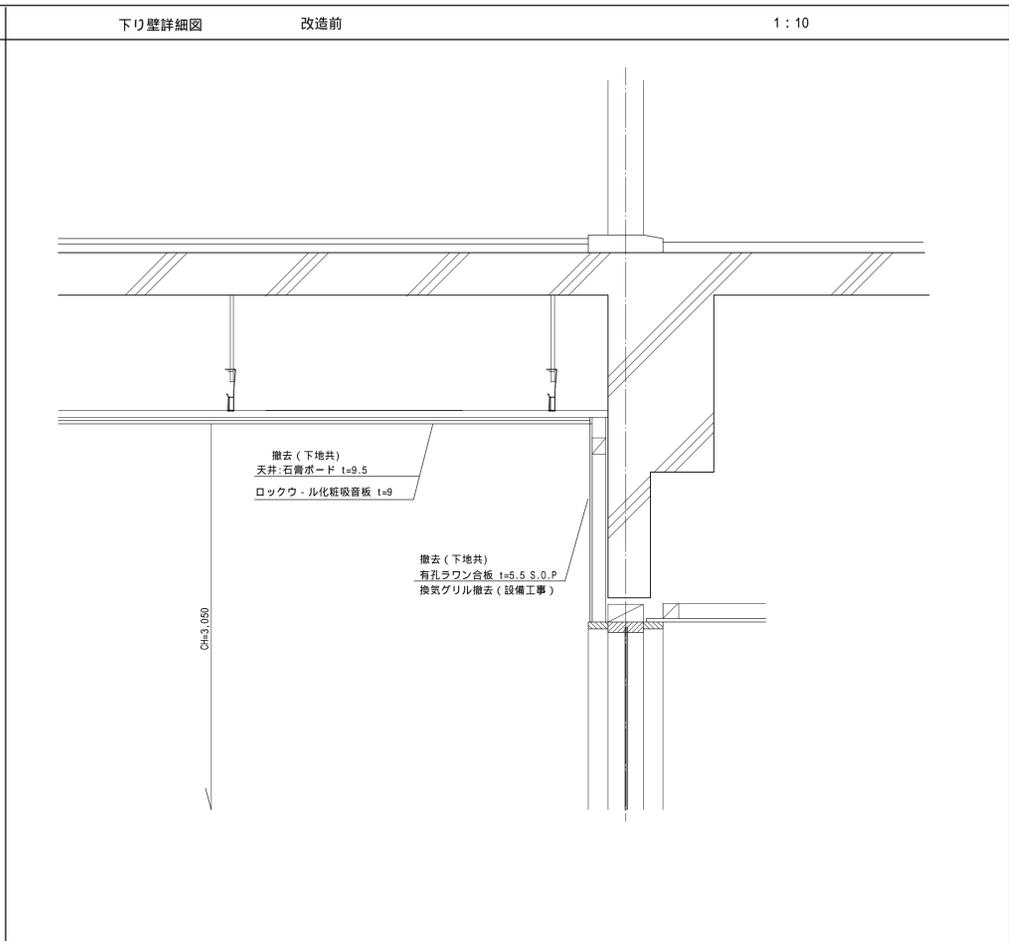
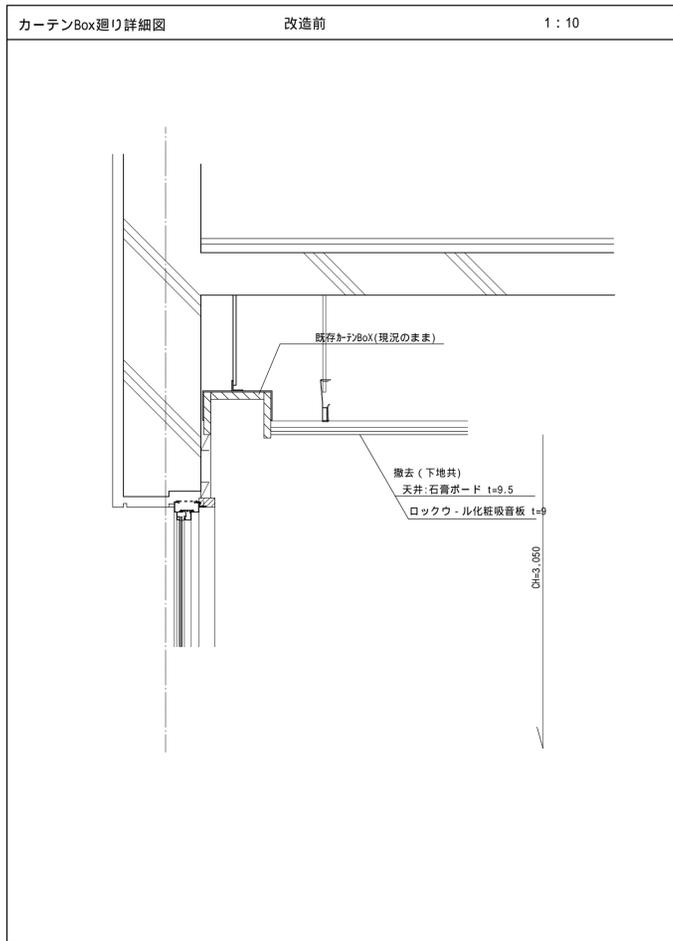
工事場所 福岡県行橋市中央4丁目1番1号

SCALE

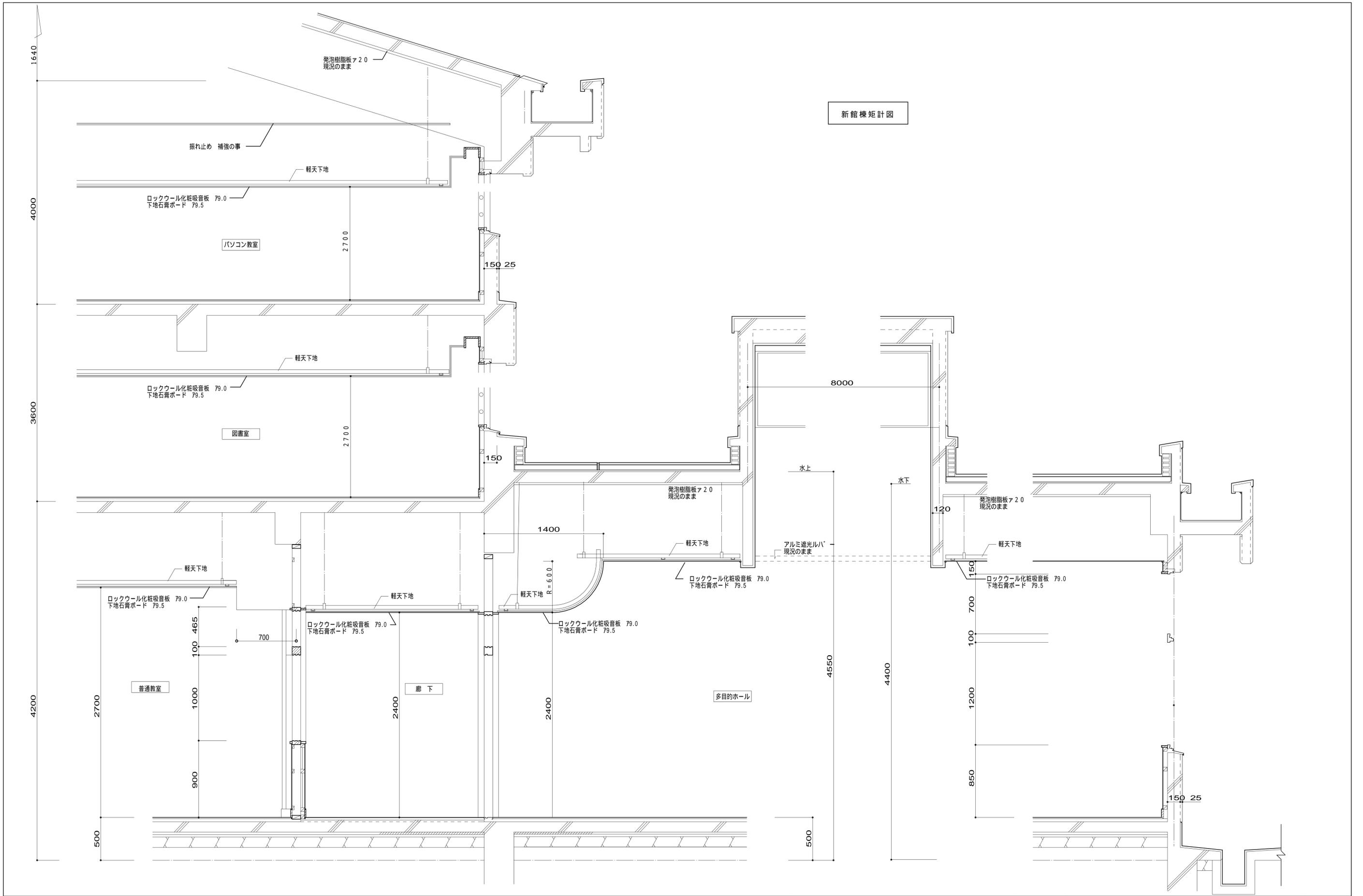
A-45

図面名称 新館棟校舎 改修前後 断面図

S=1:100

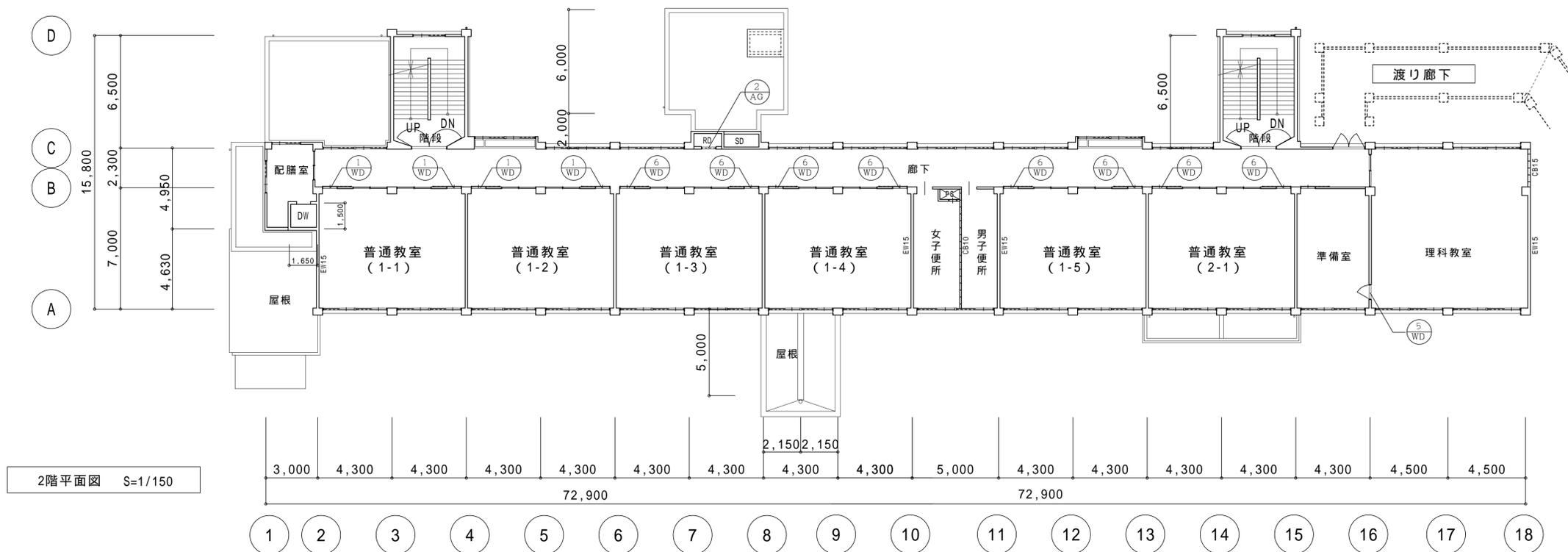
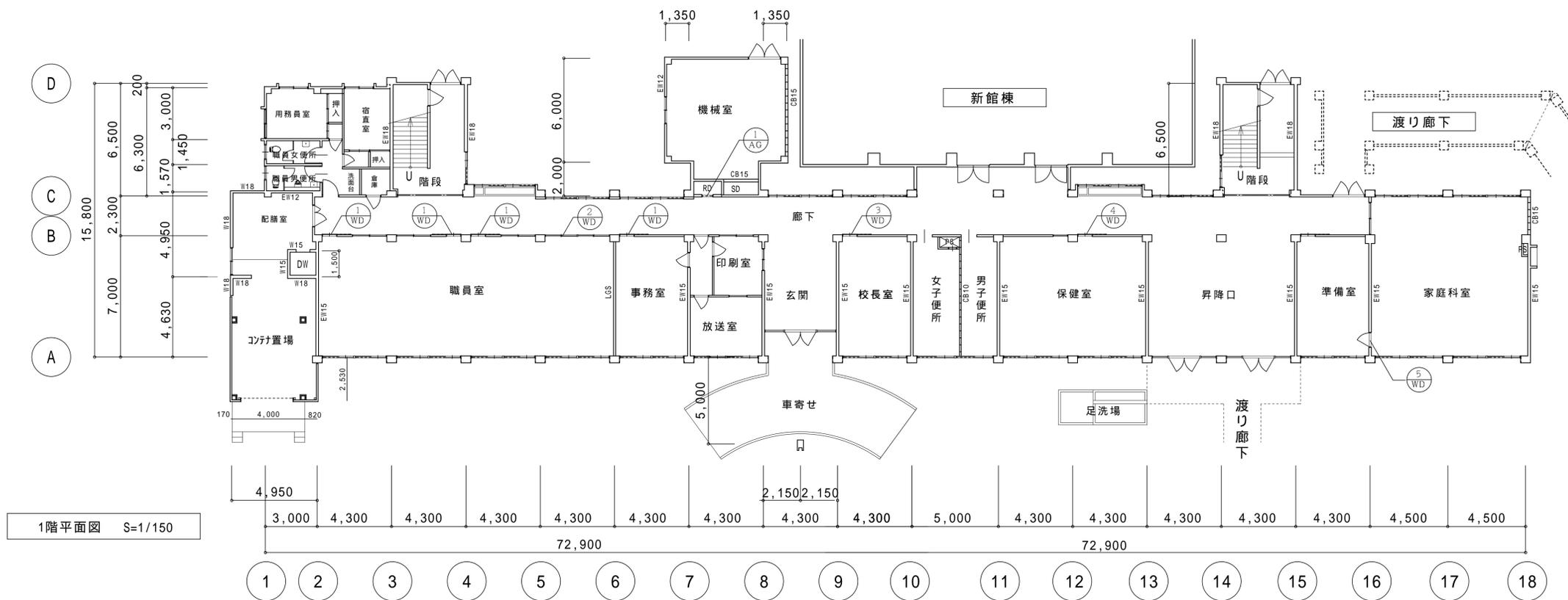
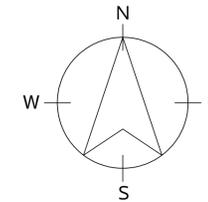




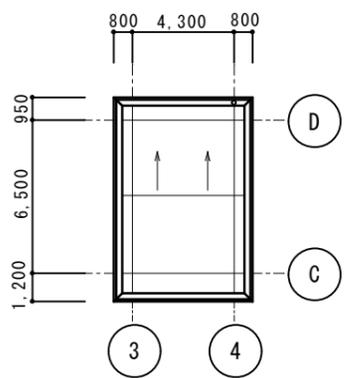
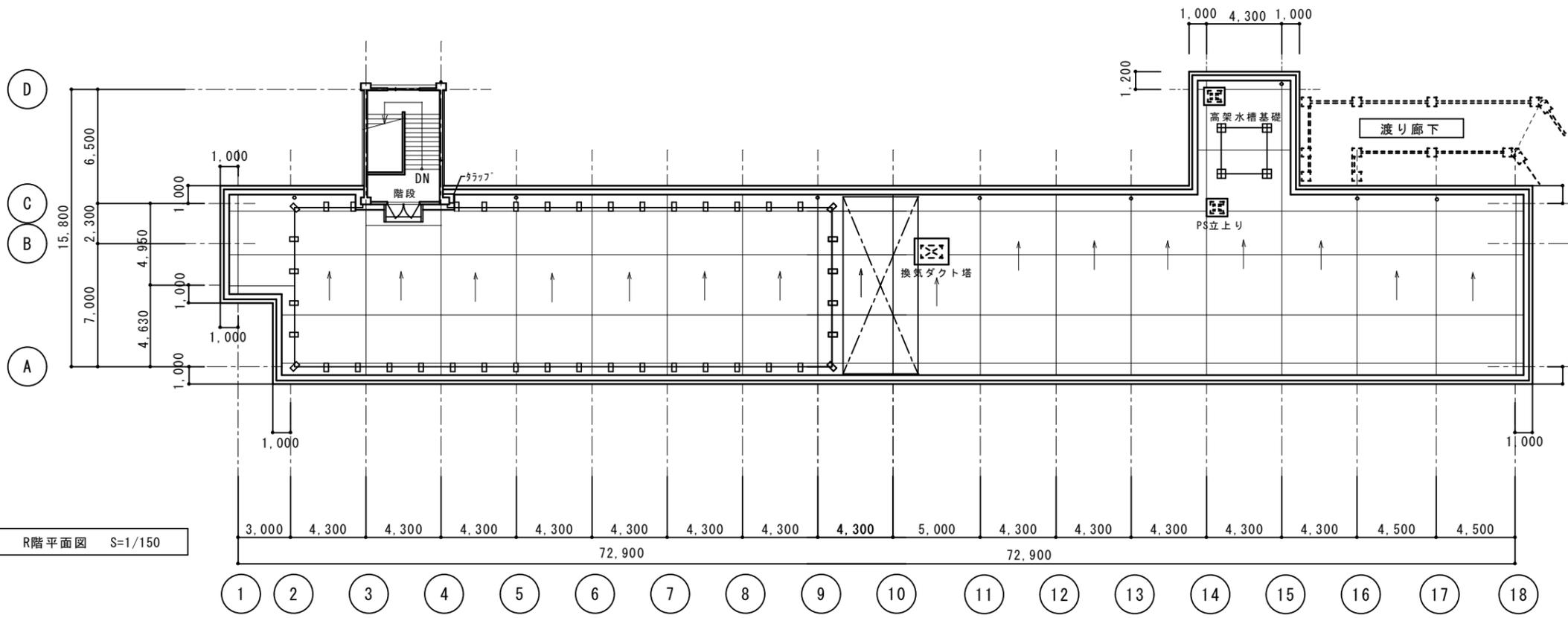
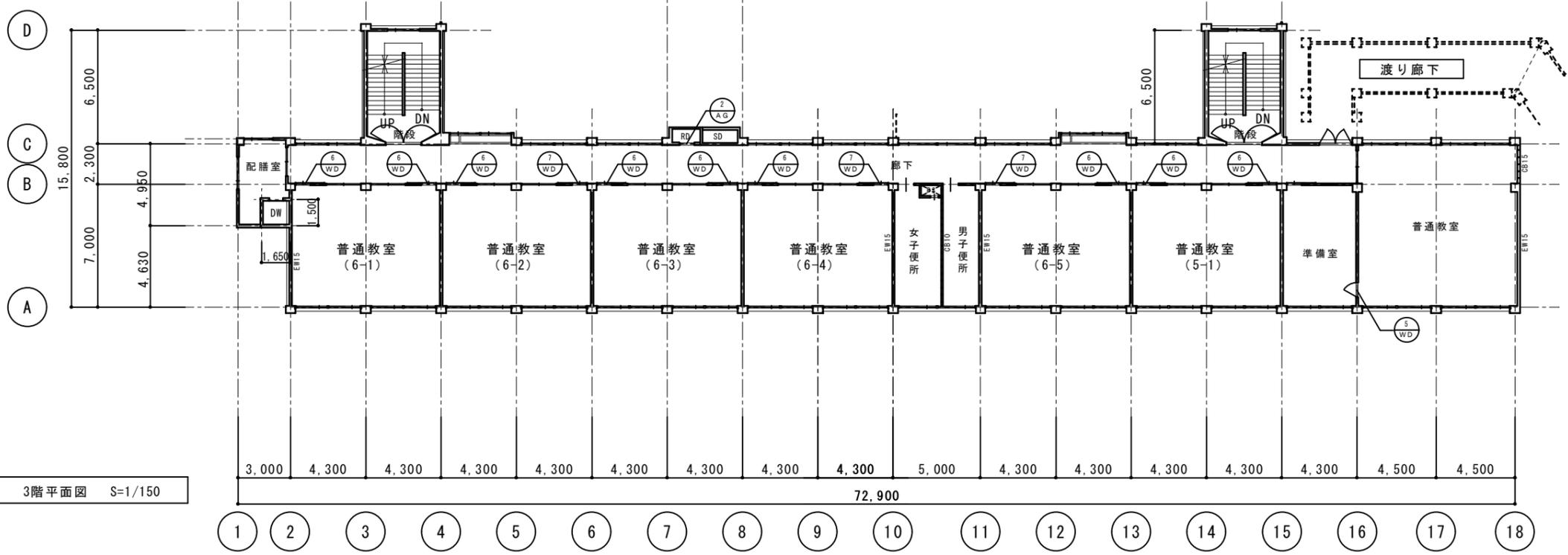
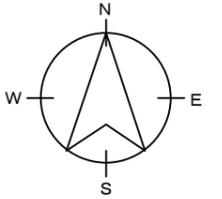


新館棟矩計図

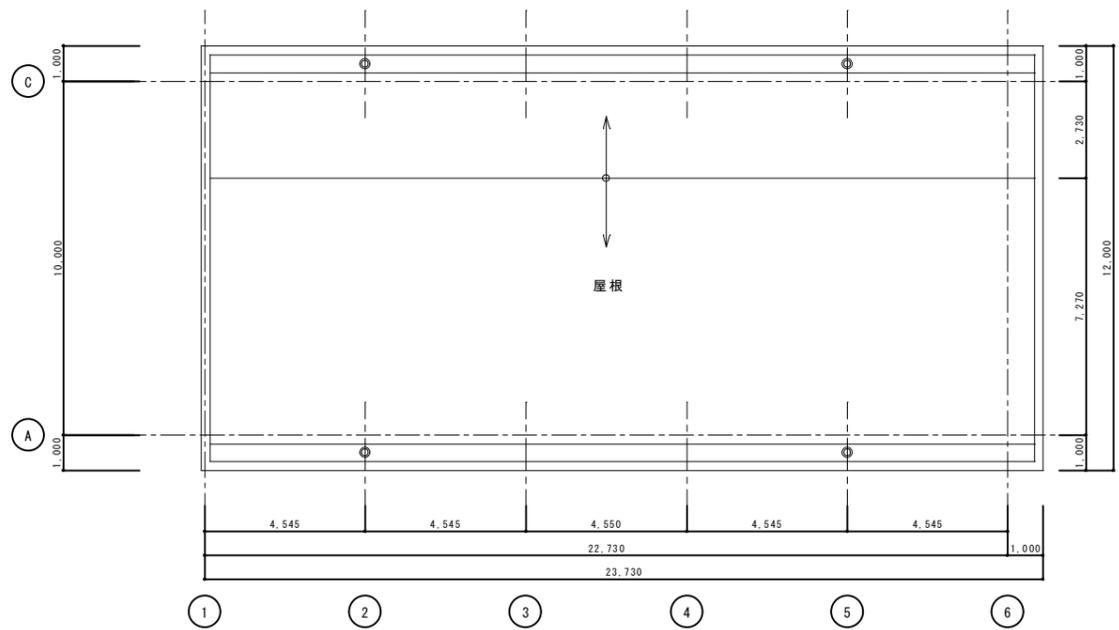
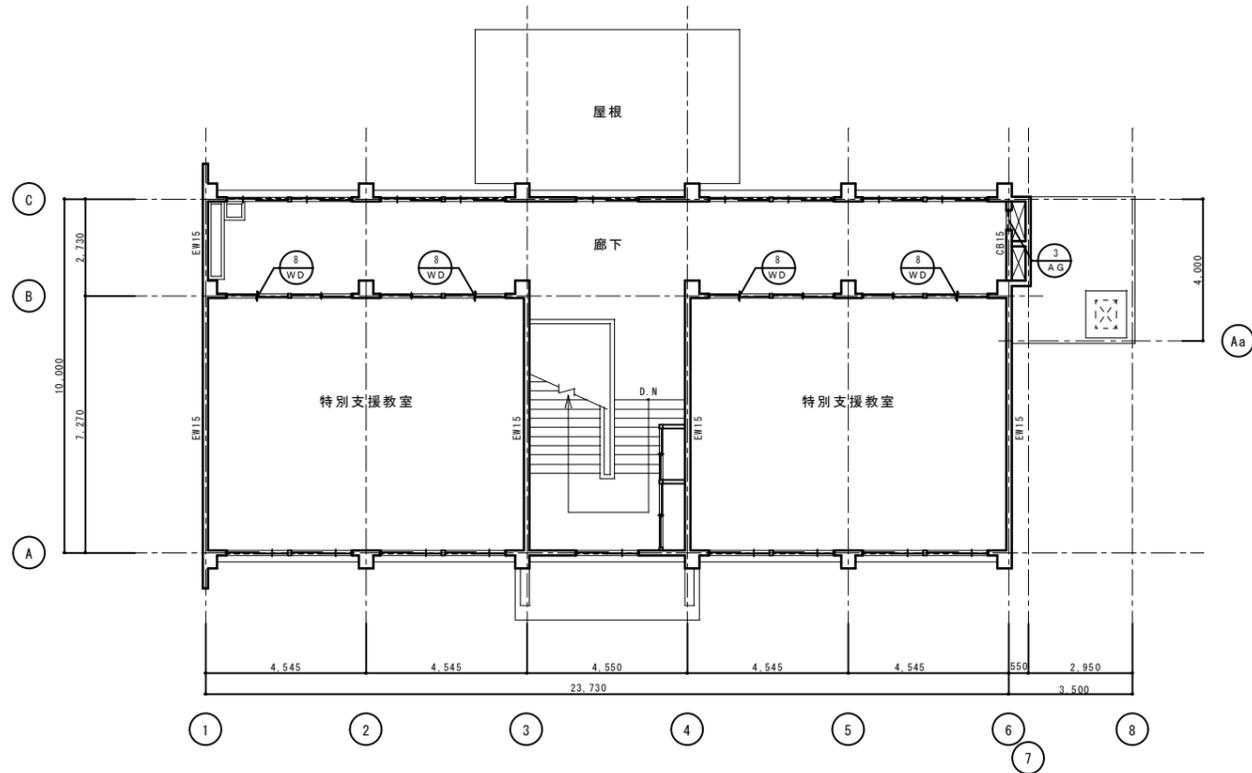
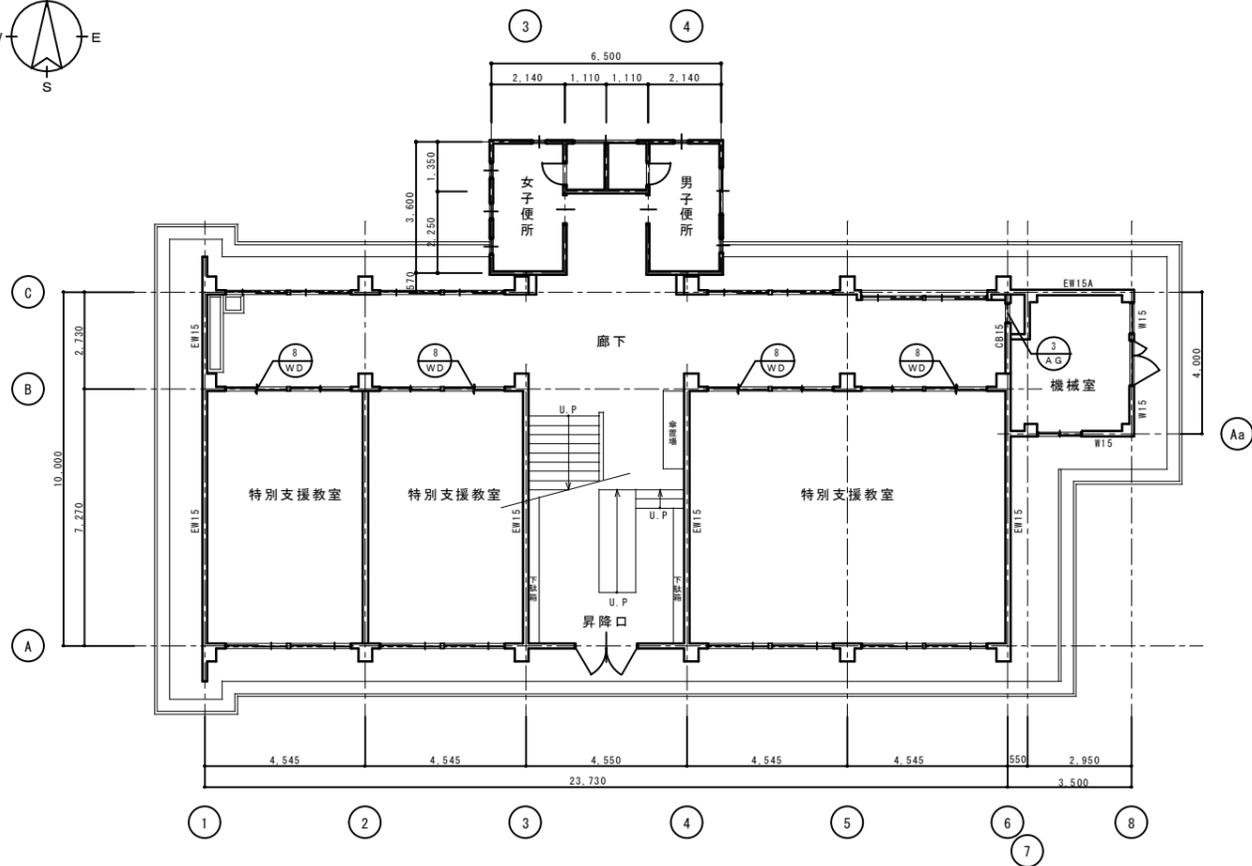
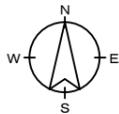
OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号	一級建築士 第114155号 磯 経 真 治 TEL 0930-23-0412	DRAWN BY 工務名称 泉小学校空調整備工事	DATE	DRAWING NO. A-48
		CHECKED BY 工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号 図面名称 新館棟校舎 改修後 矩計図	SCALE S=1:20	



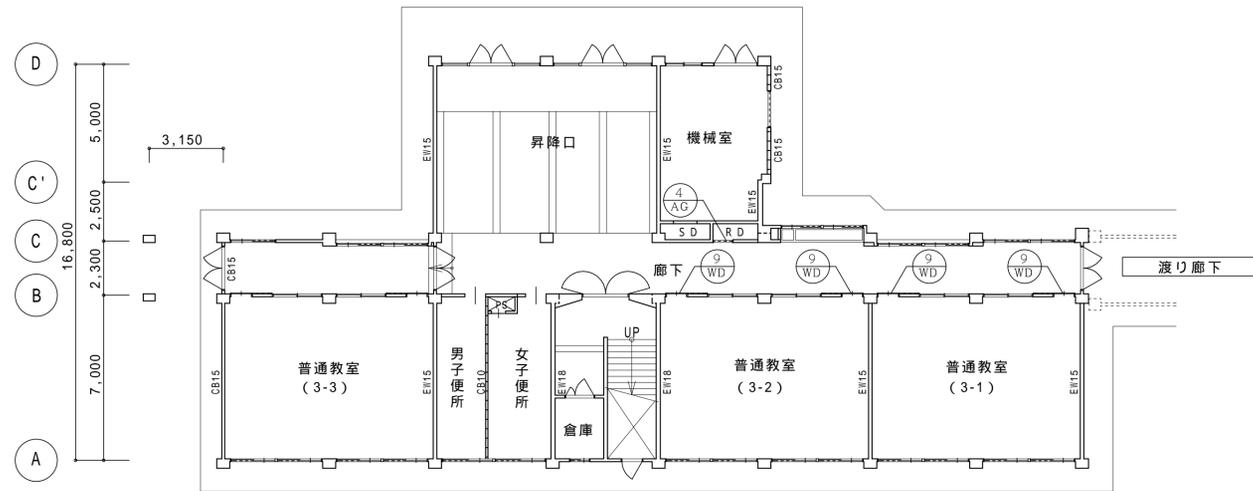
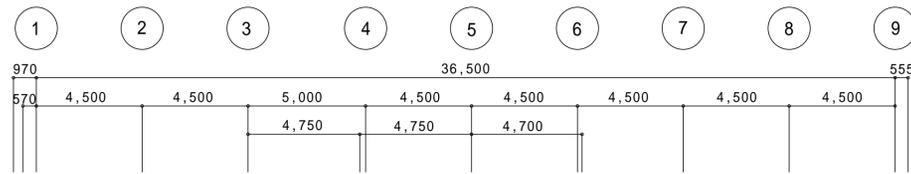
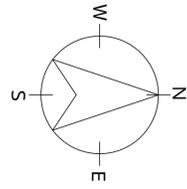
OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号	一級建築士 栗 114155号 磯 経 真 治 TEL 0930-23-0412	DRAWN BY 工事名称 泉小学校空調整備工事	DATE 2024.08.15	DRAWING NO. A-49
		CHECKED BY 工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号	SCALE S=1:150	
		図面名称 管理棟校舎 1、2階建具配置図		



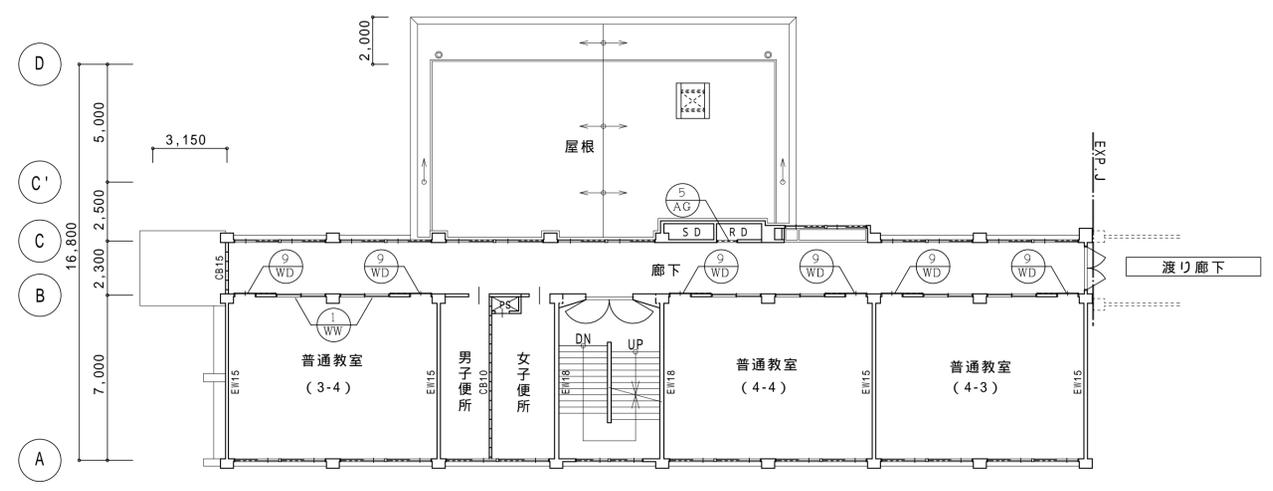
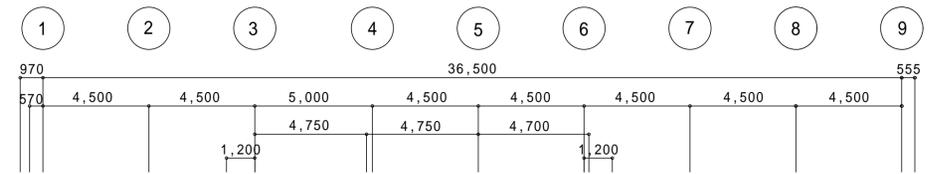
OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北東五丁目12番6号	一級建築士 岡野 真治 TEL 0930-23-0412	DRAWN BY:	工事名称: 小学校空調整備工事	DATE:	DRAWING NO.:
		CHECKED BY:	工事場所: 福岡県行橋市中央4丁目1番1号	SCALE:	A-50
		図面名称:	管理棟校舎 3階建具配置図	S=1/150	



1 2 3 4 5 6 7 8	OKANO ARCHITECTS OFFICE	DRAWN BY	工事名称	泉小学校空調整備工事	DATE	DRAWING NO.
	一級建築士事務所		工事場所	福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号		A-51
	有限 岡野設計事務所	CHECKED BY	図面名称	北棟校舎 1.2階建具配置図	SCALE	
	福岡県行橋市北泉五丁目12番6号				S=1:100	



1階平面図 S=1/150

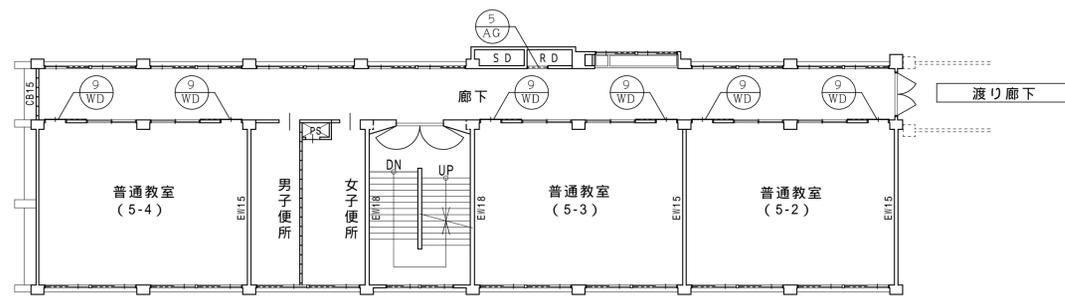
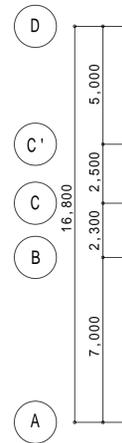
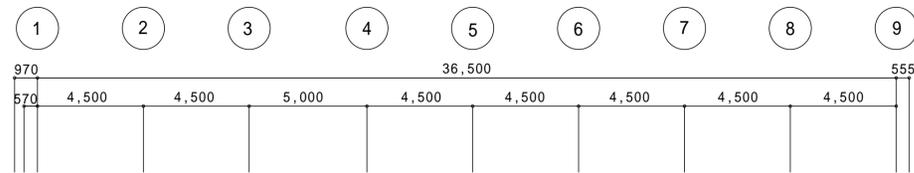
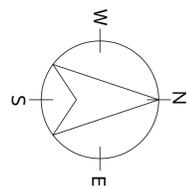


2階平面図 S=1/150

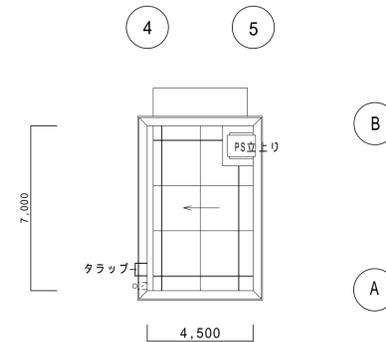
OKANO ARCHITECTS OFFICE  
 一級建築士事務所  
 有限会社 岡野設計事務所  
 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号  
 一級建築士 第114155号  
 磯 経 真 治  
 TEL 0930-23-0412

DRAWN BY 工事名称 泉小学校空調整備工事  
 工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号  
 CHECKED BY 図面名称 東棟校舎 1,2階建具配置図

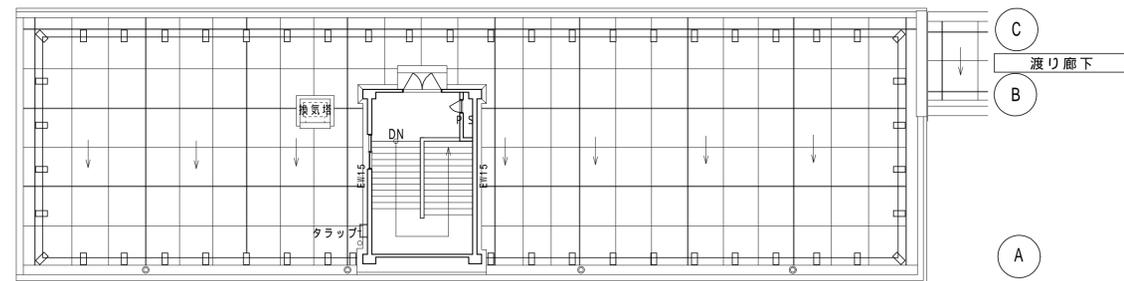
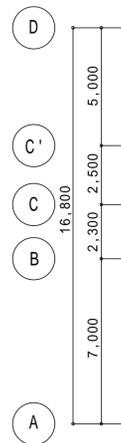
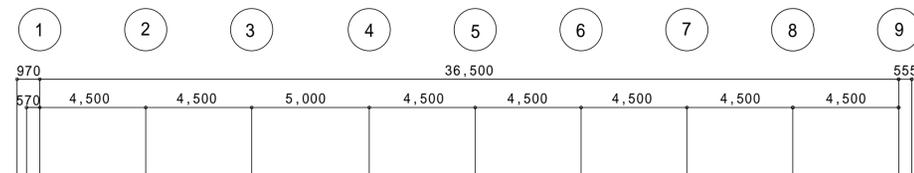
DATE  
 SCALE S=1:150  
 DRAWING NO. A-52



3階平面図 S=1/150



PHR階平面図 S=1/150

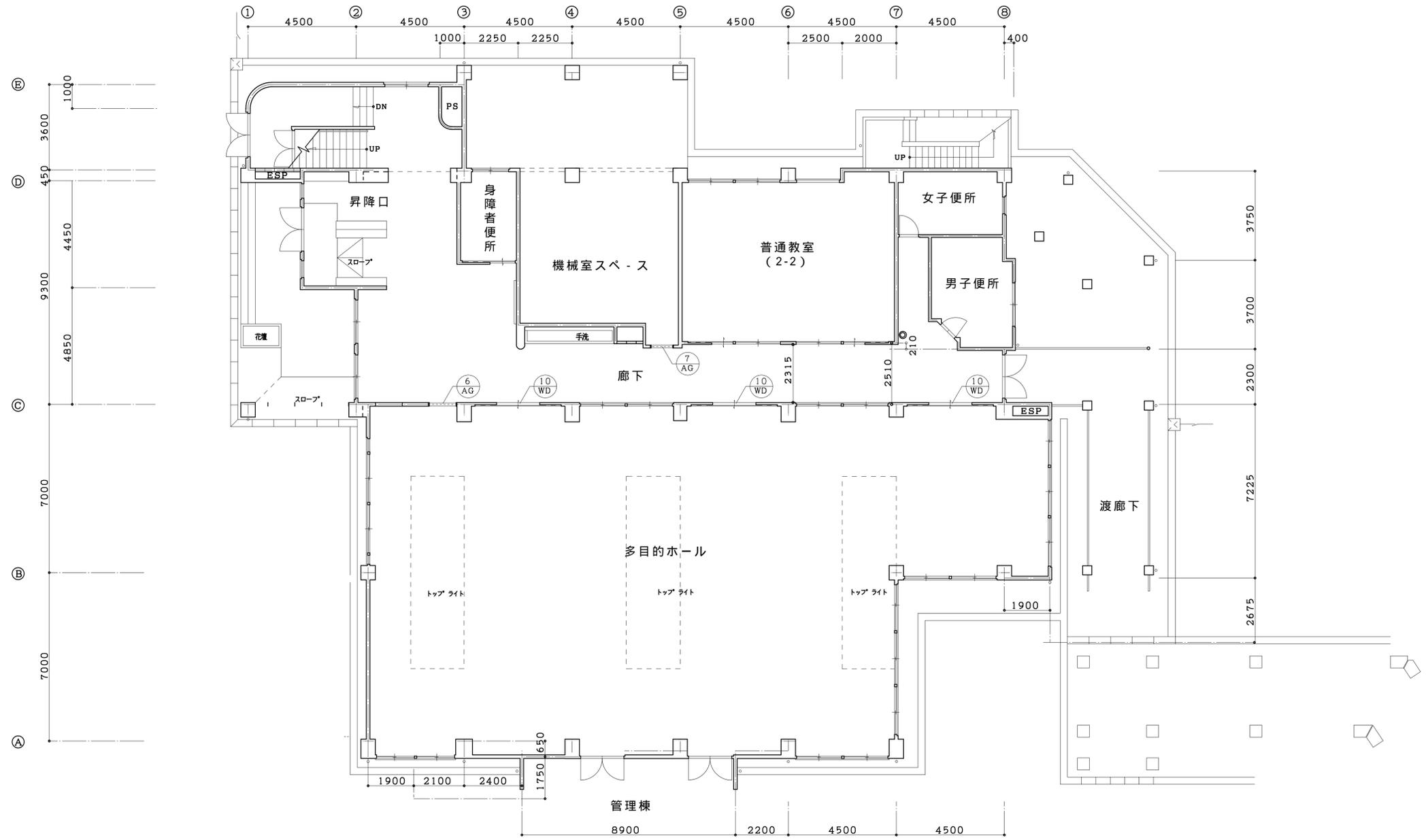


R階平面図 S=1/150

OKANO ARCHITECTS OFFICE  
 一級建築士事務所  
 有限会社 岡野設計事務所  
 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号  
 一級建築士 栗 114155号  
 職 経 真 治  
 TEL 0930-23-0412

DRAIN BY 工事名称 泉小学校空調整備工事  
 工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号  
 CHECKED BY 図面名称 東棟校舎 3階建具配置図

DATE  
 SCALE S=1:150  
 DRAWING NO. A-53

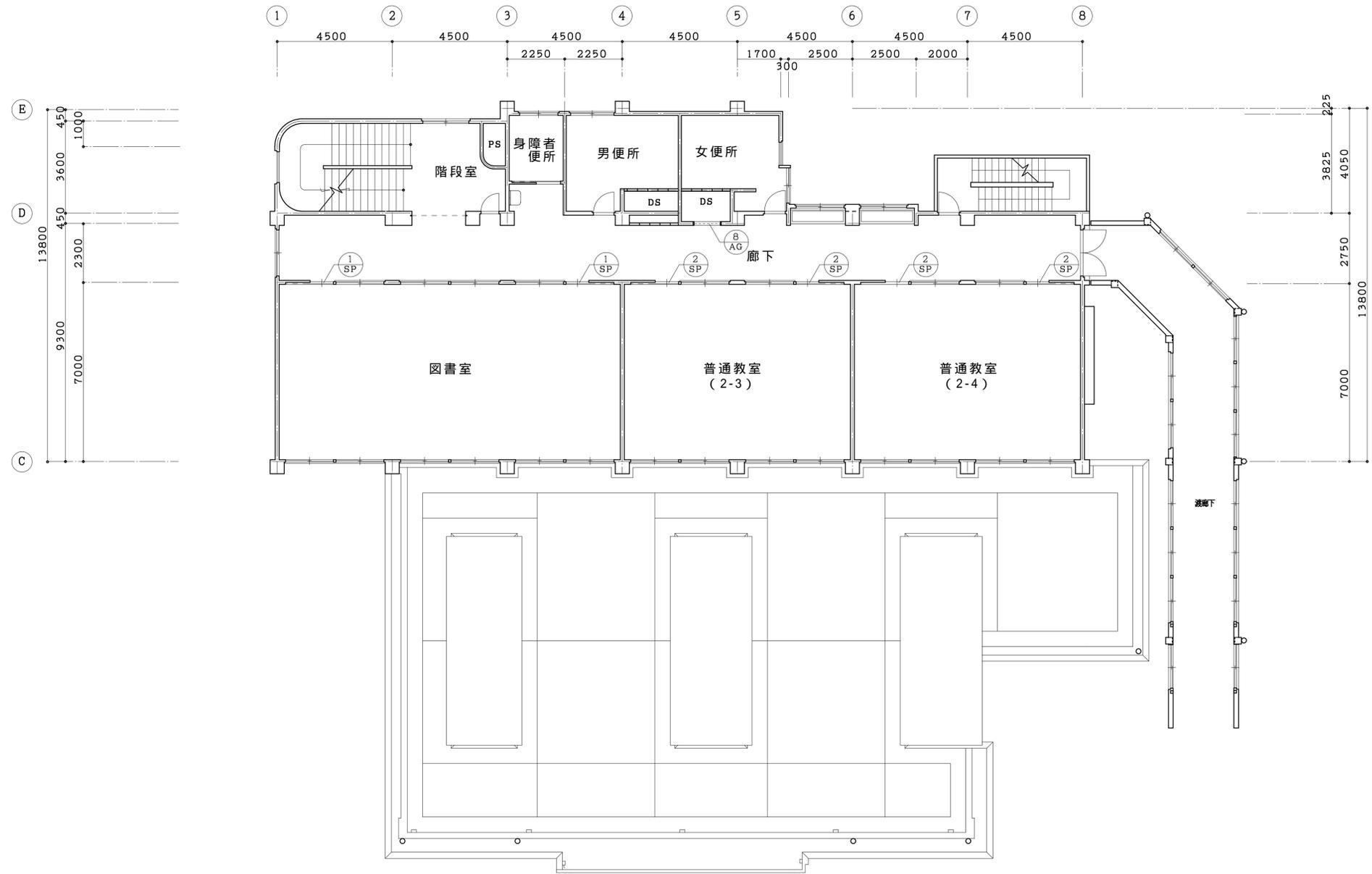


OKANO ARCHITECTS OFFICE  
 一級建築士事務所  
 有限会社 岡野設計事務所  
 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号  
 一級建築士 第114155号  
 磯 経 真 治  
 TEL 0930-23-0412

DRAWN BY  
 CHECKED BY

工事名称 泉小学校空調整備工事  
 工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号  
 図面名称 新館棟校舎 1階建具配置図

DATE  
 SCALE S=1:100  
 DRAWING NO. A-54



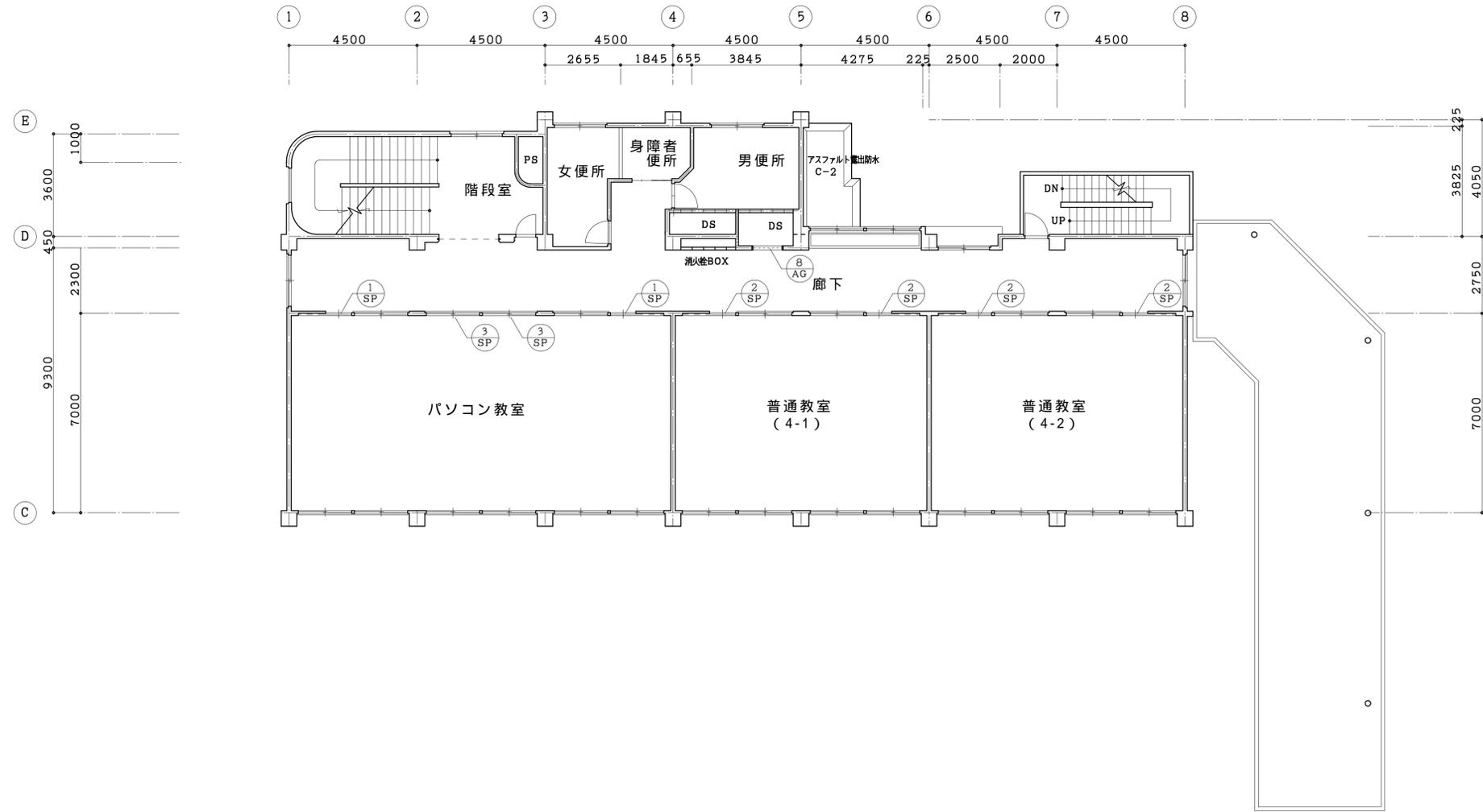
OKANO ARCHITECTS OFFICE  
 一級建築士事務所  
 有限会社 岡野設計事務所  
 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号  
 一級建築士 第114155号  
 磯 経 真 治  
 TEL 0930-23-0412

DRAWN BY  
 CHECKED BY

工事名称 泉小学校空調整備工事  
 工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号  
 図面名称 新館棟校舎 2階建具配置図

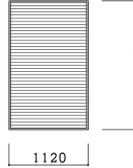
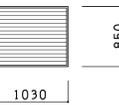
DATE  
 SCALE  
 S=1:100

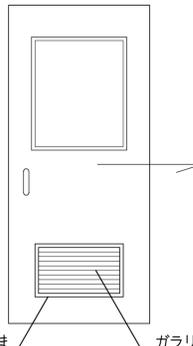
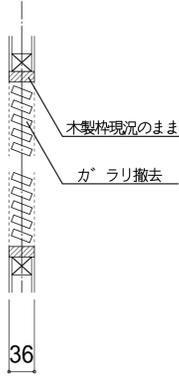
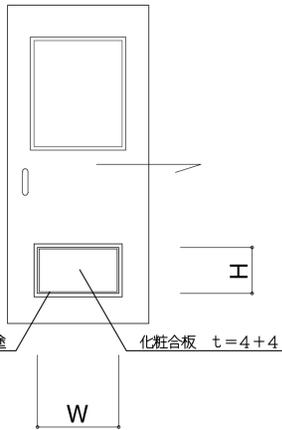
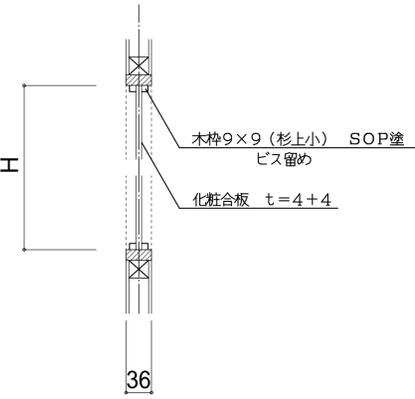
DRAWING NO.  
 A-55



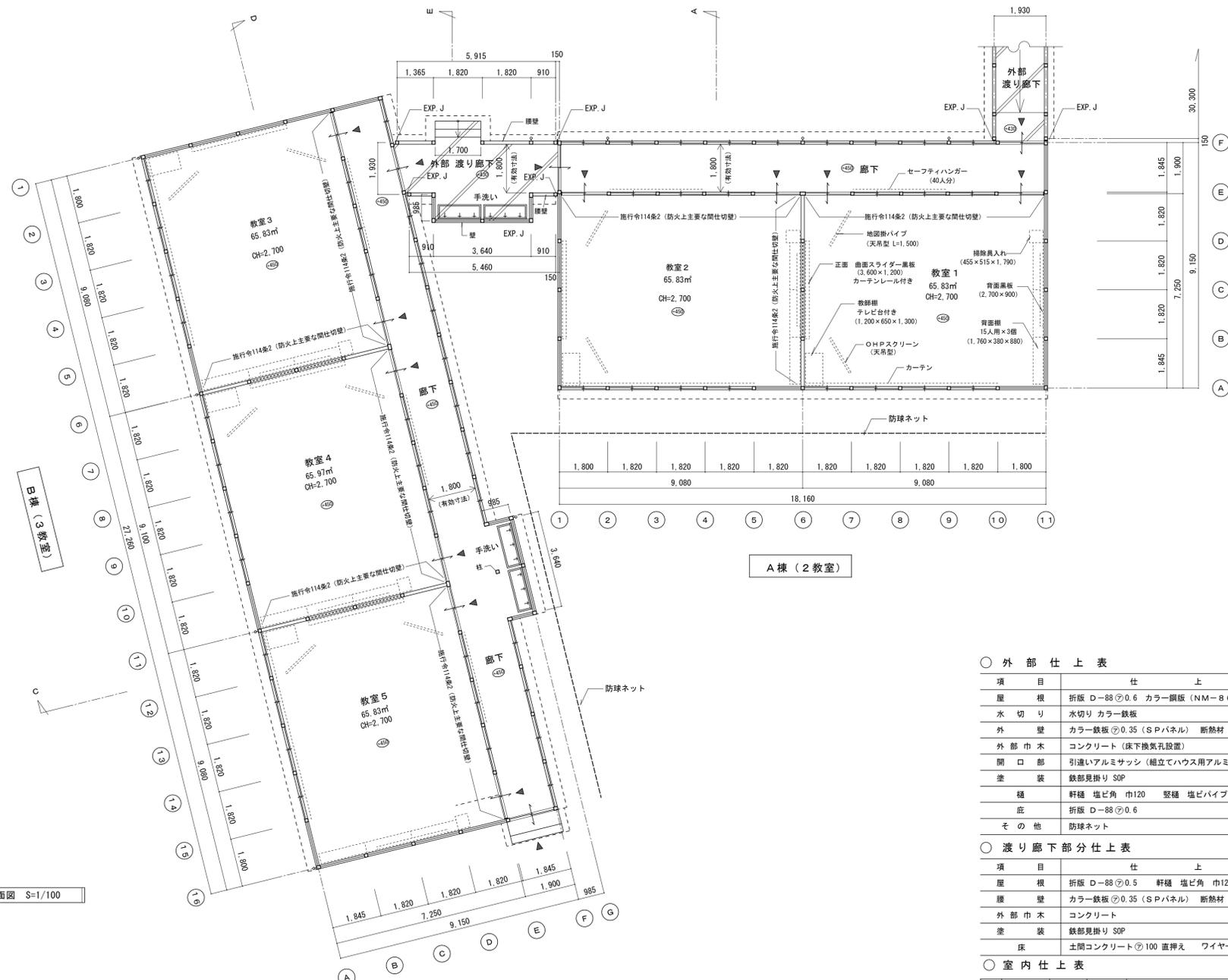
OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号	一級建築士 第114155号 磯 経 真 治 TEL 0930-23-0412	DRAIN BY 工事名称 泉小学校空調整備工事	DATE	DRAWING NO. A-56
		CHECKED BY 工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号	SCALE	
		図面名称 新館棟校舎 3階建具配置図	S=1:100	

記号	① WD	② WD	③ WD	④ WD	⑤ WD	⑥ WD				
姿図										
種別・場所	木製片引きフラッシュドア 管理棟	木製片違いフラッシュドア 管理棟	木製片引きフラッシュドア 管理棟	木製片引きフラッシュドア 管理棟	木製フラッシュ戸 管理棟	木製片引きフラッシュドア 管理棟				
箇所・個数	8ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	3ヶ所	17ヶ所				
材料・見込										
硝子										
金物										
備考	既設ガラリ撤去 化粧合板二重貼t=4mm ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 化粧合板二重貼t=4mm ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 化粧合板二重貼t=4mm ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 化粧合板二重貼t=4mm ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 化粧合板二重貼t=4mm ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 化粧合板二重貼t=4mm ※別紙図面参照				
記号	⑦ WD	⑧ WD	⑨ WD	⑩ WD	① WW	① SP				
姿図										
種別・場所	木製片引きフラッシュドア 管理棟	木製引違いフラッシュドア 北棟	木製片引きフラッシュドア 東棟	木製両開きフラッシュドア 新館棟	木製片違い窓 東棟	鋼製片引きフラッシュドア 新館棟				
箇所・個数	3ヶ所	8ヶ所	16ヶ所	3ヶ所	2ヶ所	4ヶ所				
材料・見込	ポリ合板									
硝子	型板ガラス 4				型板ガラス 4					
金物	金物一式				金物一式					
備考	建具新設	既設ガラリ撤去 化粧合板二重貼t=4mm ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 化粧合板二重貼t=4mm ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 化粧合板二重貼t=4mm ※別紙図面参照	建具新設	既設ガラリ現況のまま 焼付鋼板貼t=4mm 4方アルミ見切り				
記号	② SP	③ SP	① AG	② AG	③ AG	④ AG				
姿図										
種別・場所	鋼製片引きフラッシュドア 新館棟	SPガラリ 新館棟	リターンガラリ 管理棟	リターンガラリ 管理棟	リターンガラリ 北棟	リターンガラリ 東棟				
箇所・個数	8ヶ所	2ヶ所	1ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	1ヶ所				
材料・見込										
硝子										
金物			金物一式	金物一式	金物一式	金物一式				
備考	既設ガラリ現況のまま 焼付鋼板貼t=4mm 4方アルミ見切り	既設ガラリ現況のまま 焼付鋼板貼t=4mm 4方アルミ見切り	既設ガラリ撤去 石膏ボード二重貼t=21mm EPG塗 ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 石膏ボード二重貼t=21mm EPG塗 ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 石膏ボード二重貼t=21mm EPG塗 ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 石膏ボード二重貼t=21mm EPG塗 ※別紙図面参照				
<small>(共通事項) アルミパネルの穴あけの径及び位置は、機械設備の施工図を確認の事。</small>				OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号		岡野設計事務所 一級建築士 第114155号 職経 真治 TEL 0930-23-0412		DRAWN BY 工事名称 泉小学校空調整備工事 工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号 図面名称 建具表(1)	DATE SCALE S=1:50	DRAWING NO. A-57

記号	5 AG	6 AG	7 AG	8 AG		
姿図						
種別・場所	リターンガラリ 東棟	リターンガラリ 新館棟	リターンガラリ 新館棟	リターンガラリ 新館棟		
箇所・個数	2ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	2ヶ所		
材料・見込						
硝子						
金物	金物一式	金物一式	金物一式	金物一式		
備考	既設ガラリ撤去 石膏ボード 二重貼 t=21mm EPG塗 ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 石膏ボード 二重貼 t=21mm EPG塗 ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 石膏ボード 二重貼 t=21mm EPG塗 ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 石膏ボード 二重貼 t=21mm EPG塗 ※別紙図面参照		

木製建具詳細図 改修前	木製建具詳細図 改修後
<p>姿図 1/20</p>  <p>断面図 1/5</p> 	<p>姿図 1/20</p>  <p>断面図 1/5</p> 





平面図 S=1/100

○ 外部仕上表

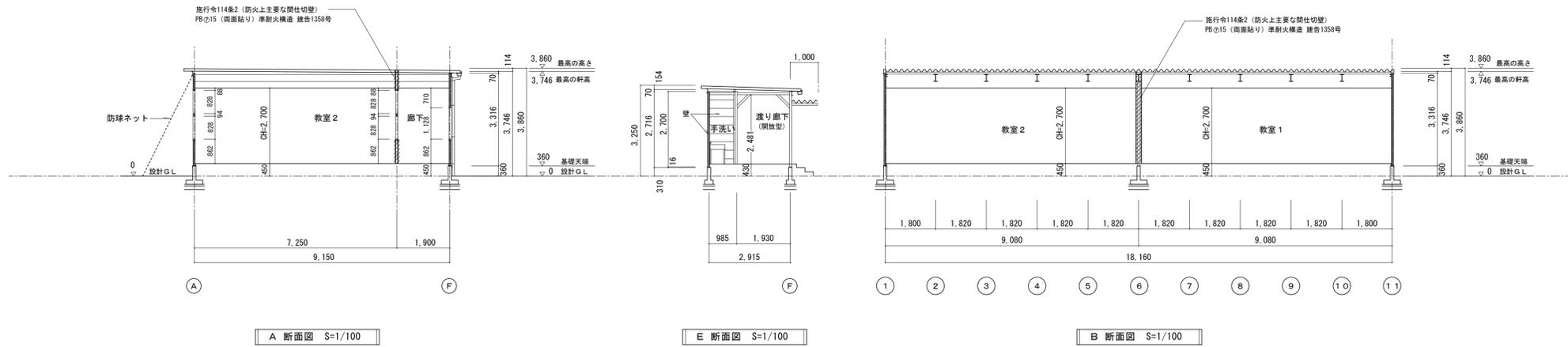
項目	仕上	仕様
屋根	折版 D-88 0.6 カラー鋼版 (NM-8697)	裏面ポリエチレンフォーム 4 貼り 軒裏 : 折版表し
水切り	水切り カラー鉄板	
外壁	カラー鉄板 0.35 (SPパネル) 断熱材 ポリウレタンフォーム 40	
外部巾木	コンクリート (床下換気孔設置)	
開口部	引違いアルミサッシ (組立てハウス用アルミサッシ) 強化ガラス t=4 網戸付き	
塗装	鉄部見掛け SOP	
柱	軒樋 塩ビ角 巾120 整樋 塩ビパイプ 75φ	
庇	折版 D-88 0.6	
その他	防球ネット	

○ 渡り廊下部分仕上表

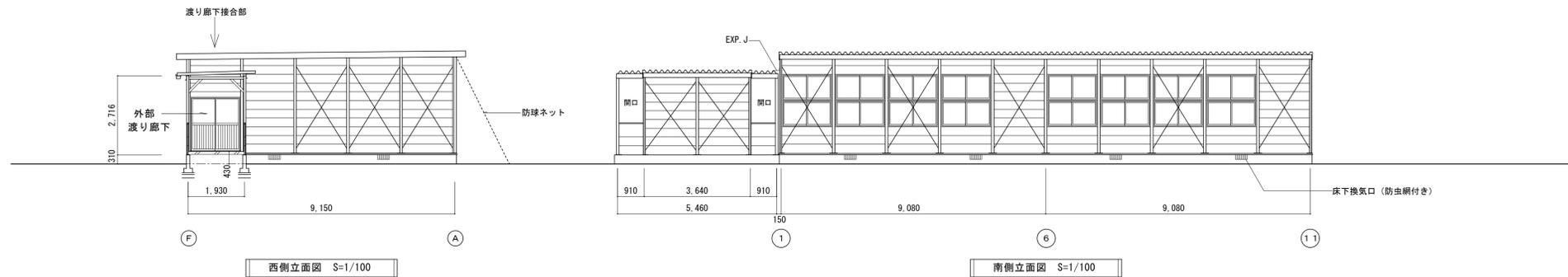
項目	仕上	仕様
屋根	折版 D-88 0.5 軒樋 塩ビ角 巾120 整樋 塩ビパイプ 75φ	
壁	カラー鉄板 0.35 (SPパネル) 断熱材 ポリウレタンフォーム 40	
外部巾木	コンクリート	
塗装	鉄部見掛け SOP	
床	土間コンクリート 100 直押え ワイヤメッシュ 6φ 150角 砕石 100	

○ 室内仕上表

階	室名	床高	天井高	床	巾木	壁 (外部に面する部分)	間仕切壁 防火上主要な間仕切壁	天井
1	教室	GL+450	2,700	複層ビニル床シート 2 貼り 木製床パネルの上ラワン合板 5.5 下地	木製巾木	カラー鉄板 0.35 (SPパネル)	PG 15 (両面貼り) NM-6619 準耐火構造 建告 1358号	化粧石膏ボード 9.5 (軽鉄下地) 断熱材 : グラスウール 100.16 kg/m3
	廊下	GL+450	2,700	同上	同上	同上	同上	同上

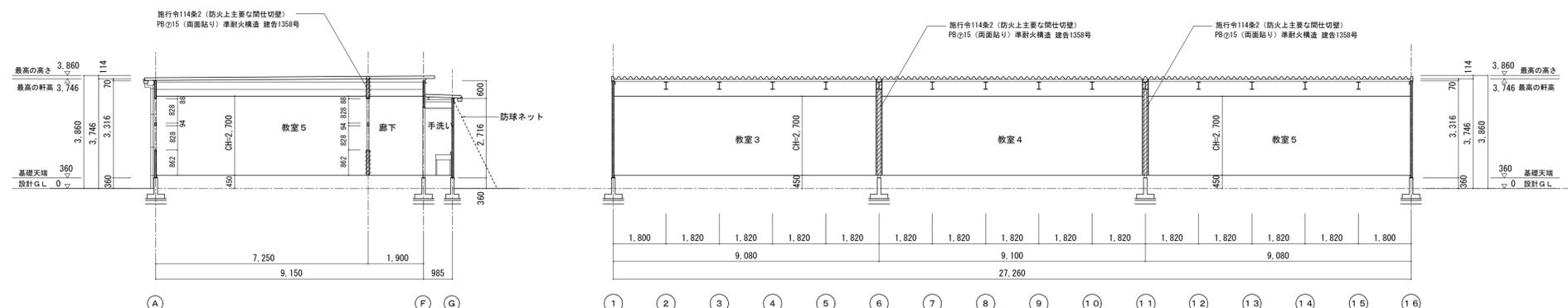


A棟 (2教室)



A棟 (2教室)

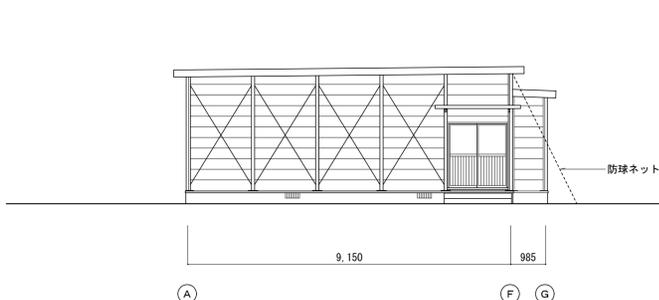
OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号	一級建築士 第114155号 職経 真治 TEL 0930-23-0412	DRAWN BY:	工事名称 泉小学校空調整備工事 工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号 図面名称 仮設校舎 A棟 立面図・断面図(参考図)	DATE:	DRAWING NO. A-61
		CHECKED BY:	SCALE:	S=1:100	



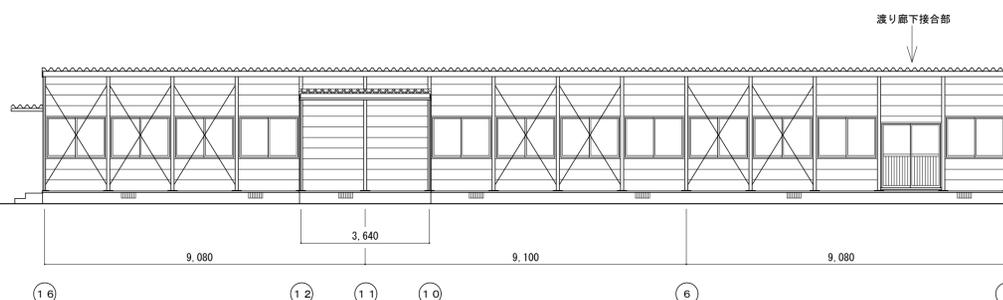
C 断面図 S=1/100

D 断面図 S=1/100

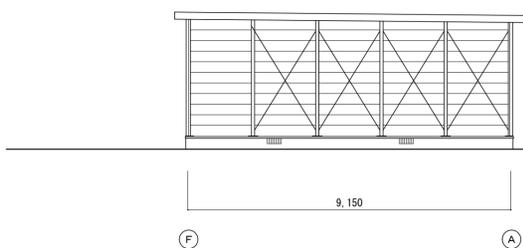
B棟 (3教室)



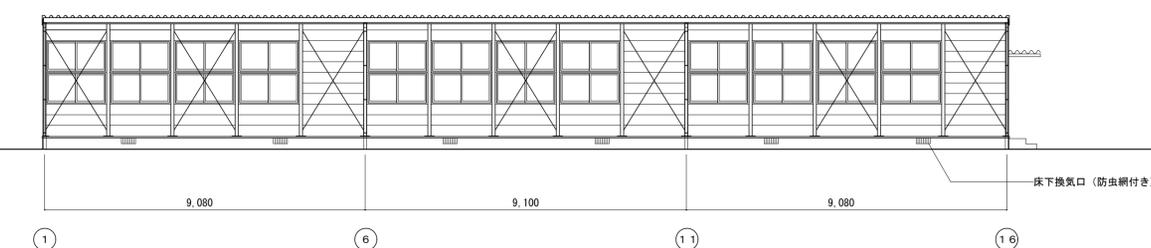
南側立面図 S=1/100



東側立面図 S=1/100



北側立面図 S=1/100



西側立面図 S=1/100

B棟 (3教室)

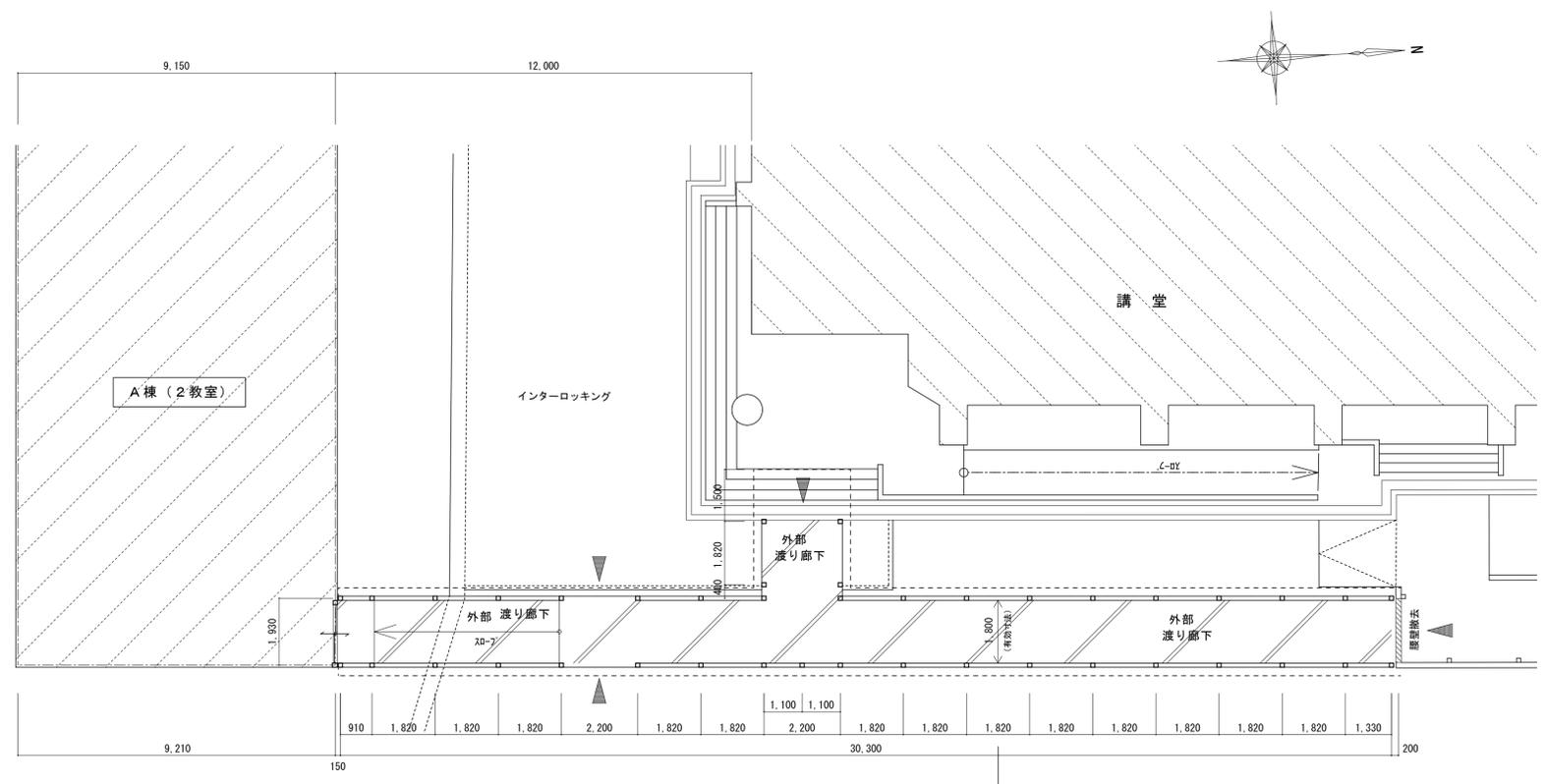
OKANO ARCHITECTS OFFICE  
 一級建築士事務所  
 有限会社 岡野設計事務所  
 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号  
 一級建築士 第114155号  
 職経 真治  
 TEL 0930-23-0412

DRAWN BY  
 CHECKED BY

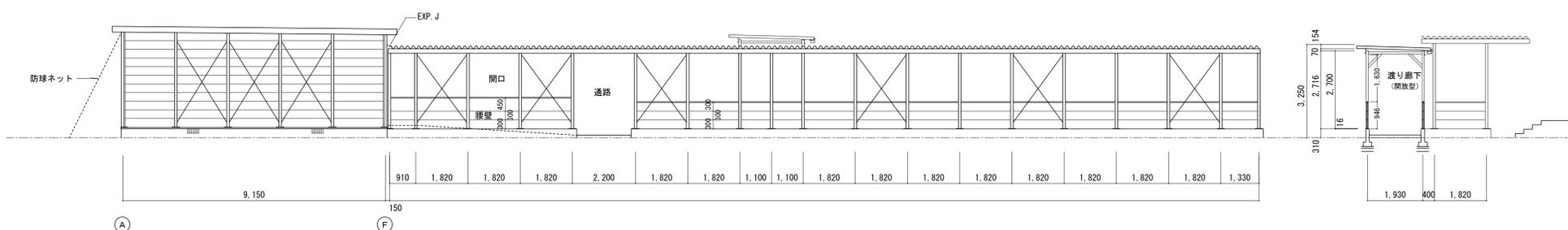
工事名称 泉小学校空調整備工事  
 工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号  
 図面名称 仮設校舎 B棟 立面図・断面図(参考図)

DATE  
 SCALE S=1:100

DRAWING NO. A-62



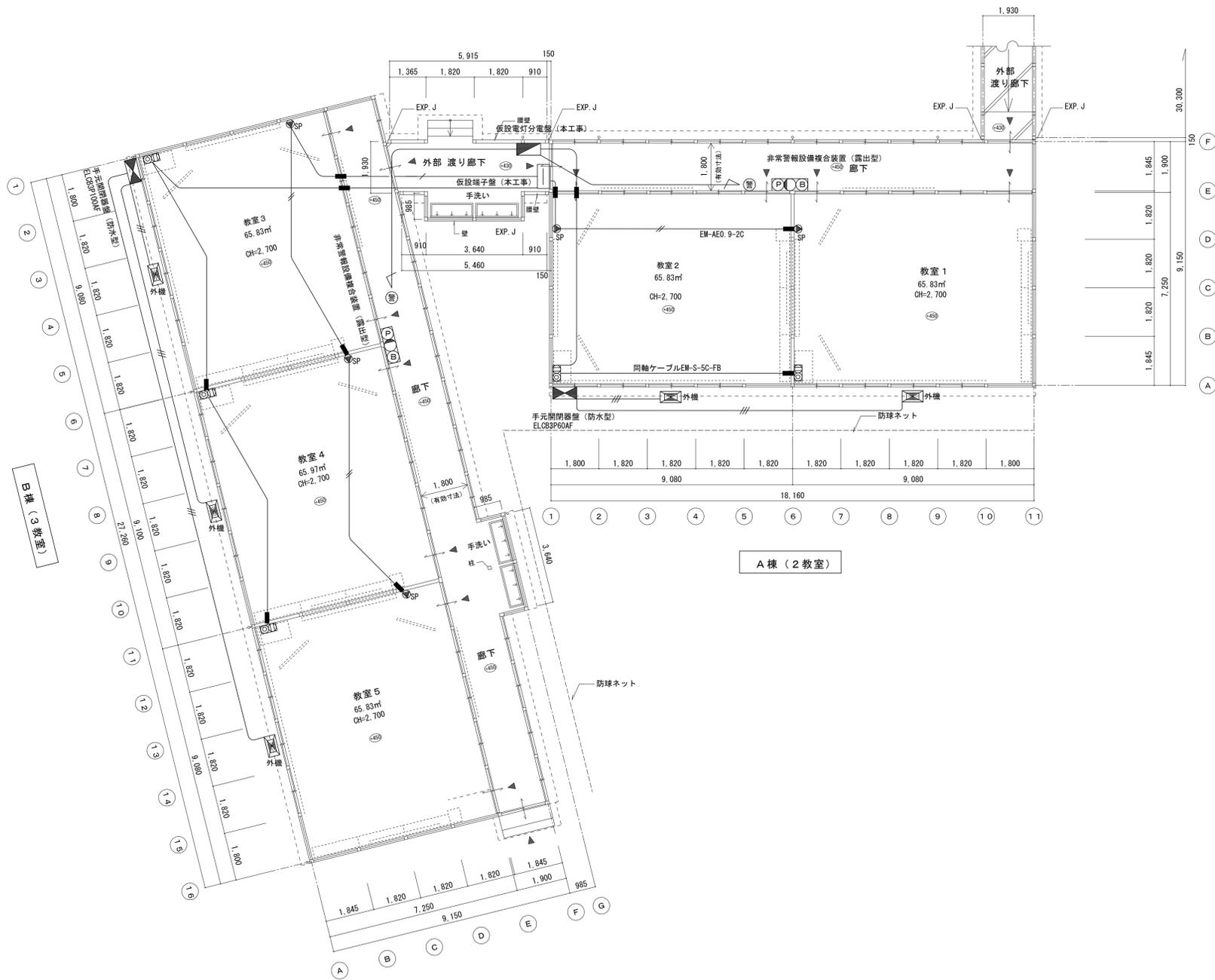
平面図 S=1/100 渡り廊下



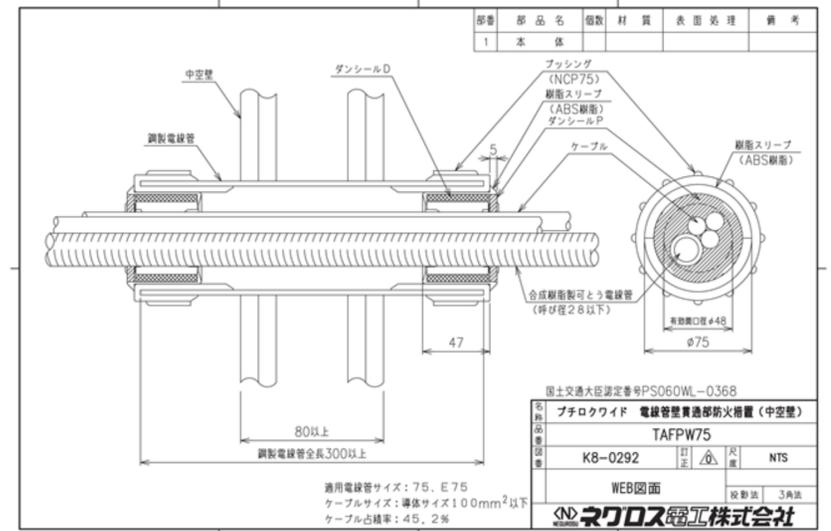
東側立面図 S=1/100

A断面図 S=1/100

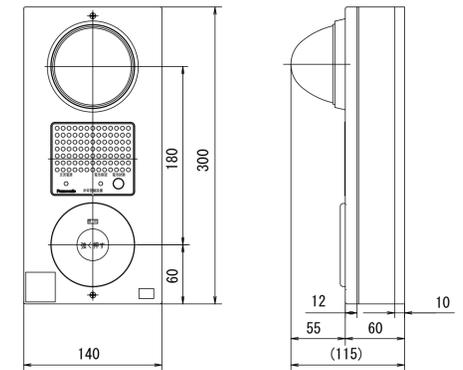
OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号	一級建築士 第114155号 職経 真治 TEL 0930-23-0412	DRAWN BY : CHECKED BY :	工事名称 泉小学校空調整備工事 工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号 図面名称 仮設校舎 渡り廊下 平面図・立面図・断面図(参考図)	DATE : SCALE : S=1:100	DRAWING NO. : A-63



非常警報設備複合装置・放送設備・動力設備 S=1/100



非常警報設備複合装置露出型



種別	自動式サイレン
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	警戒時最大: 6.5VA 警報時最大: 8.5VA
予備電源	DC6V 0.29Ah ニッケルカドニウム蓄電池
音響装置	サイレン音90dB以上 DC6V 250mA
使用周囲温度	-10~+40℃
質量	1.6kg

パナソニックBG702 1H相当品

非常警報設備複合装置図

OKANO ARCHITECTS OFFICE

一級建築士事務所

有限 岡野設計事務所

福岡県行橋市北泉五丁目12番6号

一級建築士 第114155号

職経 真治

TEL 0930-23-0412

DRAWN BY

工事名称 泉小学校空調整備工事

CHECKED BY

工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号

図面名称 仮設校舎 電気設備図1 (参考図)

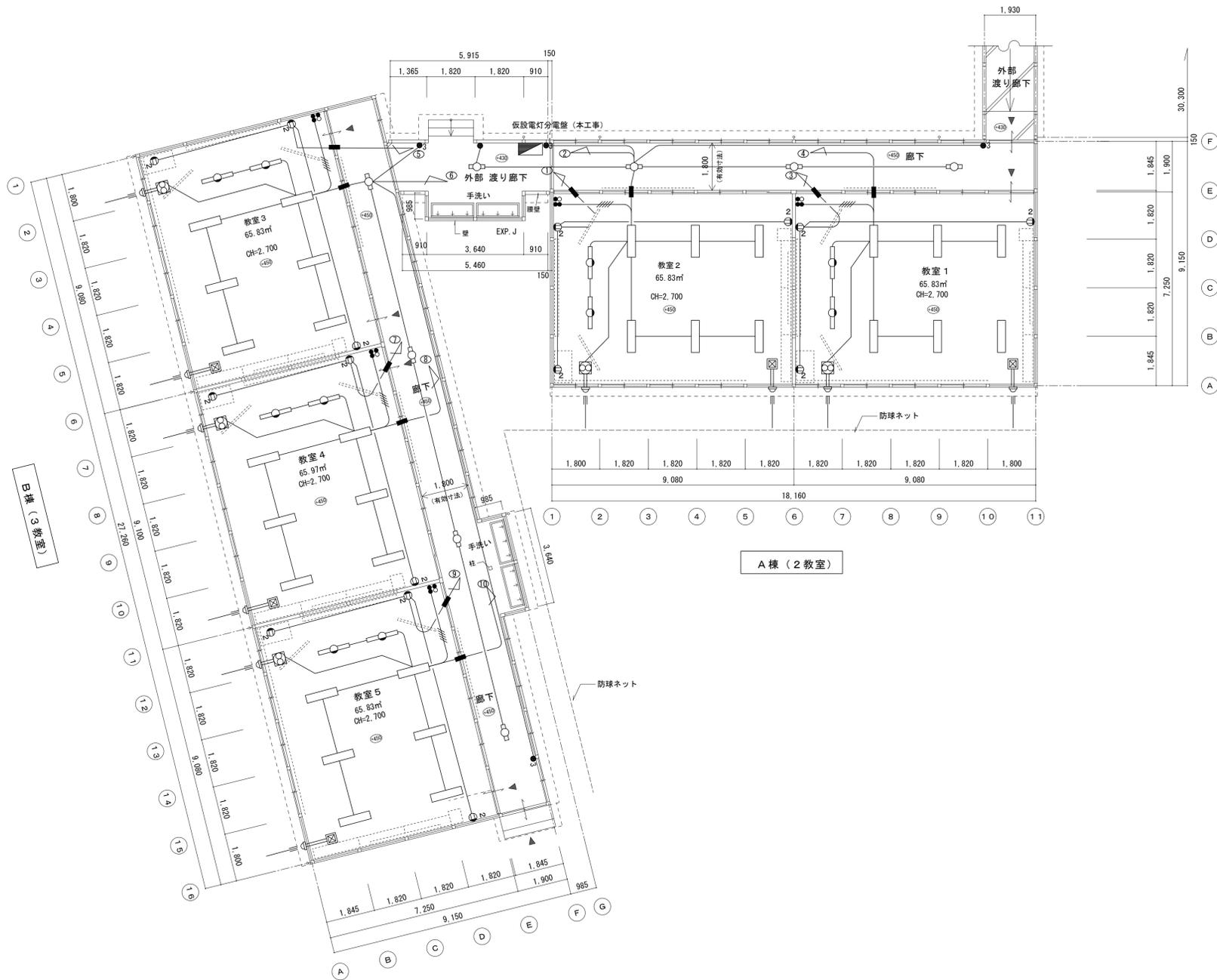
DATE

SCALE

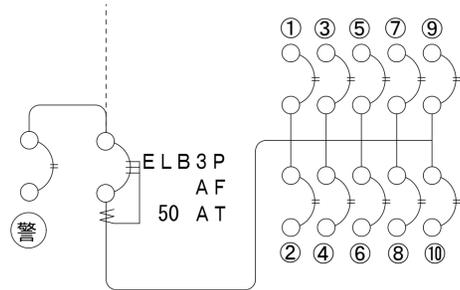
S=1:100

DRAWING NO.

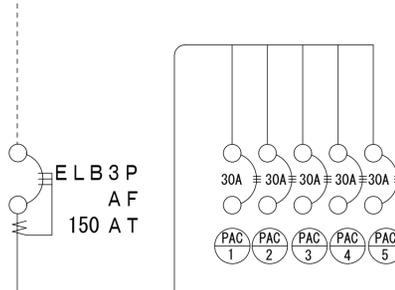
A-64



電灯・コンセント設備 S=1/100

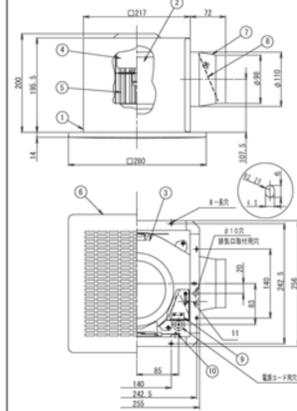


電灯分電盤



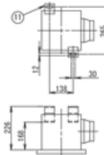
動力分電盤

東芝換気扇 (ダクト用・低騒音形)

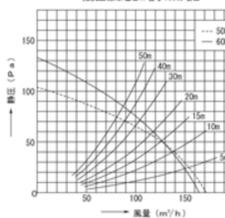


※本製品の換気用途として使用する場合はダクト用フィルターを装着してください。

■ 吊下器具取付位置



● 静圧-風量特性 (DVF-14MRK φ100)  
抵抗換気時はDVFφ100の場合



■ 特性表

風量 (m³/h)	静圧 (Pa)	消費電力 (W)	騒音 (dB)
50	10	10	25
100	20	15	30
150	30	20	35
200	40	25	40

東芝キヤリア株式会社 形名 DVF-14MRK

作成年月日 H.21.4.1 図面番号 AV004679

AV004679-01

凡例

名称	規格	数量	単位	備考
1 VVF	2.0-2C	227	m	
2 VVF	1.6-2C	520	m	
3 VVF	1.6-3C	145	m	
4 電灯分電盤		1	面	
5 HF32W-1 V型		8	台	
6 HF32W-1 黒板灯		10	台	
7 HF32W-2 V型		30	台	
8 片切*3・ハイロト		5	個	
9 片切スイッチ*1		1	個	
10 防水3路スイッチ		4	個	
11 コンセント 2ヶ用		10	個	
12 コンセント 2ヶ用+テレビコンセント		5	個	
13 防火区画貫通処理材		20	個	
14 天井用換気扇 (24時間換気扇)		5	台	
15 自然給気口 φ100		5	面	
16 ベントキャップ φ100		10	個	
17 AE	1.2-2C	125	m	
1 同軸ケーブル	S-5C-FB	145	m	
2 CV	5.5°-3C	122	m	
3 動力盤		1	面	
4 端子盤		1	面	
5 壁付スイッチ		5	台	
6 空調室外機		5	台	
7				
8				
9				

24時間換気

	①	②	③	④	⑤ (③×④)	⑥	⑦ (⑥÷③)	⑧	⑨	備考
	床面積 (㎡)	天井高さ (m)	容積 (m³)	必要換気回数	必要換気量	機器風量	換気回数	換気量の判定	自然給気口	
教室1	65.83㎡	2.70	177.74	0.5回/h	88.87m³/h	165m³/h	1.86	適合	φ100+1	参考型式 DV14MRK8 (FE-1) OA-1
教室2	65.83㎡	2.70	177.74	0.5回/h	88.87m³/h	165m³/h	1.86	適合	φ100+1	参考型式 DV14MRK8 (FE-1) OA-1
教室3	65.83㎡	2.70	177.74	0.5回/h	88.87m³/h	165m³/h	1.86	適合	φ100+1	参考型式 DV14MRK8 (FE-1) OA-1
教室4	65.97㎡	2.70	178.12	0.5回/h	89.06m³/h	165m³/h	1.86	適合	φ100+1	参考型式 DV14MRK8 (FE-1) OA-1
教室5	65.83㎡	2.70	177.74	0.5回/h	88.87m³/h	165m³/h	1.86	適合	φ100+1	参考型式 DV14MRK8 (FE-1) OA-1

OKANO ARCHITECTS OFFICE

一級建築士事務所

有限 岡野設計事務所

福岡県行橋市北東五丁目12番6号

一級建築士 第114155号

職経 真治

TEL 0930-23-0412

DRAWN BY

CHECKED BY

工事名称 泉小学校空調整備工事

工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号

図面名称 仮設校舎 電気設備図2 (参考図)

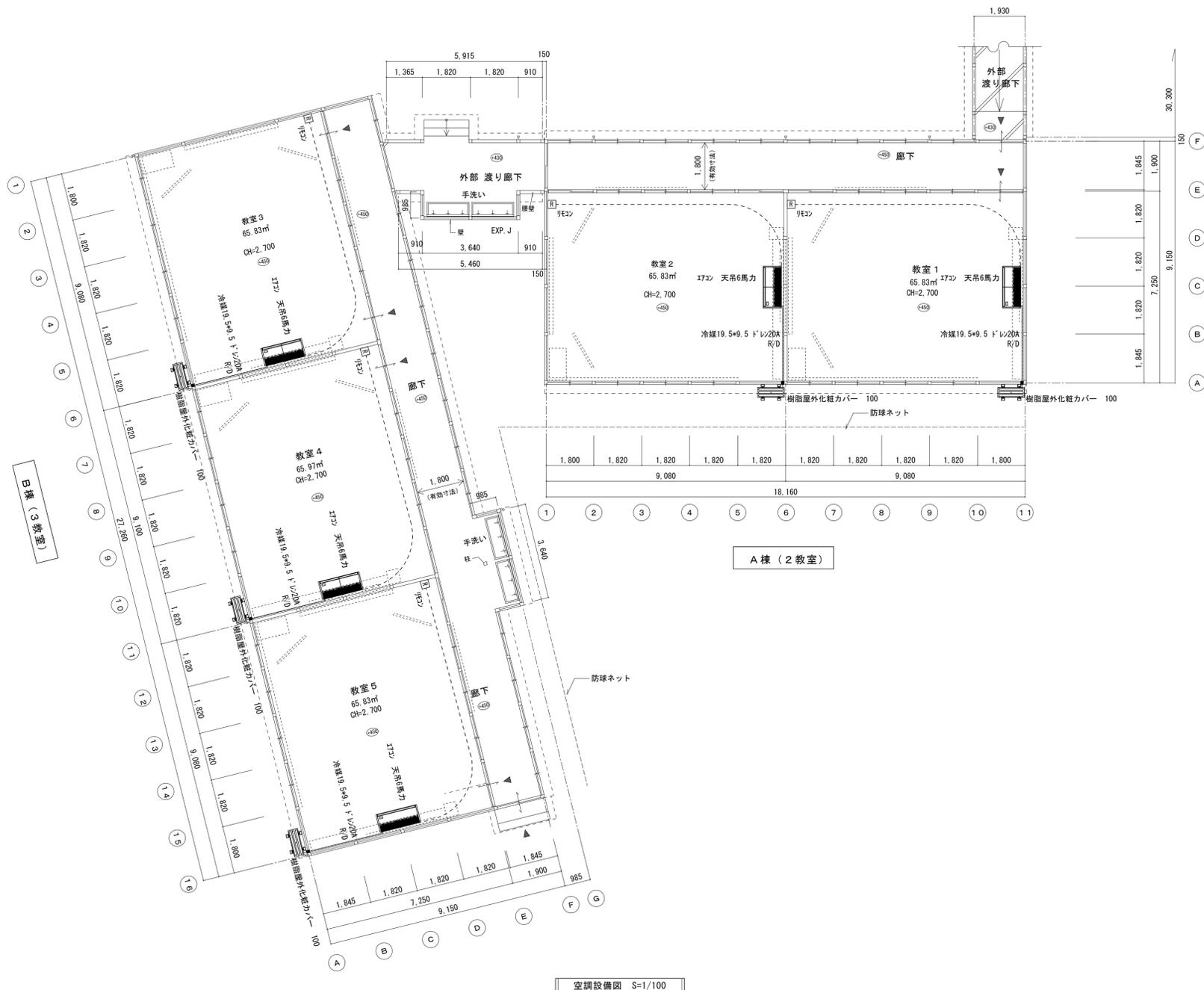
DATE

SCALE

S=1:100

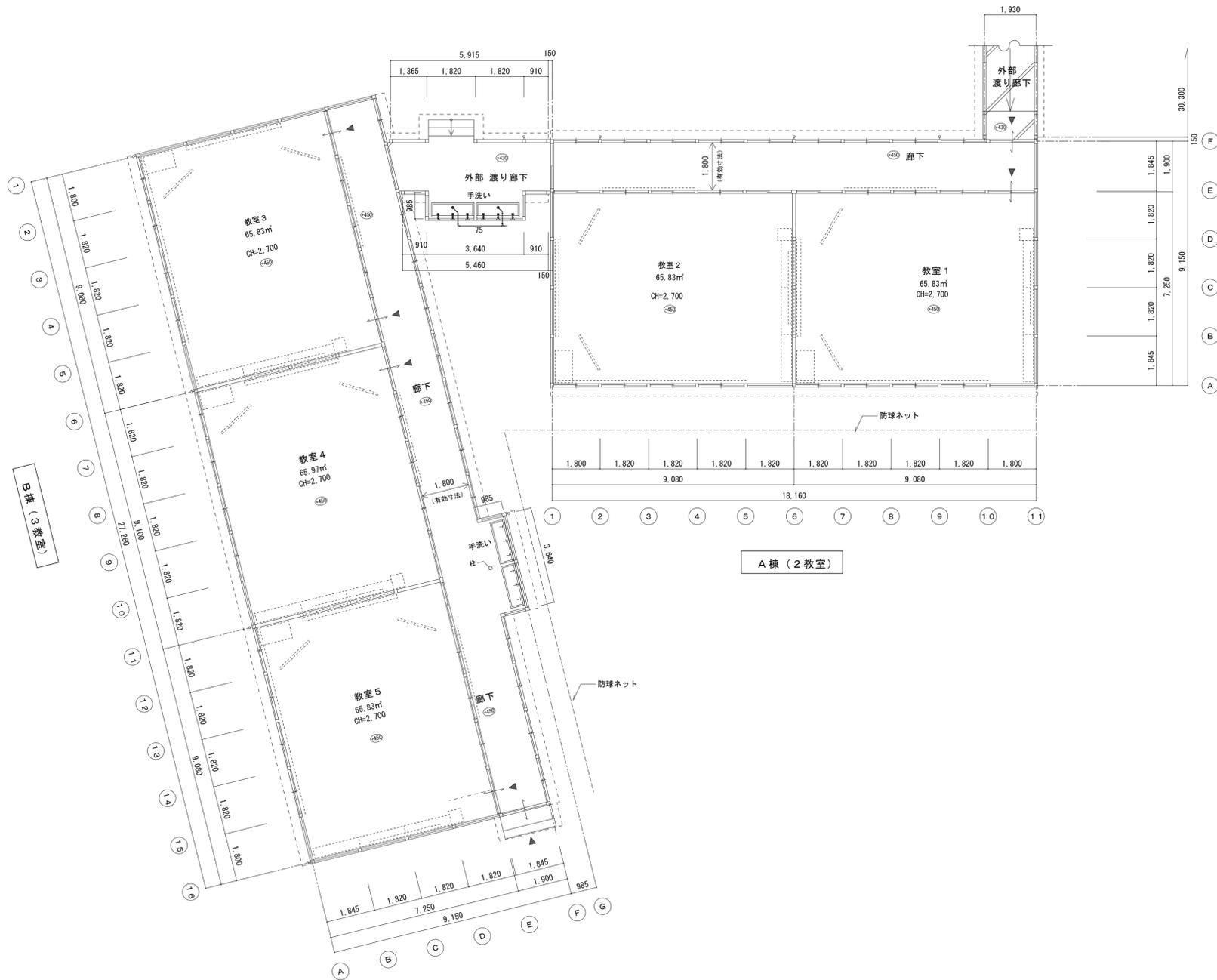
DRAWING NO.

A-65



OKANO ARCHITECTS OFFICE  
 一級建築士事務所  
 有限会社 岡野設計事務所  
 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号  
 一級建築士 第114155号  
 職経 真治  
 TEL 0930-23-0412

DRAWN BY	工事名称 泉小学校空調整備工事	DATE	DRAWING NO.
CHECKED BY	工事場所 福岡県行橋市中央4丁目1番1号	SCALE	A-66
	図面名称 仮設校舎 空調設備(参考図)	S=1:100	



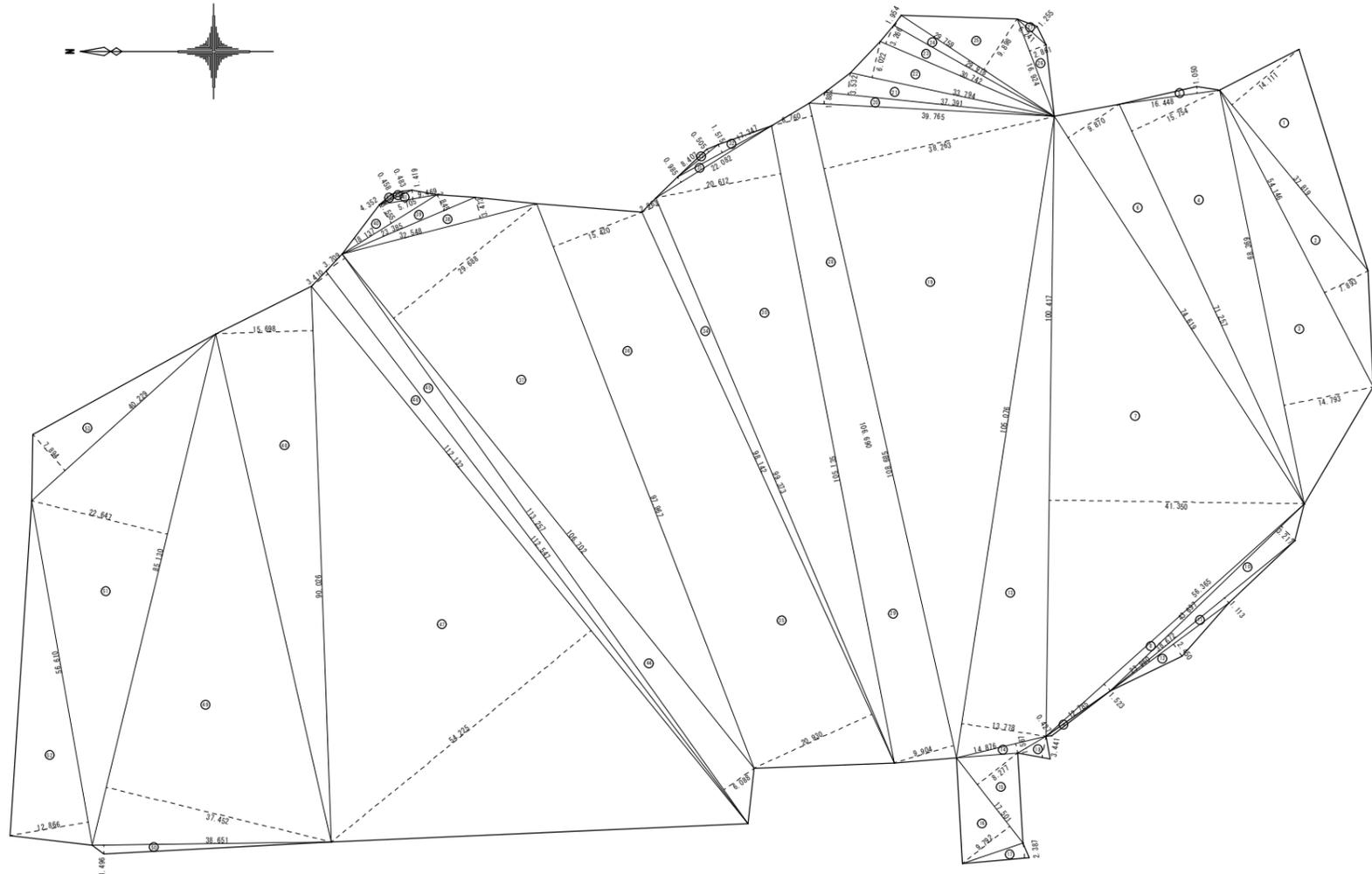
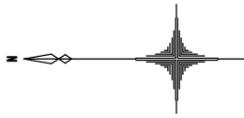
給配水設備図 S=1/100

OKANO ARCHITECTS OFFICE  
 一級建築士事務所  
 有限会社 岡野設計事務所  
 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号

一級建築士 第114155号  
 職経 真治  
 TEL 0930-23-0412

DRAWN BY	工事名称 泉小学校空調整備工事	DATE	DRAWING NO.
CHECKED BY	工事場所 福岡県行橋市泉中央4丁目1番1号	SCALE	A-67
	図面名称 仮設校舎 給配水設備図(参考図)	S=1:100	





敷地求積図 S=1/500

面積 (㎡)	長さ (m)	積算値 (㎡)
37.819	14.111	532.467399
54.146	7.893	427.274318
66.369	14.793	1011.382617
71.257	15.754	1122.582778
16.448	1.950	17.270400
74.619	9.870	736.489530
100.417	41.350	4152.242650
56.285	1.923	85.443893
74.795	9.977	745.931065
42.897	3.217	140.317093
28.672	1.112	42.541936
23.860	2.450	58.392900
105.076	13.778	1447.737128
14.876	1.567	23.310692
17.501	8.277	144.855777
17.501	9.792	171.368792
10.818	2.287	24.581268
5.219	3.411	18.002672
108.495	38.252	4158.414165
29.765	1.882	74.637720
37.331	3.532	132.685012
33.784	6.022	203.507488
30.742	3.266	100.403372
29.918	1.954	58.459772
29.759	9.898	294.554582
16.924	2.881	48.419564
6.241	1.755	7.037465
108.495	4.390	724.310660
106.690	9.904	1056.657760
105.135	20.412	2187.942620
22.082	0.885	21.350720
17.847	1.515	26.887095
8.407	0.505	4.245534
99.373	2.853	284.447189
99.142	20.420	2004.112000
97.897	16.420	1510.451160
106.702	29.488	3147.384924
32.548	2.473	112.638204
23.385	2.845	66.530215
18.137	3.555	64.477035
9.469	1.419	13.436511
5.705	0.483	2.755513
4.352	0.458	1.993218
119.237	6.688	699.508818
119.237	3.309	400.470913
112.641	3.410	383.383219
112.132	54.226	6080.357200
90.926	15.488	1413.228144
85.130	27.452	2338.287200
38.651	1.496	57.821894
85.130	22.647	1927.939110
56.610	12.856	728.344260
40.229	7.884	317.567724
積算値	計	41751.754151
敷地面積 (㎡)		20015.00

標高 (m)	層厚 (m)	柱状土質区分	色相	相対密度	記	標準貫入試験			
						10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)		
1	-1.08	1.00	1.00	0.85	0.85	3	2	7	30
2	-1.68	0.60	1.60	1.15	1.45	1	1	1	30
3	-3.78	2.10	3.70	2.15	2.40	2	2	2	6
4	-4.88	1.10	4.80	3.15	3.45	5	4	6	15
5	-5.78	0.90	5.70	4.05	4.05	5	5	5	6
6	-6.18			5.15	5.45	9	7	16	50
7	-6.18			6.15	6.15	3	3	5	11
8	-7.46			7.15	7.46	2	2	2	6
9	-9.56	3.80	9.50	8.15	8.15	2	3	4	9
10	-10.58	1.00	10.50	9.45	9.45	2	3	4	9
11	-10.58			10.45	10.45	3	4	4	11

